

東京都がん対策推進計画
に係る都民意識調査

報告書

平成24年3月
東京都福祉保健局

目 次

	〔頁〕
I 調査実施概要	1
II 回答者の属性	3
III 調査結果の分析	5
1 がんについての考え	5
2 「がん」の原因	13
3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか	21
4 がん検診の理想の受診開始年齢	41
5 がん検診の希望受診機会	49
6 「精度管理」の充実の必要性	51
7 がん検診の受診時「受けよう！がん検診」を参考にするか	53
8 「受けよう！がん検診」をより一層活用するための情報の掲載内容	55
9 がんにかかった場合、整っていることが望ましい環境	57
10 緩和ケアについてのイメージ	59
11 自分がかんになった場合、治療開始時からの緩和ケアを望むか	62
12 緩和ケアを望まない理由	65
13 自分または家族の緩和ケア経験有無	67
14 終末期の希望療養場所	69
15 「地域がん登録」の認知状況	72
16 「地域がん登録情報」の有益度	73
17 「地域がん登録情報」が有益と思わない理由	74

付 調査票（提示調査画面）

I 調査実施概要

1 調査実施概要

(1) 調査目的

「東京都がん対策推進計画」の期間満了に伴う見直しに向けて、現計画の評価を行うため、都民に対しがんに対する意識及び都の諸施策に関する認識や要望を調査し、計画に反映することを目的とする。

(2) 調査地域及び調査対象者

東京都内全域に居住する18歳以上90歳未満の都民4,273人

(3) 回答者数

2,310人（回収率54.1%）

(4) 調査項目・内容

後掲の調査票（提示調査画面）を参照

(5) 調査方法

調査モニターを使用したWEBインターネット調査

(6) 調査期間

平成24年2月2日（木）から同月10日（金）まで

2 報告書の見方

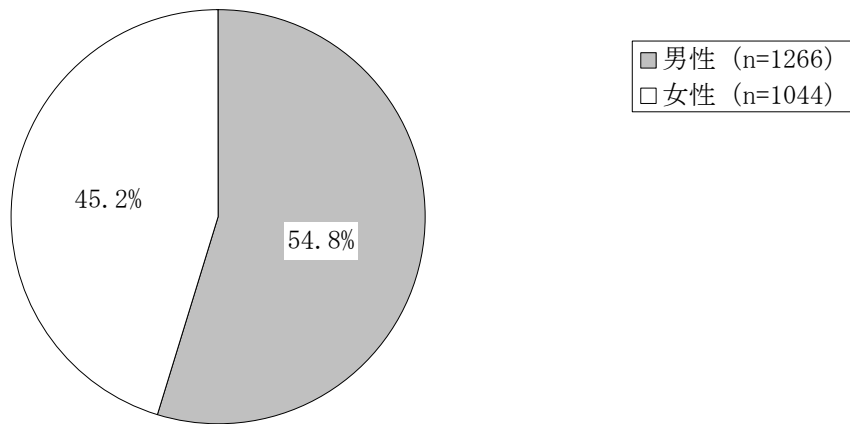
- (1) 各項目のはじめに質問項目と共に示してある単純集計のnは、回答者数のことである。質問に対する回答は、1つの場合や3つ、いくつでもよい場合（複数回答）などがあるが、複数回答の場合、合計比は100%を超えることがある。
- (2) 百分比はnを100%として算出し、本文及び図表中では原則として小数第1位を四捨五入して整数で示した（全体については、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで表示）。このため、百分比の合計が100%に満たない、または上回る場合がある。図表中の「-」は皆無を示しており、「0」は0.1から0.4%の値を示している。
- (3) 本調査の分析に使用する項目については5%水準での有意差検定を行った。
有意水準（危険率）5%は、調査結果に95%以上の確率で差がある（ないことはない）場合に有意差ありとみなす。
本調査では、有意水準（危険率）が5%以下であり、母集団間を比較したときにその回答の選択率が高い場合を「5%水準で高位で有意差あり」とし、有意水準（危険率）が5%以下で母集団間を比較したときにその回答の選択率が低い場合を「5%水準で低位で有意差あり」としている。
「調査結果の分析」では5%水準で有意差がみられた結果について知見を加えている。

II 回答者の属性

1 回答者の属性

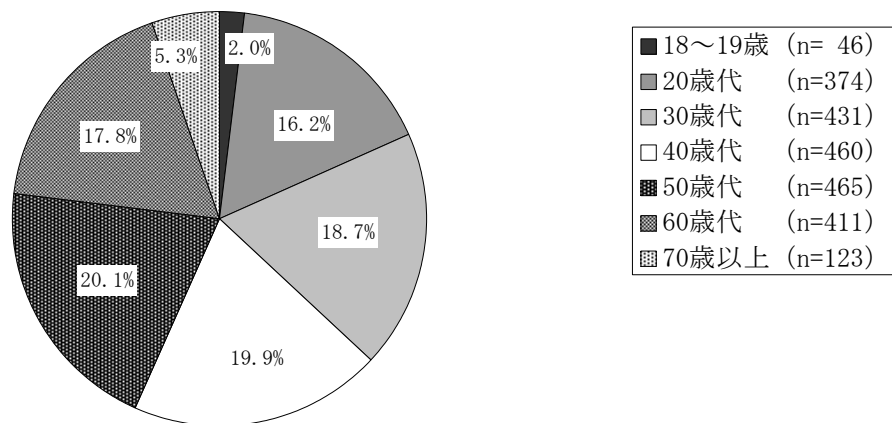
(1) 性別

【基数：全体 (N=2,310)】



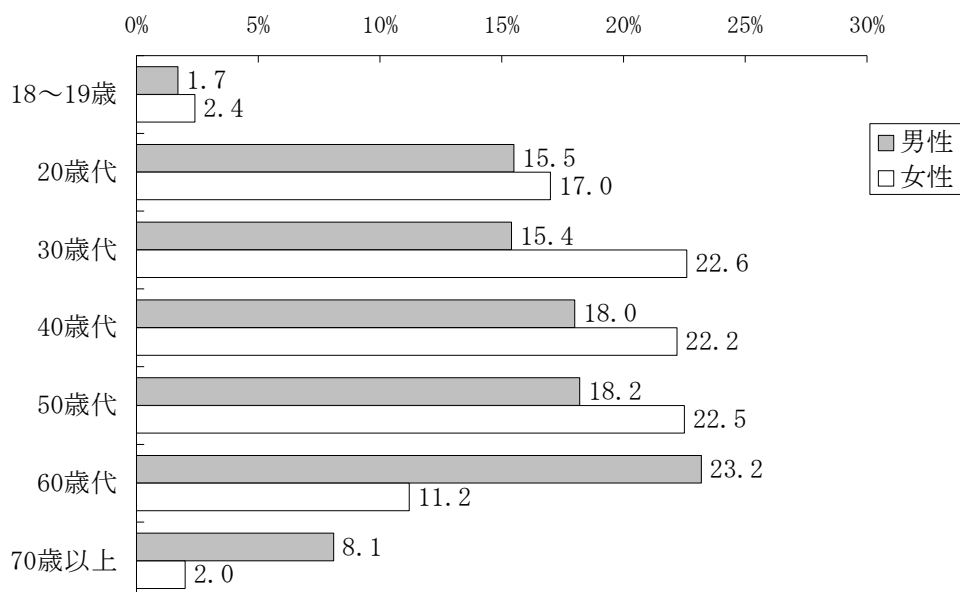
(2) 年代

【基数：全体 (N=2,310)】



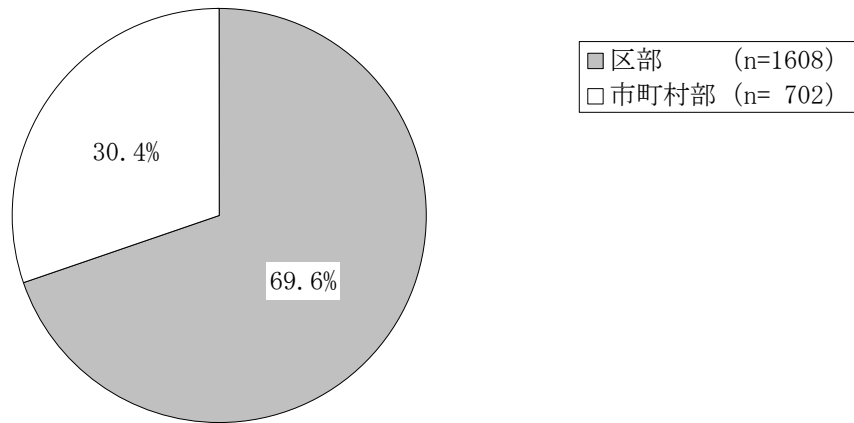
(3) 性別・年代

【基数：全体 (N=2,310)】



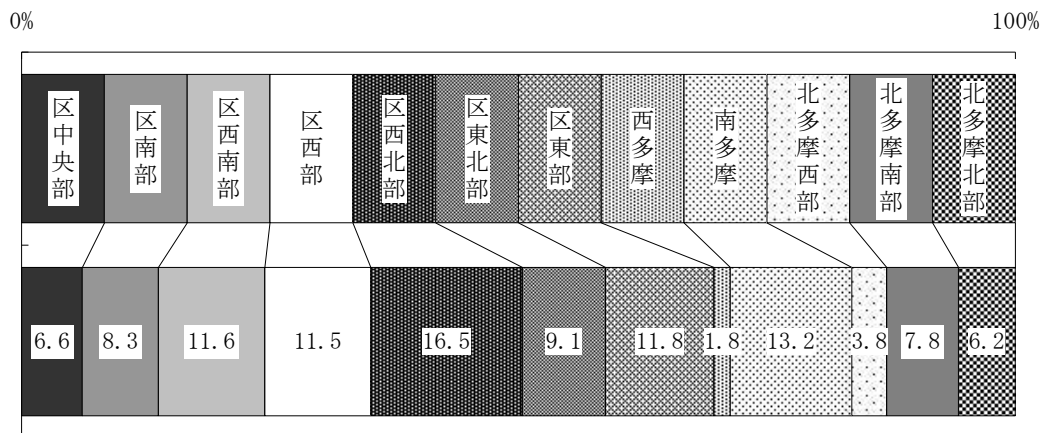
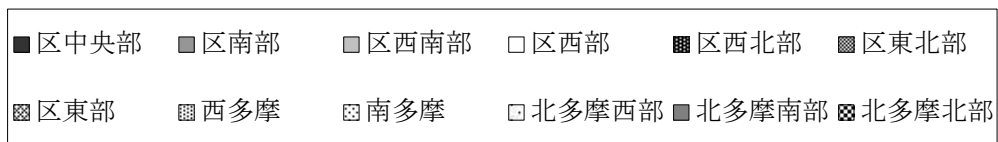
(4) 住所地

【基数：全体 (N=2,310)】



(5) 二次保健医療圏

【基数：全体 (N=2,310)】



※島しょは、回答者が皆無のため作図せず

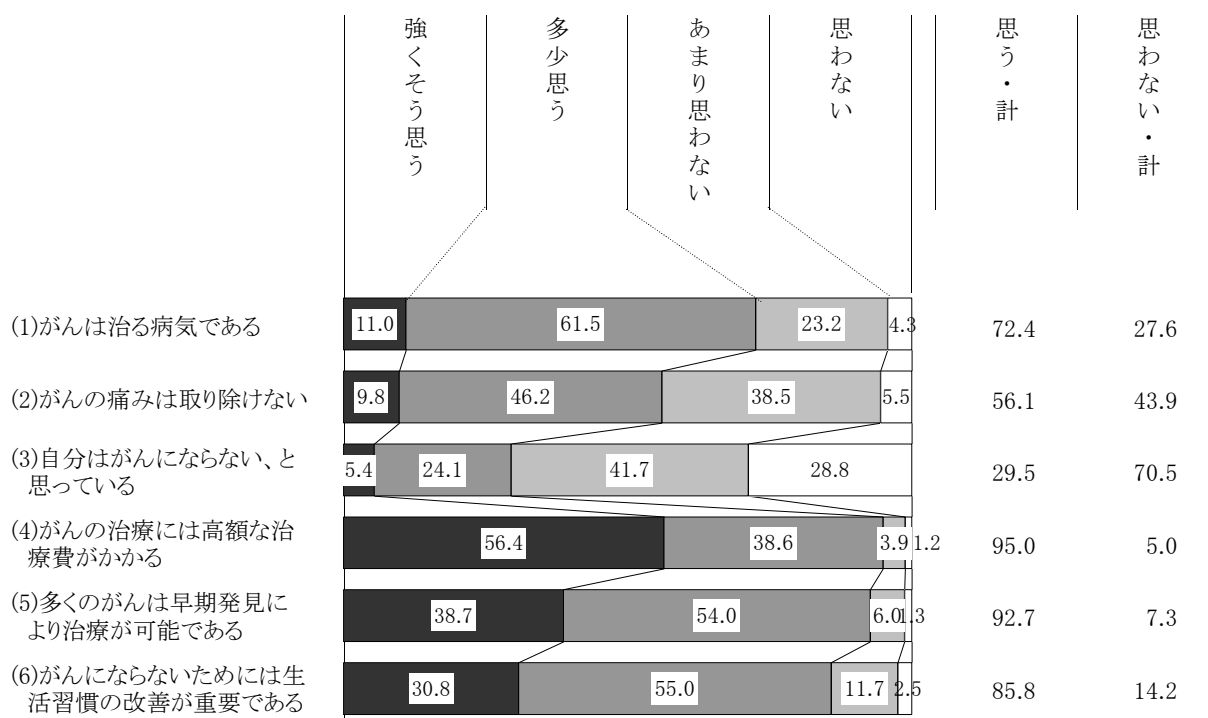
Ⅲ 調査結果の分析

1 がんについての考え

問4. 「がん」について、あなたのお考えを聞かせてください。
(お答えはそれぞれひとつ)

がんについての考えをみると、“(4)がんの治療には高額な治療費がかかる”については「強くそう思う」の割合が56.4%と、他の項目と比べて強くそう思うの割合が多く、また「多少思う」の割合38.6%とあわせた「思う・計」は95.0%と、ほとんどの人ががんの治療には高額な治療費がかかると思っている様子がうかがわれる。一方“(3)自分はがんにならない、と思っている”については、「思わない」の割合が28.8%、「あまり思わない」の割合が41.7%と、あわせて「思わない・計」は70.5%となっており、約7割の人が、自分はがんにかかると思っている様子がうかがわれる。

【基数：各全体 (N=2,310)】



1 がんについての考え

(1) がんは治る病気である

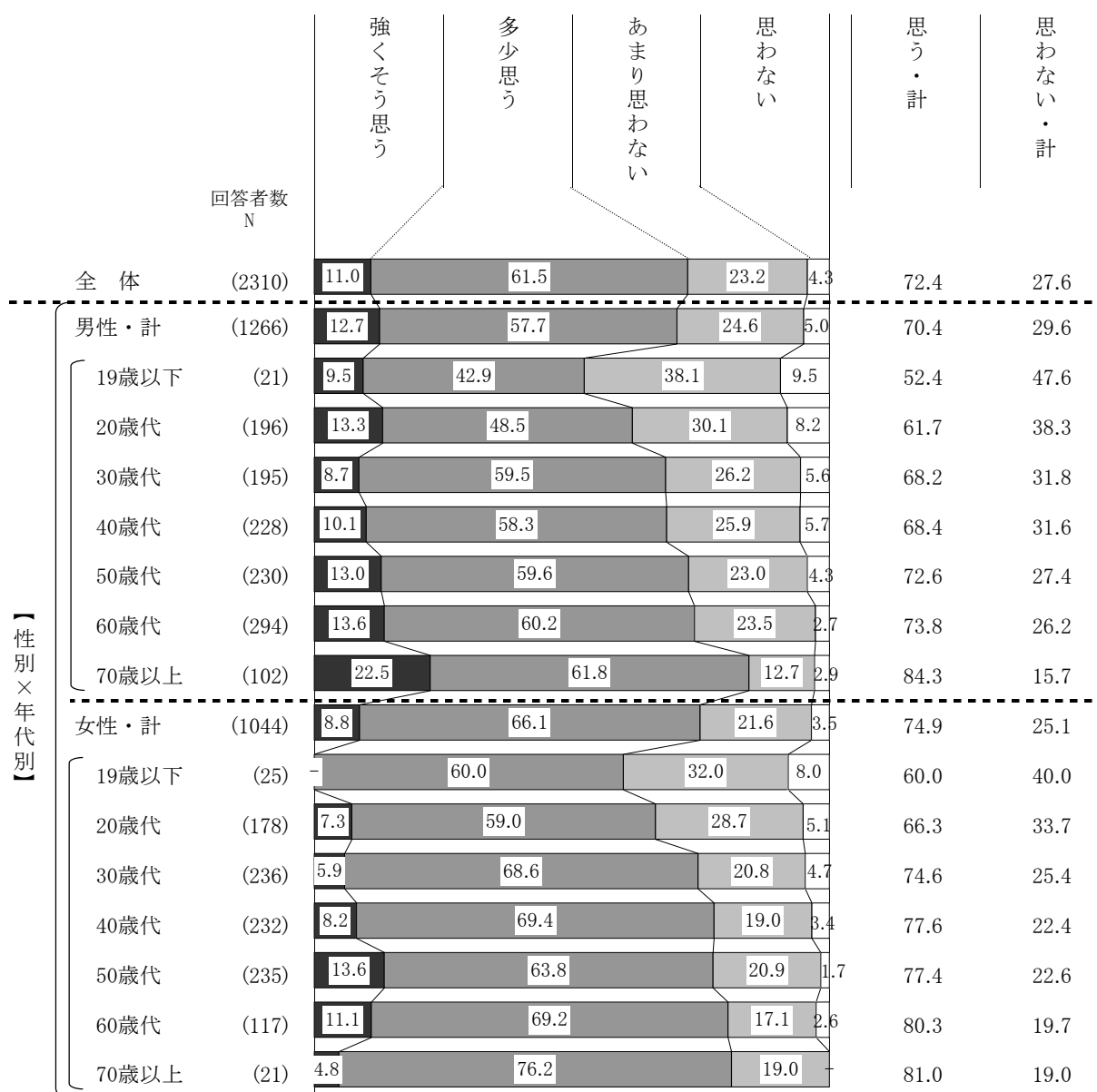
問4. 「がん」について、あなたのお考えを聞かせてください。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「強くそう思う」(11.0%)、「多少思う」(61.5%)、「あまり思わない」(23.2%)、「思わない」(4.3%)となっており、「強くそう思う」と「多少思う」をあわせた「思う・計」は72.4%となっている。

【性別×年代別】

- ・男性20歳代では、「多少思う」の割合が48.5%と少なく、「あまり思わない」、「思わない」の割合がそれぞれ30.1%、8.2%と多くなっている。
- ・男性70歳代では、「強くそう思う」の割合が22.5%と多く、「あまり思わない」の割合が12.7%と少なくなっている。
- ・女性30～40歳代では、「多少思う」の割合がそれぞれ68.6～69.4%と多くなっている。

【基数：全体 (N=2,310)】



1 がんについての考え
 (2) がんの痛みは取り除けない

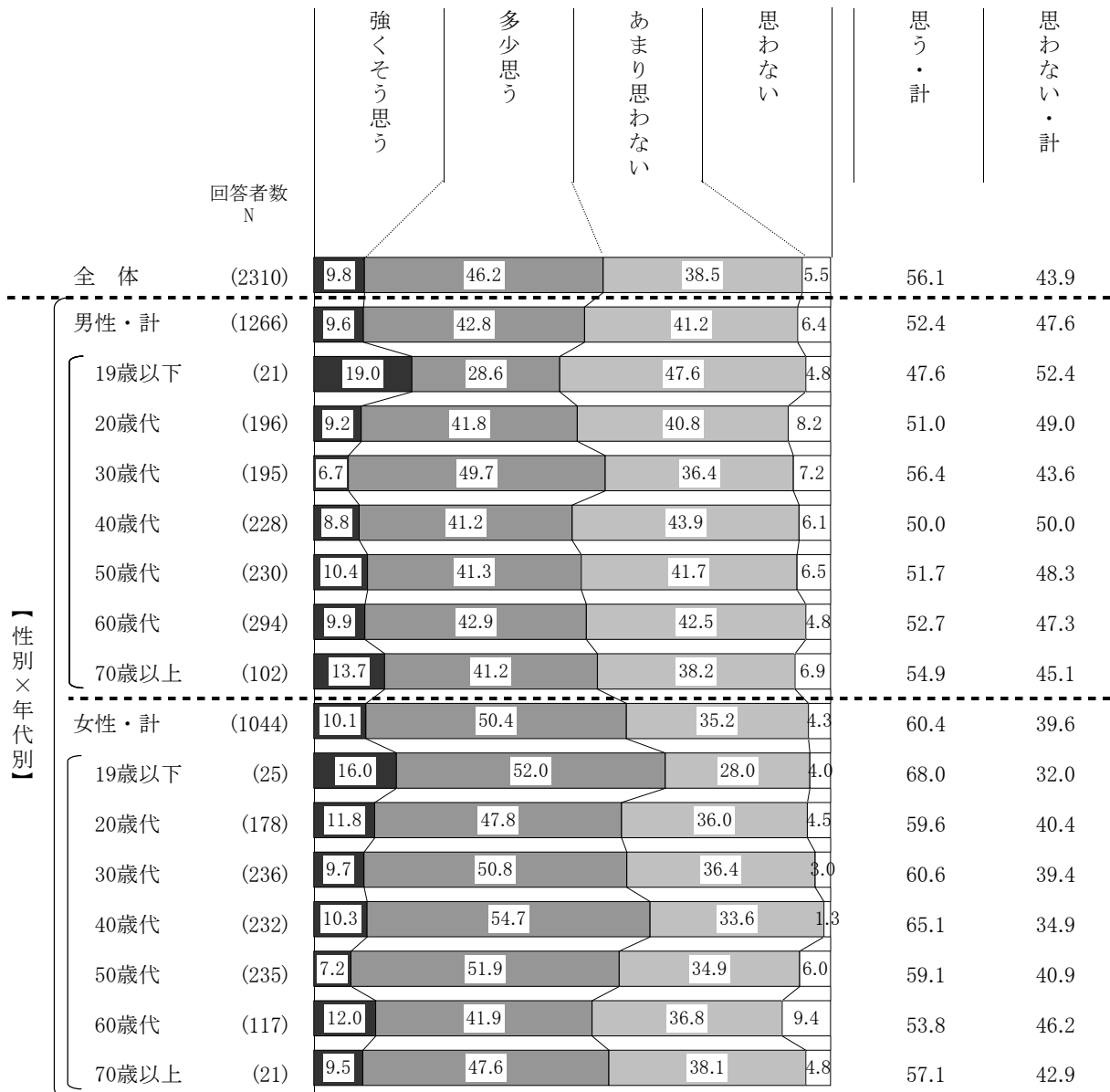
問4. 「がん」について、あなたのお考えを聞かせてください。
 (お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「強くそう思う」(9.8%)、「多少思う」(46.2%)、「あまり思わない」(38.5%)、「思わない」(5.5%)となっており、「強くそう思う」と「多少思う」をあわせた「思う・計」は56.1%となっている。

【性別×年代別】

・女性40歳代では、「多少思う」の割合が54.7%と多く、「思わない」の割合が1.3%と少なくなっている。

【基数：全体 (N=2,310)】



1 がんについての考え

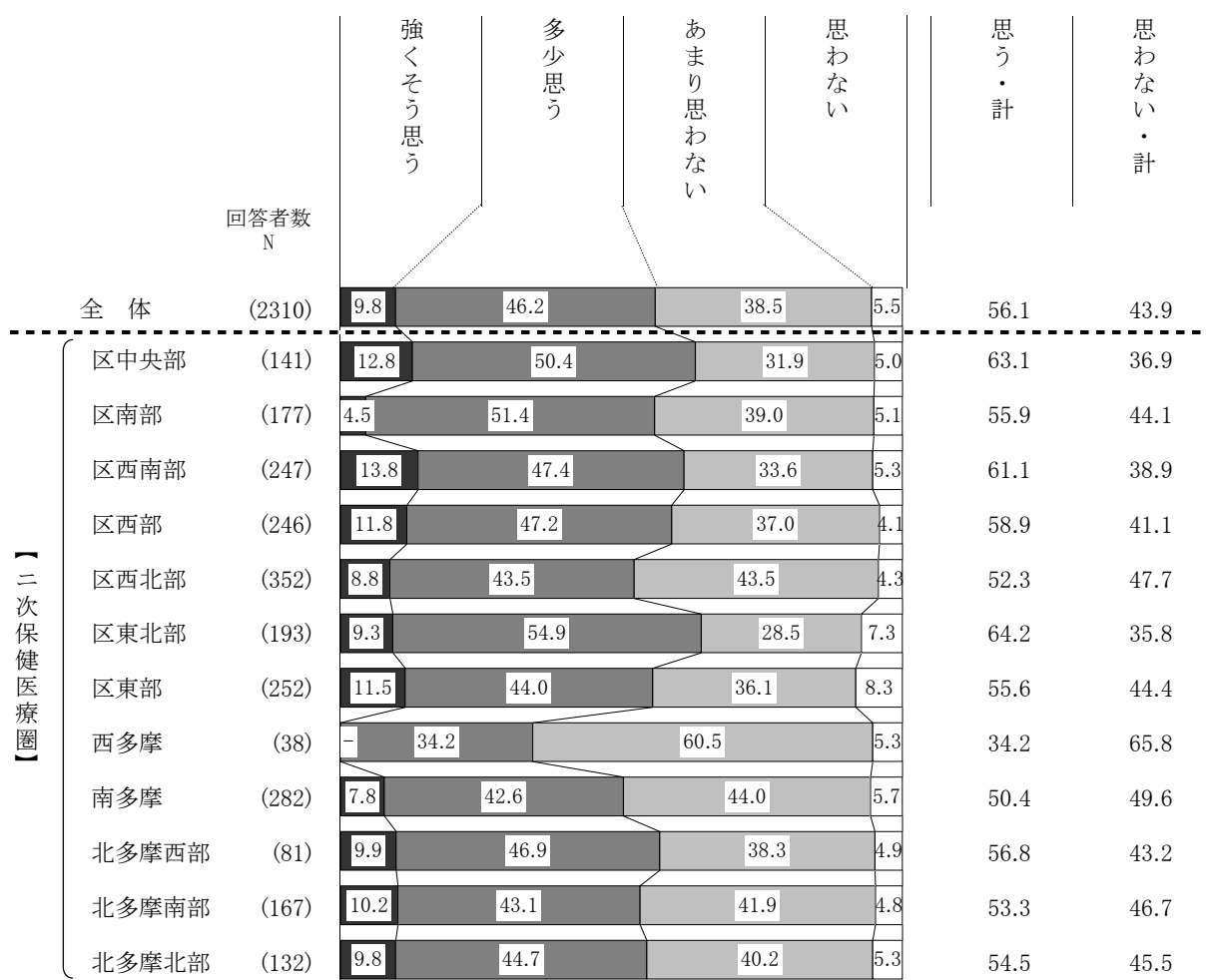
(2) がんの痛みは取り除けない

問4. 「がん」について、あなたのお考えを聞かせてください。
(お答えはそれぞれひとつ)

【二次保健医療圏別】

- ・区南部では、「強くそう思う」の割合が4.5%と少なくなっている。
- ・区西南部では、「強くそう思う」の割合が13.8%と多くなっている。
- ・区東北部では、「多少思う」の割合が54.9%と多く、「あまり思わない」の割合が28.5%と少なくなっている。
- ・区東部では「思わない」の割合が8.3%と多くなっている。
- ・西多摩では「強くそう思う」の割合が皆無と少なく、「あまり思わない」の割合が60.5%と多くなっている。

【基数：全体 (N=2,310)】



1 がんについての考え

(3) 自分はがんにならない、と思っている

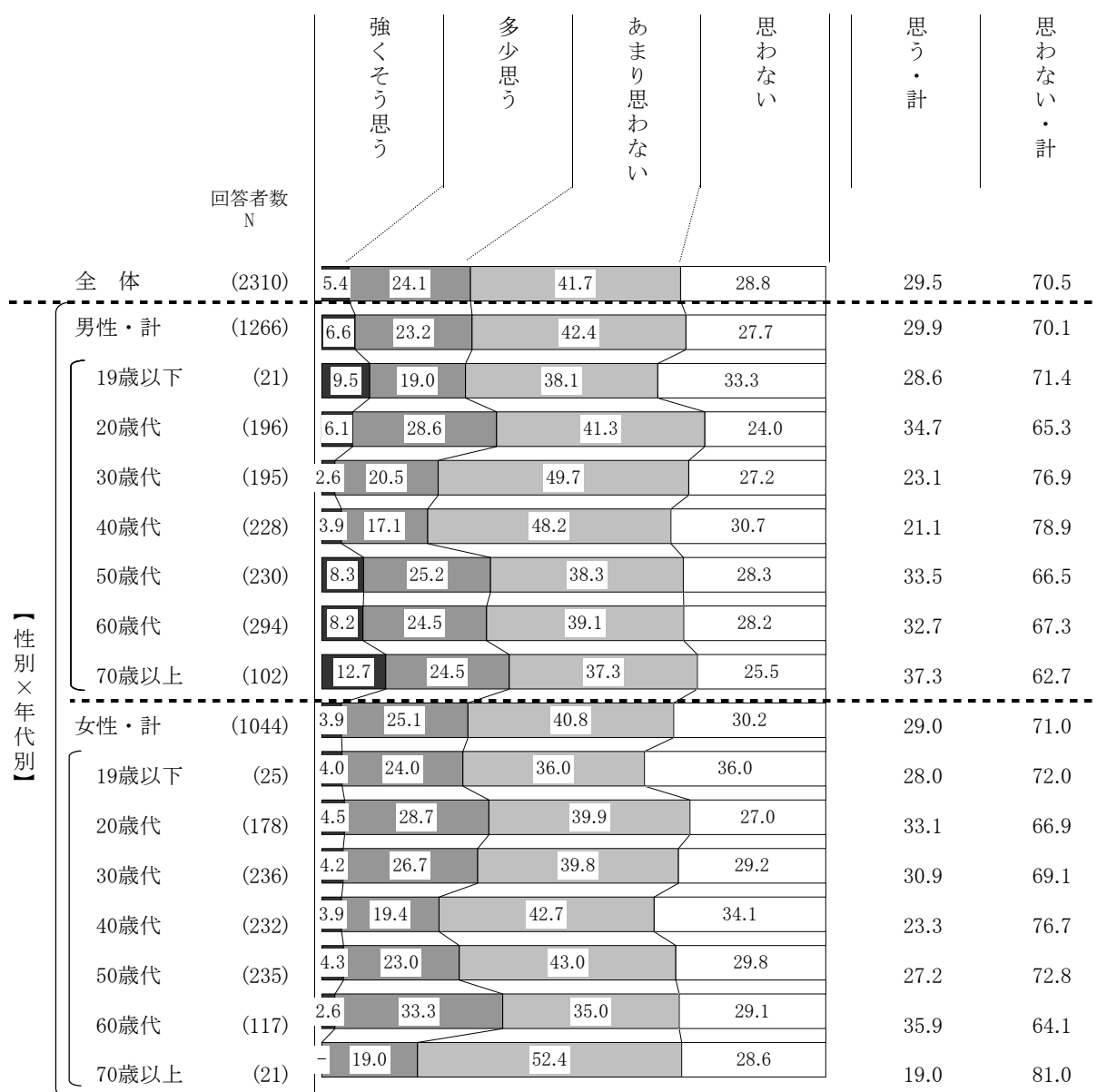
問4. 「がん」について、あなたのお考えを聞かせてください。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「強くそう思う」(5.4%)、「多少思う」(24.1%)、「あまり思わない」(41.7%)、「思わない」(28.8%)となっており、「強くそう思う」と「多少思う」をあわせた「思う・計」は29.5%となっている。

【性別×年代別】

- ・男性30歳代では、「あまり思わない」の割合が49.7%と多くなっている。
- ・男性40歳代では、「多少思う」の割合が17.1%と少なくなっており、「あまり思わない」の割合が48.2%と多くなっている。
- ・男性60歳以上では、「強くそう思う」の割合がそれぞれ8.2%~12.7%と多くなっている。
- ・女性60歳代では、「多少思う」の割合が33.3%と多くなっている。

【基数：全体 (N=2,310)】



1 がんについての考え

(4) がんの治療には高額な治療費がかかる

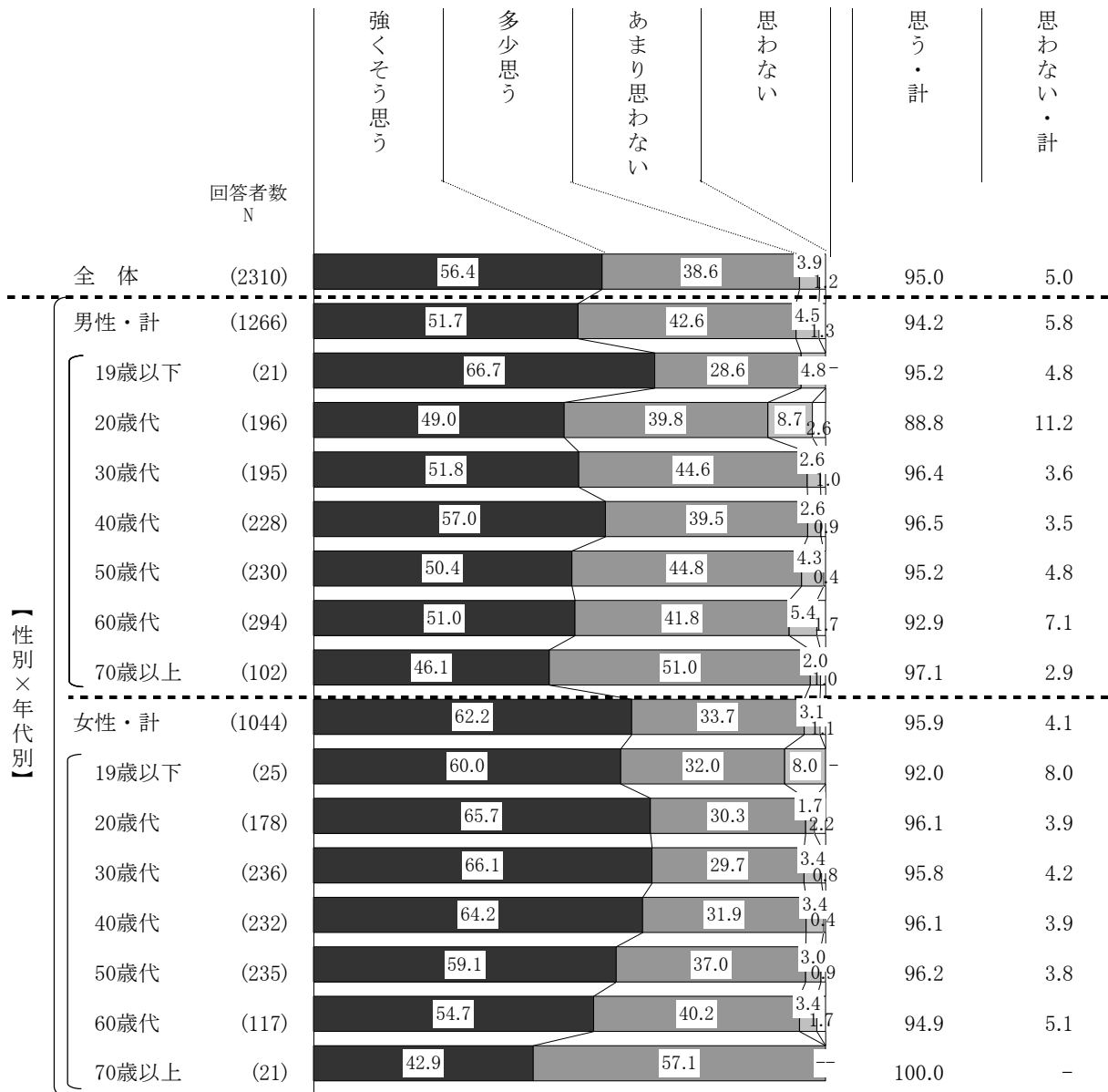
問4. 「がん」について、あなたのお考えを聞かせてください。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「強くそう思う」(56.4%)、「多少思う」(38.6%)、「あまり思わない」(3.9%)、「思わない」(1.2%)となっており、「強くそう思う」と「多少思う」をあわせた「思う・計」は95.0%となっている。

【性別×年代別】

- ・男性20歳代では、「強くそう思う」の割合が49.0%と少なく、「あまり思わない」の割合が8.7%と多くなっている。
- ・男性70歳以上では、「強くそう思う」の割合が46.1%と少なく、「多少思う」の割合が51.0%と多くなっている。
- ・女性20～40歳代では、「強くそう思う」の割合がそれぞれ64.2～66.1%と多く、「多少思う」の割合がそれぞれ29.7～31.9%と少ない。

【基数：全体 (N=2,310)】



1 がんについての考え

(5) 多くのがんは早期発見により治療が可能である

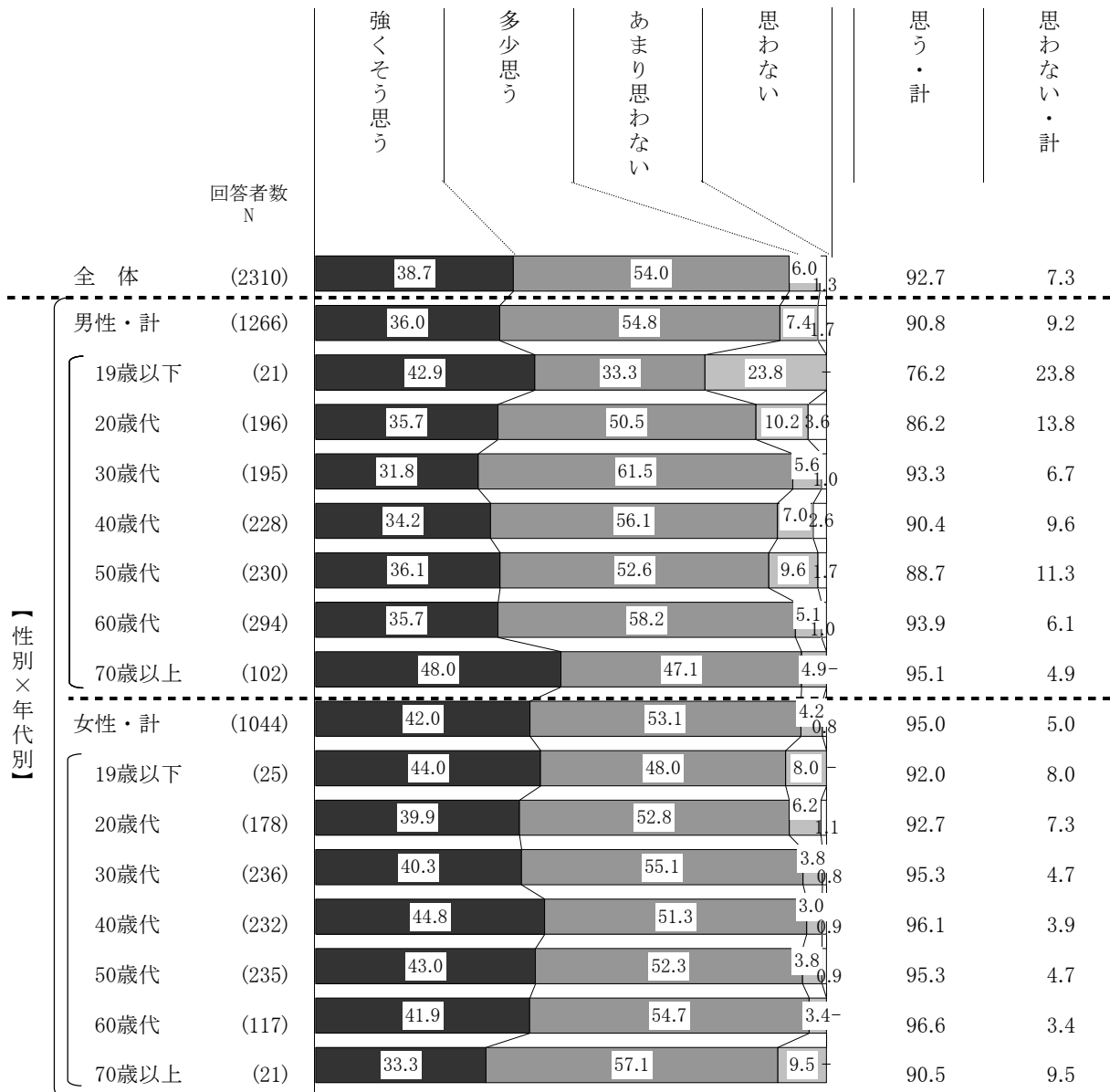
問4. 「がん」について、あなたのお考えを聞かせてください。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「強くそう思う」(38.7%)、「多少思う」(54.0%)、「あまり思わない」(6.0%)、「思わない」(1.3%)となっており、「強くそう思う」と「多少思う」をあわせた「思う・計」は92.7%となっている。

【性別×年代別】

- ・男性19歳以下では、「あまり思わない」の割合が23.8%と多くなっている。
- ・男性20歳代では、「あまり思わない」、「思わない」の割合がそれぞれ10.2%、3.6%と多い。
- ・男性30歳代では、「強くそう思う」の割合が31.8%と少なく、「多少思う」の割合が61.5%と多くなっている。
- ・男性50歳代では、「あまり思わない」の割合が9.6%と多い。

【基数：全体 (N=2,310)】



1 がんについての考え

(6) がんにならないためには生活習慣の改善が重要である

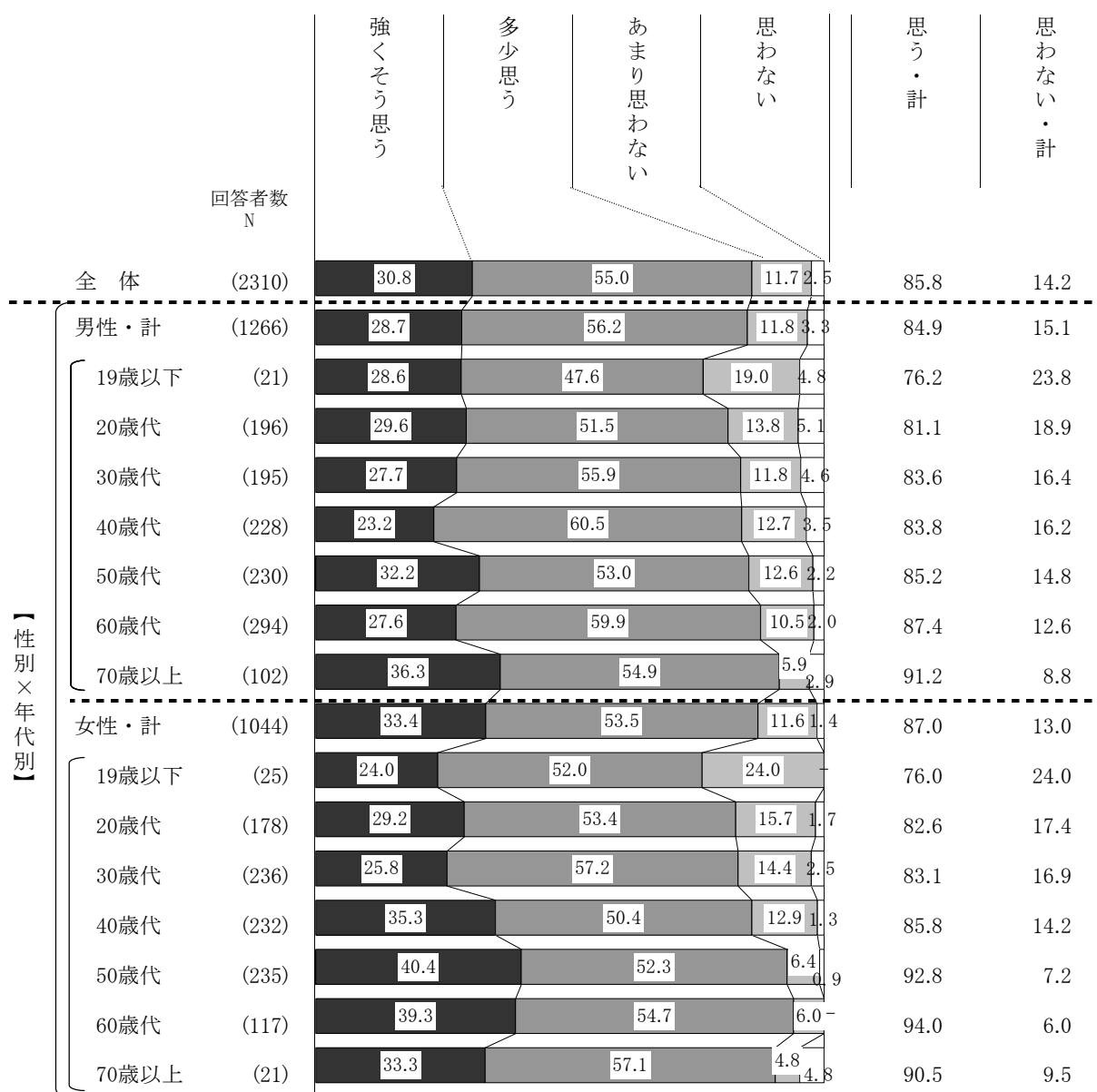
問4. 「がん」について、あなたのお考えを聞かせてください。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「強くそう思う」(30.8%)、「多少思う」(55.0%)、「あまり思わない」(11.7%)、「思わない」(2.5%)となっており、「強くそう思う」と「多少思う」をあわせた「思う・計」は85.8%となっている。

【性別×年代別】

- ・男性20歳代では、「思わない」の割合が5.1%と多くなっている。
- ・男性40歳代では、「強くそう思う」の割合が23.2%と少なくなっている。
- ・女性50歳代では、「強くそう思う」の割合が40.4%と多く、「あまり思わない」の割合が6.4%と少なくなっている。
- ・女性60歳代では、「強くそう思う」の割合が39.3%と多くなっている。

【基数：全体 (N=2,310)】



2 「がん」の原因

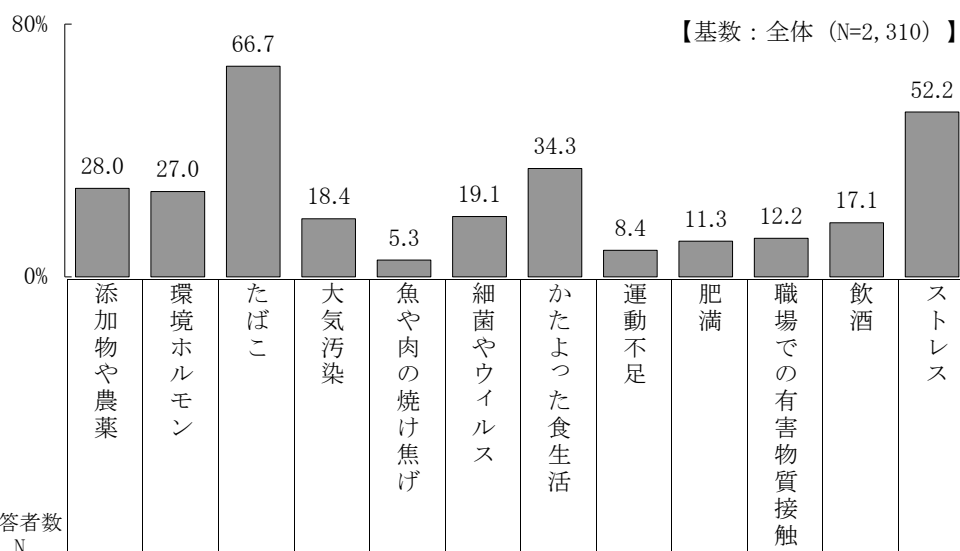
(1) 第1位から第3位までの合算

問5. あなたが「がん」の原因と思う上位3つの項目を1位から3位まで順に選択してください。(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「たばこ」(66.7%)が最も多く、次いで「ストレス」(52.2%)、「かたよった食生活」(34.3%)の順になっている。

【年代別】

- ・18～30歳代では、「たばこ」の割合がそれぞれ71.7～80.4%と多く、40歳代、60歳代ではそれぞれ61.3%、62.0%と少なくなっている。
- ・18～20歳代では、「ストレス」の割合がそれぞれ34.8%～37.7%と少なく、50歳代では60.9%と多くなっている。
- ・20歳代では、「かたよった食生活」の割合が42.0%と多く、60歳代では、26.8%と少なくなっている。
- ・20～30歳代では「添加物や農薬」の割合が少なく、「肥満」の割合が多いが、50歳以上では、「添加物や農薬」の割合が多く、「肥満」の割合が少なくなっている。



		回答者数 N	添加物や農薬	環境ホルモン	たばこ	大気汚染	魚や肉の焼け焦げ	細菌やウイルス	かたよった食生活	運動不足	肥満	職場での有害物質接触	飲酒	ストレス
全 体		(2310)	28.0	27.0	66.7	18.4	5.3	19.1	34.3	8.4	11.3	12.2	17.1	52.2
【年代別】	18～19歳	(46)	23.9	15.2	↑ 80.4	10.9	10.9	10.9	39.1	15.2	15.2	17.4	26.1	↓ 34.8
	20歳代	(374)	↓ 18.4	23.0	↑ 75.9	16.0	7.2	18.4	↑ 42.0	↑ 14.4	↑ 18.2	9.4	19.3	↓ 37.7
	30歳代	(431)	↓ 18.8	↓ 20.9	↑ 71.7	↓ 13.7	4.9	18.3	37.4	10.4	↑ 16.5	11.8	20.4	55.2
	40歳代	(460)	26.3	29.3	↓ 61.3	18.0	3.9	18.0	35.9	8.3	12.0	14.6	16.5	55.9
	50歳代	(465)	↑ 34.2	29.9	62.6	19.4	3.7	16.1	31.2	↓ 5.2	↓ 8.2	14.8	14.0	↑ 60.9
	60歳代	(411)	↑ 38.9	30.9	↓ 62.0	↑ 24.8	6.8	↑ 24.1	↓ 26.8	↓ 4.1	↓ 4.4	10.2	15.1	51.8
	70歳以上	(123)	↑ 37.4	31.7	67.5	22.0	5.7	25.2	29.3	7.3	↓ 2.4	8.1	17.1	46.3

↑は5%水準で高位に有意差あり
↓は5%水準で低位に有意差あり

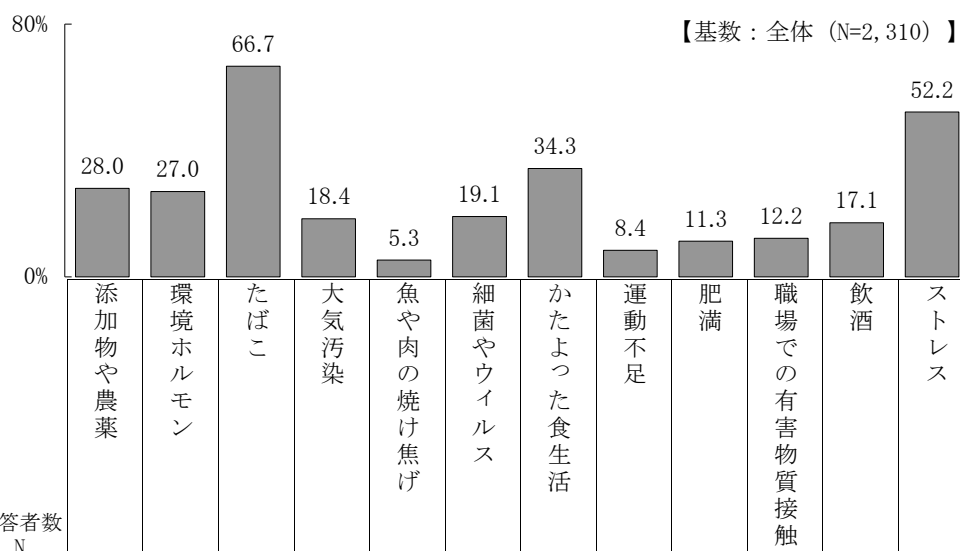
2 「がん」の原因

(1) 第1位から第3位までの合算

問5. あなたが「がん」の原因と思う上位3つの項目を1位から3位まで順に選択してください。(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・男性20歳代では、「たばこ」、「魚や肉の焼き焦げ」、「運動不足」、「肥満」の割合が多く、「添加物や農薬」、「ストレス」の割合が少なくなっている。
- ・男性60歳代では、「添加物や農薬」、「大気汚染」が多く、「かたよった食生活」、「運動不足」、「肥満」の割合が少なくなっている。
- ・女性19歳以下、20歳代では、「たばこ」の割合が多く、「ストレス」の割合が少ない。
- ・女性30歳代では、「ストレス」の割合が59.7%と多くなっている。
- ・女性40～50代では、「たばこ」の割合が少なく、「ストレス」の割合が多くなっている。
- ・女性60歳代では、「添加物や農薬」、「大気汚染」、「最近やウイルス」が多く、「たばこ」、「かたよった食生活」、「運動不足」、「肥満」が少なくなっている。



回答者数 N		添加物や農薬	環境ホルモン	たばこ	大気汚染	魚や肉の焼き焦げ	細菌やウイルス	かたよった食生活	運動不足	肥満	職場での有害物質接触	飲酒	ストレス	
全体	(2310)	28.0	27.0	66.7	18.4	5.3	19.1	34.3	8.4	11.3	12.2	17.1	52.2	
【性別×年代別】	男性・計	(1266)	29.0	26.7	↑ 69.7	20.3	6.6	19.6	↓ 31.2	8.7	10.5	11.4	18.3	↓ 48.1
	19歳以下	(21)	33.3	14.3	66.7	9.5	14.3	9.5	33.3	19.0	19.0	14.3	23.8	42.9
	20歳代	(196)	↓ 16.8	24.5	↑ 76.0	17.3	↑ 9.7	19.4	38.3	↑ 14.8	↑ 19.9	8.7	19.4	↓ 35.2
	30歳代	(195)	↓ 16.9	↓ 19.0	↑ 79.0	13.8	8.2	20.0	31.8	8.2	↑ 15.9	12.8	↑ 24.6	49.7
	40歳代	(228)	28.9	28.1	64.5	19.7	3.9	17.1	32.5	9.2	11.8	↑ 17.1	17.1	50.0
	50歳代	(230)	32.2	29.1	67.8	23.0	3.9	16.5	28.7	7.0	7.4	10.9	17.8	55.7
	60歳代	(294)	↑ 39.8	30.3	65.3	↑ 24.5	7.5	22.4	↓ 27.2	↓ 5.1	↓ 4.1	9.9	15.0	49.0
	70歳以上	(102)	36.3	29.4	68.6	23.5	4.9	25.5	30.4	8.8	↓ 2.9	5.9	16.7	47.1
	女性・計	(1044)	26.8	27.3	↓ 63.1	16.2	↓ 3.8	18.5	↑ 38.0	8.0	12.2	13.2	15.7	↑ 57.1
	19歳以下	(25)	16.0	16.0	↑ 92.0	12.0	8.0	12.0	44.0	12.0	12.0	20.0	28.0	↓ 28.0
	20歳代	(178)	↓ 20.2	21.3	↑ 75.8	14.6	4.5	17.4	↑ 46.1	↑ 14.0	↑ 16.3	10.1	19.1	↓ 40.4
	30歳代	(236)	↓ 20.3	22.5	65.7	13.6	↓ 2.1	16.9	↑ 41.9	↑ 12.3	↑ 16.9	11.0	16.9	↑ 59.7
	40歳代	(232)	23.7	30.6	↓ 58.2	16.4	3.9	19.0	39.2	7.3	12.1	12.1	15.9	↑ 61.6
	50歳代	(235)	↑ 36.2	30.6	↓ 57.4	15.7	3.4	15.7	33.6	↓ 3.4	8.9	↑ 18.7	↓ 10.2	↑ 66.0
60歳代	(117)	↑ 36.8	32.5	↓ 53.8	↑ 25.6	5.1	↑ 28.2	↓ 25.6	↓ 1.7	↓ 5.1	11.1	15.4	59.0	
70歳以上	(21)	42.9	42.9	61.9	14.3	9.5	23.8	23.8	-	-	19.0	19.0	42.9	

↑は5%水準で高位に有意差あり
↓は5%水準で低位に有意差あり

2 「がん」の原因

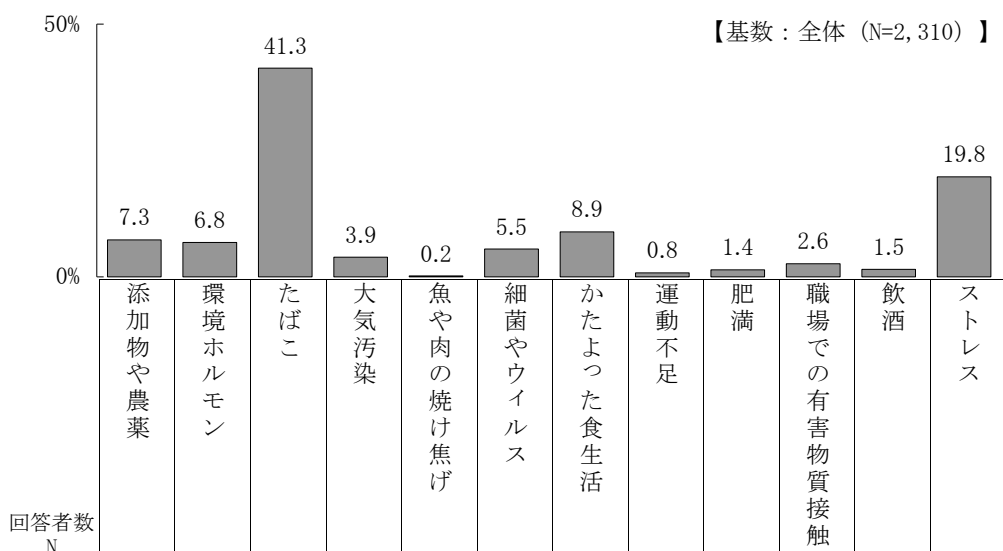
(2) 第1位

問5. あなたが「がん」の原因と思う上位3つの項目を1位から3位まで順に選択してください。(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「たばこ」(41.3%)が最も多く、次いで「ストレス」(19.8%)、「かたよった食生活」(8.9%)の順になっている。

【年代別】

- ・18～19歳では、「たばこ」の割合が69.6%と全体よりも28.3ポイント多くなっている。
- ・20歳代では、「たばこ」(49.7%)、「かたよった食生活」(13.4%)と多く、「添加物や農薬」(4.3%)、「ストレス」(12.3%)と少なくなっている。
- ・30歳代では、「肥満」の割合が2.6%と全体よりも1.2ポイント多くなっている。
- ・40歳代では、「ストレス」の割合が24.3%と多い。
- ・50歳代では、「添加物や農薬」(10.1%)、「ストレス」(23.4%)と多くなっている。
- ・60歳代では、「大気汚染」、「魚や肉の焼け焦げ」が多く、「たばこ」が少なくなっている。
- ・70歳代以上では、「最近やウイルス」の割合が9.8%と多い。



		回答者数 N	添加物や農薬	環境ホルモン	たばこ	大気汚染	魚や肉の焼け焦げ	細菌やウイルス	かたよった食生活	運動不足	肥満	職場での有害物質接触	飲酒	ストレス
全体		(2310)	7.3	6.8	41.3	3.9	0.2	5.5	8.9	0.8	1.4	2.6	1.5	19.8
【年代別】	18～19歳	(46)	8.7	-	↑ 69.6	-	-	4.3	4.3	-	-	4.3	-	8.7
	20歳代	(374)	↓ 4.3	5.9	↑ 49.7	2.1	-	5.6	↑ 13.4	1.3	1.3	1.9	2.1	↓ 12.3
	30歳代	(431)	4.9	5.8	44.5	2.3	0.5	5.3	9.7	0.5	↑ 2.6	2.8	1.6	19.5
	40歳代	(460)	5.9	8.0	37.6	4.3	-	5.0	7.8	0.9	1.7	3.5	0.9	↑ 24.3
	50歳代	(465)	↑ 10.1	7.5	37.2	3.2	-	↓ 3.4	8.4	0.4	0.9	3.4	1.9	↑ 23.4
	60歳代	(411)	9.7	6.1	↓ 36.3	↑ 7.8	↑ 0.7	7.5	7.3	1.0	0.7	1.2	1.2	20.4
	70歳以上	(123)	11.4	9.8	39.0	3.3	-	↑ 9.8	5.7	0.8	1.6	2.4	1.6	14.6

↑は5%水準で高位に有意差あり
↓は5%水準で低位に有意差あり

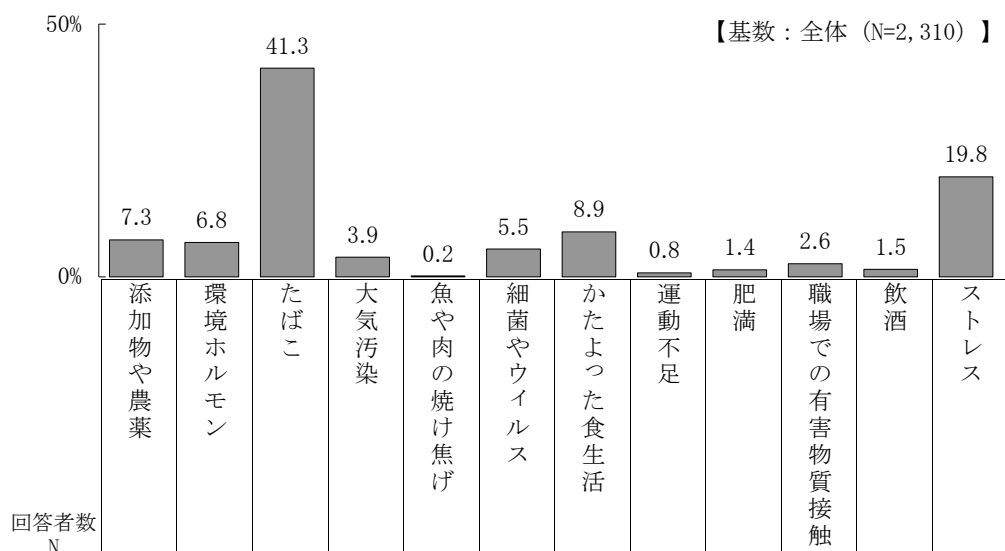
2 「がん」の原因

(2) 第1位

問5. あなたが「がん」の原因と思う上位3つの項目を1位から3位まで順に選択してください。(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・男性19歳以下では、「添加物や農薬」の割合が19.0%と多くなっている。
- ・男性20～30歳代では、「たばこ」の割合がそれぞれ49.0～52.3%と多く、「運動不足」、「ストレス」が少なくなっている。
- ・女性19歳以下では、「たばこ」の割合が80.0%と全体よりも38.7ポイント多い。
- ・女性20歳代では、「たばこ」の割合が50.6%と多く、「ストレス」が10.7%と少なくなっている。
- ・女性40～50歳代では、「ストレス」の割合がそれぞれ28.0～28.1%と多く、「たばこ」の割合がそれぞれ31.9～32.8%と少なくなっている。
- ・男性50歳代では、「添加物や農薬」の割合がそれぞれ11.3%と多い。
- ・60歳代女性/男性では、「大気汚染」の割合がそれぞれ6.8～10.3%と多くなっている。



回答者数 N		添加物や農薬	環境ホルモン	たばこ	大気汚染	魚や肉の焼け焦げ	細菌やウイルス	かたよった食生活	運動不足	肥満	職場での有害物質接触	飲酒	ストレス	
全体	(2310)	7.3	6.8	41.3	3.9	0.2	5.5	8.9	0.8	1.4	2.6	1.5	19.8	
【性別×年代別】	男性・計	(1266)	8.0	6.3	↑ 44.0	4.2	0.4	5.6	↓ 7.3	1.1	1.3	2.9	1.7	↓ 17.3
	19歳以下	(21)	↑ 19.0	-	57.1	-	-	4.8	4.8	-	-	4.8	-	9.5
	20歳代	(196)	4.6	5.6	↑ 49.0	2.6	-	5.1	10.2	↑ 2.0	2.6	2.0	2.6	↓ 13.8
	30歳代	(195)	4.1	3.6	↑ 52.3	2.1	↑ 1.0	4.1	8.2	-	2.1	3.6	2.1	16.9
	40歳代	(228)	6.1	6.1	43.4	4.4	-	5.3	7.0	1.3	-	↑ 4.8	0.9	20.6
	50歳代	(230)	↑ 11.3	7.8	41.7	4.3	-	3.5	5.7	0.9	1.3	3.0	1.7	18.7
	60歳代	(294)	9.5	6.8	37.8	↑ 6.8	↑ 1.0	7.8	6.8	1.4	0.7	1.7	1.4	18.4
	70歳以上	(102)	11.8	9.8	40.2	3.9	-	8.8	5.9	1.0	2.0	2.0	2.0	12.7
	女性・計	(1044)	6.5	7.3	↓ 37.9	3.4	-	5.5	↑ 10.9	0.4	1.6	2.3	1.3	↑ 22.8
	19歳以下	(25)	-	-	↑ 80.0	-	-	4.0	4.0	-	-	4.0	-	8.0
	20歳代	(178)	3.9	6.2	↑ 50.6	1.7	-	6.2	↑ 16.9	0.6	-	1.7	1.7	↓ 10.7
	30歳代	(236)	5.5	7.6	38.1	2.5	-	6.4	11.0	0.8	↑ 3.0	2.1	1.3	21.6
	40歳代	(232)	5.6	9.9	↓ 31.9	4.3	-	4.7	8.6	0.4	↑ 3.4	2.2	0.9	↑ 28.0
	50歳代	(235)	8.9	7.2	↓ 32.8	2.1	-	3.4	11.1	-	0.4	3.8	2.1	↑ 28.1
60歳代	(117)	10.3	4.3	32.5	↑ 10.3	-	6.8	8.5	-	0.9	-	0.9	25.6	
70歳以上	(21)	9.5	9.5	33.3	-	-	14.3	4.8	-	-	4.8	-	23.8	

↑は5%水準で高位に有意差あり
↓は5%水準で低位に有意差あり

2 「がん」の原因

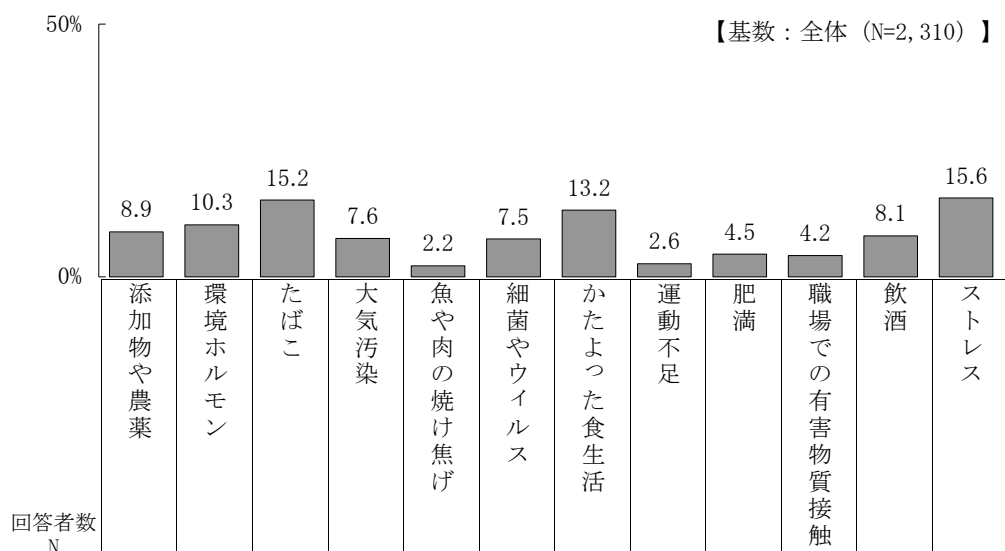
(3) 第2位

問5. あなたが「がん」の原因と思う上位3つの項目を1位から3位まで順に選択してください。(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「ストレス」(15.6%)が最も多く、次いで「たばこ」(15.2%)、「かたよった食生活」(13.2%)の順になっている。

【年代別】

- ・18～19歳では、「肥満」の割合が10.9%と全体よりも6.4ポイント多い。
- ・20歳代では、「魚や肉の焼け焦げ」、「かたよった食生活」、「運動不足」、「肥満」、が多く、「添加物や農薬」が少なくなっている。
- ・30歳代では、「運動不足」が多く、「添加物や農薬」、「環境ホルモン」が少ない。
- ・50歳代では、「ストレス」の割合が19.6%と多くなっている。
- ・60～70歳以上では、「添加物や農薬」が多く、「運動不足」、「肥満」が少なくなっている。



		回答者数 N	添加物や農薬	環境ホルモン	たばこ	大気汚染	魚や肉の焼け焦げ	細菌やウイルス	かたよった食生活	運動不足	肥満	職場での有害物質接触	飲酒	ストレス
全体		(2310)	8.9	10.3	15.2	7.6	2.2	7.5	13.2	2.6	4.5	4.2	8.1	15.6
【年代別】	18～19歳	(46)	4.3	6.5	6.5	8.7	4.3	2.2	19.6	2.2	↑ 10.9	4.3	15.2	15.2
	20歳代	(374)	↓ 4.5	11.0	13.9	5.1	↑ 3.7	7.2	↑ 17.1	↑ 5.1	↑ 7.0	3.2	9.1	13.1
	30歳代	(431)	↓ 3.9	↓ 7.2	16.5	6.5	2.3	8.6	13.9	↑ 4.2	5.6	4.9	9.7	16.7
	40歳代	(460)	8.3	10.4	14.8	7.4	2.0	6.7	13.0	2.2	5.4	5.0	8.9	15.9
	50歳代	(465)	10.8	10.8	14.8	7.7	1.5	6.9	11.8	1.9	2.8	5.4	6.0	↑ 19.6
	60歳代	(411)	↑ 14.6	12.7	16.1	10.0	1.7	8.8	10.9	↓ 0.5	↓ 2.4	2.4	6.3	13.6
	70歳以上	(123)	↑ 17.9	9.8	17.1	11.4	1.6	8.1	10.6	1.6	↓ -	3.3	8.1	10.6

↑は5%水準で高位に有意差あり
↓は5%水準で低位に有意差あり

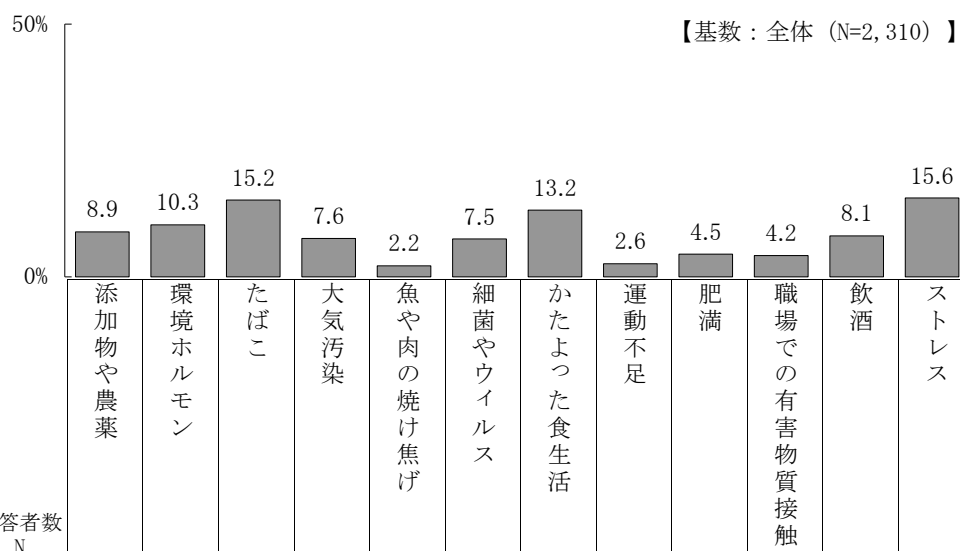
2 「がん」の原因

(3) 第2位

問5. あなたが「がん」の原因と思う上位3つの項目を1位から3位まで順に選択してください。(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・男性20歳代では、「魚や肉の焼け焦げ」の割合が5.1%と多く、「添加物や農薬」(3.6%)、「職場での有害物質接触」(1.0%)と少なくなっている。
- ・30歳代/50歳代女性では、「ストレス」の割合がそれぞれ20.3%/20.4%を多くなっている。
- ・男性30歳代では、「飲酒」の割合が13.8%と多いが、女性50歳代では、その割合は2.6%と少なくなっている。
- ・男性20~30歳代、女性30歳代では、「添加物や農薬」の割合がそれぞれ3.1~4.7%と少なく、男性60歳以上、女性60歳代では、それぞれ14.5~18.6%と多い。
- ・男性60歳代、女性50歳代では、「運動不足」の割合がそれぞれ0.4~0.7%と少なく、女性20歳代では、5.6%と多くなっている。
- ・女性20歳代/40歳代、では「かたよった食生活」の割合がそれぞれ17.7~19.7%と多く、男性40歳代では、8.3%と少ない。



回答者数 N		添加物や農薬	環境ホルモン	たばこ	大気汚染	魚や肉の焼け焦げ	細菌やウイルス	かたよった食生活	運動不足	肥満	職場での有害物質接触	飲酒	ストレス	
全体	(2310)	8.9	10.3	15.2	7.6	2.2	7.5	13.2	2.6	4.5	4.2	8.1	15.6	
【性別×年代別】	男性・計	(1266)	9.3	11.1	15.6	↑ 9.1	2.7	7.6	↓ 11.4	2.8	3.9	3.2	9.4	14.0
	19歳以下	(21)	4.8	9.5	4.8	4.8	4.8	-	19.0	4.8	9.5	4.8	19.0	14.3
	20歳代	(196)	↓ 3.6	13.3	14.8	6.1	↑ 5.1	8.7	14.8	4.6	6.6	↓ 1.0	10.7	10.7
	30歳代	(195)	↓ 3.1	↓ 5.1	16.4	8.2	3.6	10.3	13.3	3.6	5.6	4.6	↑ 13.8	12.3
	40歳代	(228)	8.8	13.6	14.5	8.8	1.8	5.3	↓ 8.3	2.6	6.1	6.1	9.2	14.9
	50歳代	(230)	9.6	10.4	16.1	9.6	1.7	7.0	10.0	3.5	↓ 1.3	2.6	9.6	18.7
	60歳代	(294)	↑ 14.6	12.9	17.0	10.5	2.0	7.8	11.2	↓ 0.7	↓ 2.0	2.0	5.4	13.6
	70歳以上	(102)	↑ 18.6	9.8	15.7	12.7	2.0	7.8	9.8	2.0	↓ -	2.0	7.8	11.8
	女性・計	(1044)	8.4	9.2	14.6	↓ 5.8	1.6	7.5	↑ 15.5	2.5	5.2	↑ 5.5	6.6	17.6
	19歳以下	(25)	4.0	4.0	8.0	12.0	4.0	4.0	20.0	-	12.0	4.0	12.0	16.0
	20歳代	(178)	5.6	8.4	12.9	3.9	2.2	5.6	↑ 19.7	↑ 5.6	7.3	5.6	7.3	15.7
	30歳代	(236)	↓ 4.7	8.9	16.5	5.1	1.3	7.2	14.4	4.7	5.5	5.1	6.4	↑ 20.3
	40歳代	(232)	7.8	7.3	15.1	6.0	2.2	8.2	↑ 17.7	1.7	4.7	3.9	8.6	16.8
	50歳代	(235)	11.9	11.1	13.6	6.0	1.3	6.8	13.6	↓ 0.4	4.3	↑ 8.1	↓ 2.6	↑ 20.4
60歳代	(117)	↑ 14.5	12.0	13.7	8.5	0.9	11.1	10.3	-	3.4	3.4	8.5	13.7	
70歳以上	(21)	14.3	9.5	23.8	4.8	-	9.5	14.3	-	-	9.5	9.5	4.8	

↑は5%水準で高位に有意差あり
↓は5%水準で低位に有意差あり

2 「がん」の原因

(4) 第3位

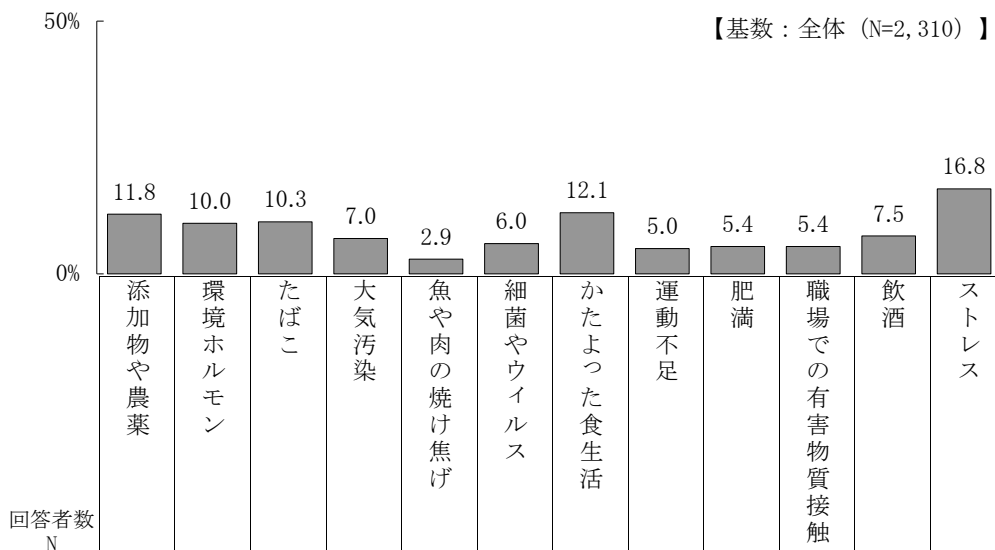
問5. あなたが「がん」の原因と思う上位3つの項目を1位から3位まで順に選択してください。(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「ストレス」(16.8%)が最も多く、次いで「かたよった食生活」(12.1%)、「添加物や農薬」(11.8%)の順になっている。

【年代別】

- ・18～19歳では、「運動不足」の割合が13.0%と全体と比べると8ポイント多い。
- ・20歳代では、「運動不足」(8.0%)、「肥満」(9.9%)と多く、「環境ホルモン」(6.1%)、「ストレス」(12.3%)と少なくなっている。
- ・30歳代では、「肥満」の割合が8.4%と多く、60歳以上では、それぞれ0.8～1.2%と少ない。
- ・50歳代では、「運動不足」の割合が2.8%と少ない。
- ・60歳代では、「かたよった食生活」(8.5%)、「運動不足」(2.7%)、「肥満」(1.2%)と少なくなっている。

【基数：全体 (N=2,310)】



回答者数 N		添加物や農薬	環境ホルモン	たばこ	大気汚染	魚や肉の焼け焦げ	細菌やウイルス	かたよった食生活	運動不足	肥満	職場での有害物質接触	飲酒	ストレス	
全体	(2310)	11.8	10.0	10.3	7.0	2.9	6.0	12.1	5.0	5.4	5.4	7.5	16.8	
【年代別】	18～19歳	(46)	10.9	8.7	4.3	2.2	6.5	4.3	15.2	↑13.0	4.3	8.7	10.9	10.9
	20歳代	(374)	9.6	↓6.1	12.3	8.8	3.5	5.6	11.5	↑8.0	↑9.9	4.3	8.0	↓12.3
	30歳代	(431)	10.0	7.9	10.7	4.9	2.1	4.4	13.7	5.8	↑8.4	4.2	9.0	19.0
	40歳代	(460)	12.2	10.9	8.9	6.3	2.0	6.3	15.0	5.2	4.8	6.1	6.7	15.7
	50歳代	(465)	13.3	11.6	10.5	8.4	2.2	5.8	11.0	↓2.8	4.5	6.0	6.0	17.8
	60歳代	(411)	14.6	12.2	9.7	7.1	4.4	7.8	↓8.5	↓2.7	↓1.2	6.6	7.5	17.8
	70歳以上	(123)	8.1	12.2	11.4	7.3	4.1	7.3	13.0	4.9	↓0.8	2.4	7.3	21.1

↑は5%水準で高位に有意差あり
↓は5%水準で低位に有意差あり

2 「がん」の原因

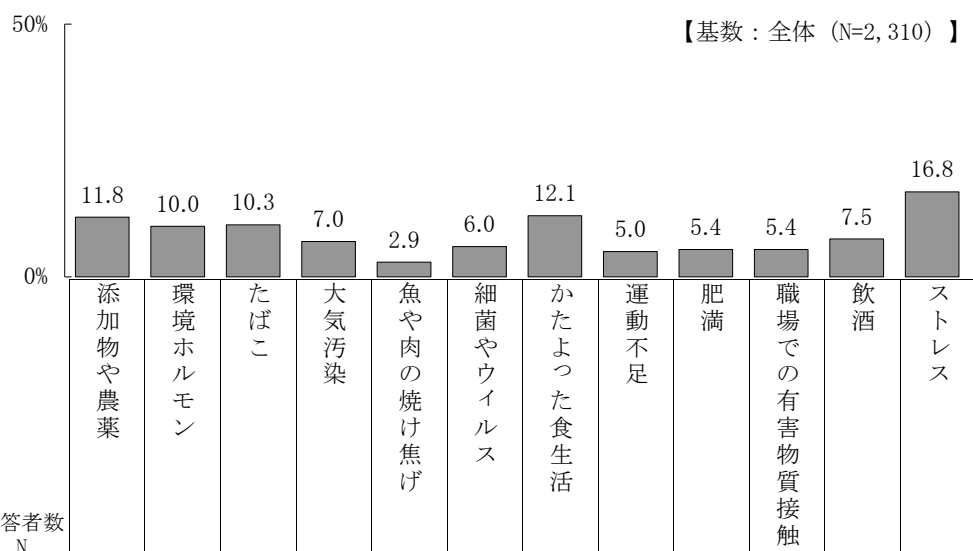
(4) 第3位

問5. あなたが「がん」の原因と思う上位3つの項目を1位から3位まで順に選択してください。(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・男性19歳以下では、「運動不足」の割合が14.3%と全体と比べると9.3ポイント多い。
- ・男性20歳代では、「運動不足」の割合が8.2%と多くなっている。
- ・男性20歳代、女性30歳代では、「環境ホルモン」の割合がそれぞれ5.6%、5.9%と少なく、女性60歳以上では、それぞれ16.2%～23.8%と多くなっている。
- ・男性40歳代、女性30歳代では、「かたよった食生活」の割合がそれぞれ17.1%、16.5%と多くなっている。
- ・男性20歳代、女性20～30歳代では、「肥満」の割合がそれぞれ8.5～10.7%と多く、60歳以上の男性/女性はそれぞれ0.0～1.4%と少ない。
- ・男性60歳代では、「添加物や農薬」の割合が15.6%と多くなっている。

【基数：全体 (N=2,310)】



回答者数 N		添加物や農薬	環境ホルモン	たばこ	大気汚染	魚や肉の焼け焦げ	細菌やウイルス	かたよった食生活	運動不足	肥満	職場での有害物質接触	飲酒	ストレス	
全体	(2310)	11.8	10.0	10.3	7.0	2.9	6.0	12.1	5.0	5.4	5.4	7.5	16.8	
【性別×年代別】	男性・計	(1266)	11.7	9.2	10.0	7.0	3.5	6.4	12.6	4.8	5.4	5.3	7.3	16.8
	19歳以下	(21)	9.5	4.8	4.8	4.8	9.5	4.8	9.5	↑ 14.3	9.5	4.8	4.8	19.0
	20歳代	(196)	8.7	↓ 5.6	12.2	8.7	4.6	5.6	13.3	↑ 8.2	↑ 10.7	5.6	6.1	↓ 10.7
	30歳代	(195)	9.7	10.3	10.3	3.6	3.6	5.6	10.3	4.6	8.2	4.6	8.7	20.5
	40歳代	(228)	14.0	8.3	6.6	6.6	2.2	6.6	↑ 17.1	5.3	5.7	6.1	7.0	14.5
	50歳代	(230)	11.3	10.9	10.0	9.1	2.2	6.1	13.0	2.6	4.8	5.2	6.5	18.3
	60歳代	(294)	↑ 15.6	10.5	10.5	7.1	4.4	6.8	9.2	3.1	↓ 1.4	6.1	8.2	17.0
	70歳以上	(102)	5.9	9.8	12.7	6.9	2.9	8.8	14.7	5.9	↓ 1.0	2.0	6.9	22.5
	女性・計	(1044)	11.9	10.8	10.6	6.9	2.2	5.6	11.6	5.2	5.4	5.5	7.8	16.7
	19歳以下	(25)	12.0	12.0	4.0	-	4.0	4.0	20.0	12.0	-	12.0	16.0	4.0
	20歳代	(178)	10.7	6.7	12.4	9.0	2.2	5.6	9.6	7.9	↑ 9.0	2.8	10.1	14.0
	30歳代	(236)	10.2	↓ 5.9	11.0	5.9	0.8	3.4	↑ 16.5	6.8	↑ 8.5	3.8	9.3	17.8
	40歳代	(232)	10.3	13.4	11.2	6.0	1.7	6.0	12.9	5.2	3.9	6.0	6.5	16.8
	50歳代	(235)	15.3	12.3	11.1	7.7	2.1	5.5	8.9	3.0	4.3	6.8	5.5	17.4
60歳代	(117)	12.0	↑ 16.2	7.7	6.8	4.3	10.3	6.8	1.7	↓ 0.9	7.7	6.0	19.7	
70歳以上	(21)	19.0	↑ 23.8	4.8	9.5	9.5	-	4.8	-	-	4.8	9.5	14.3	

↑は5%水準で高位に有意差あり
↓は5%水準で低位に有意差あり

3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

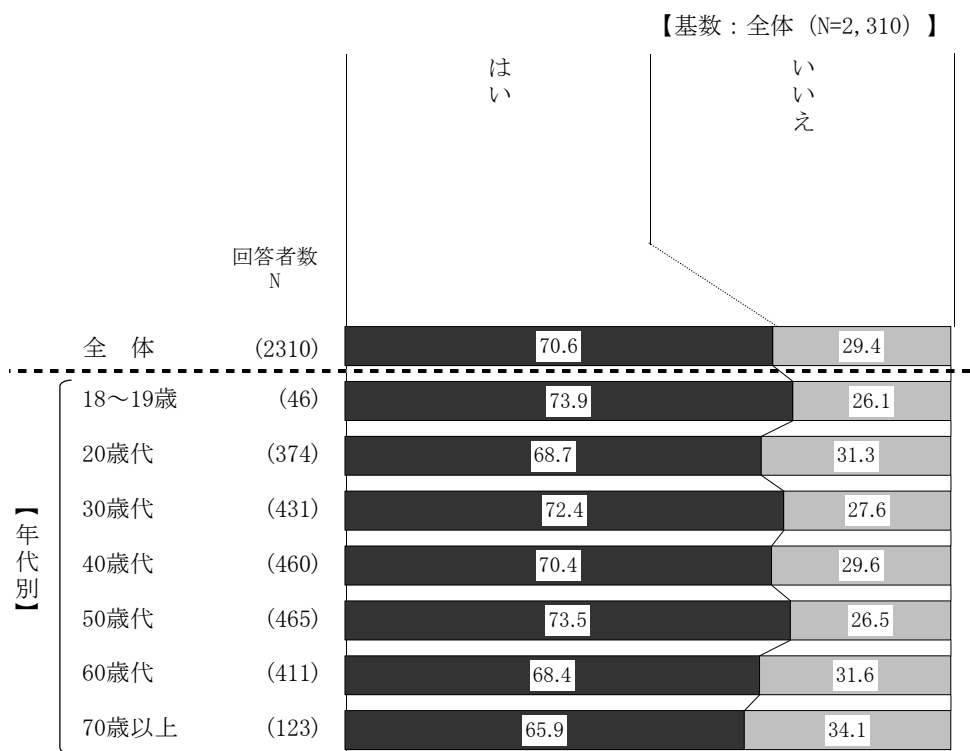
(1) 野菜・果物の摂取が不足すること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いませんか。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「はい」(70.6%)、「いいえ」(29.4%)となっており、3分の2以上の人が「野菜・果物の摂取が不足する」と「がん」にかかる危険性を高めると答えている。

【年代別】

年代別では、統計的な差異は認められない。



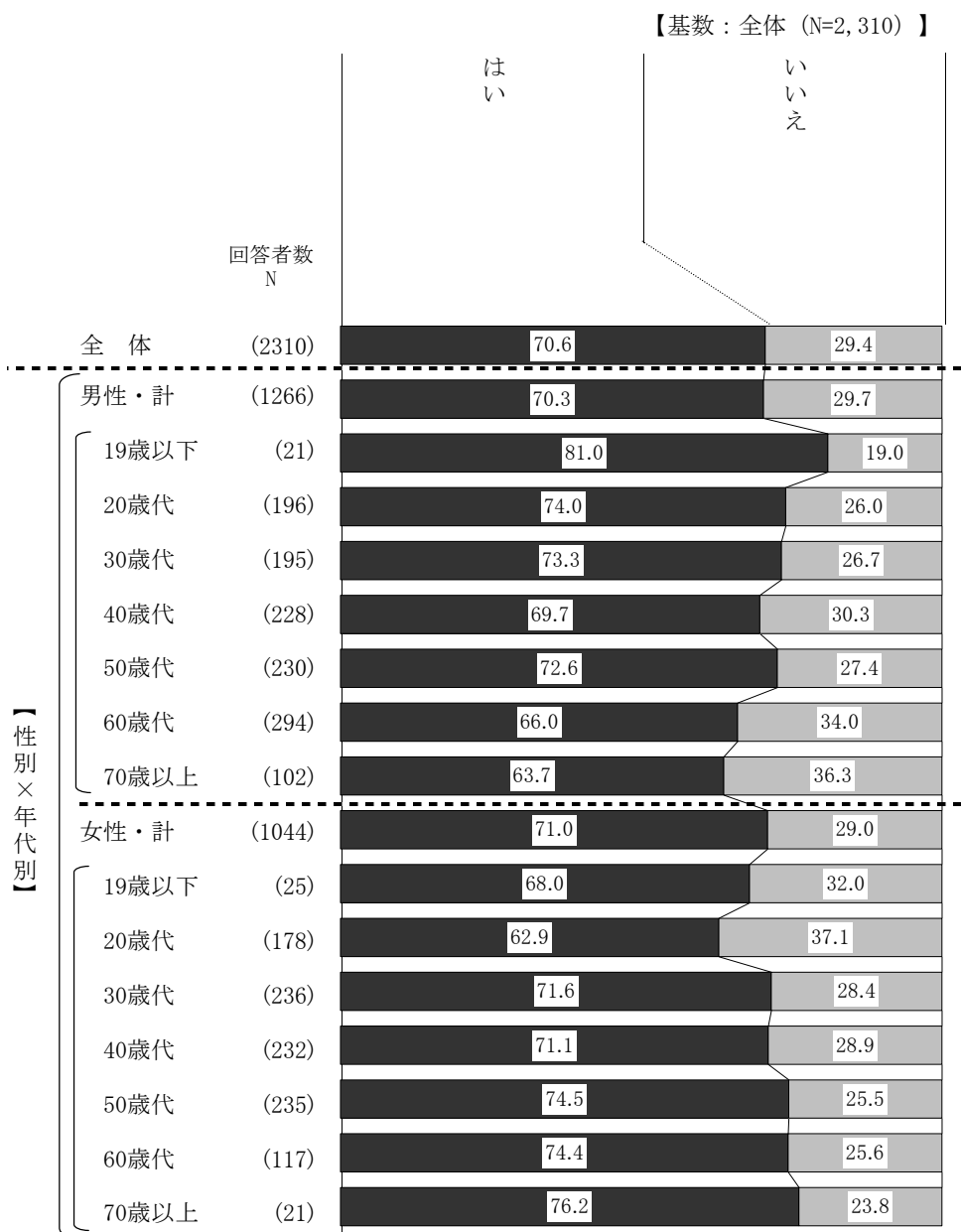
3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

(1) 野菜・果物の摂取が不足すること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・女性20歳代では、「いいえ」の割合が37.1%と多く、全体と比べると7.7ポイント多くなっている。



3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

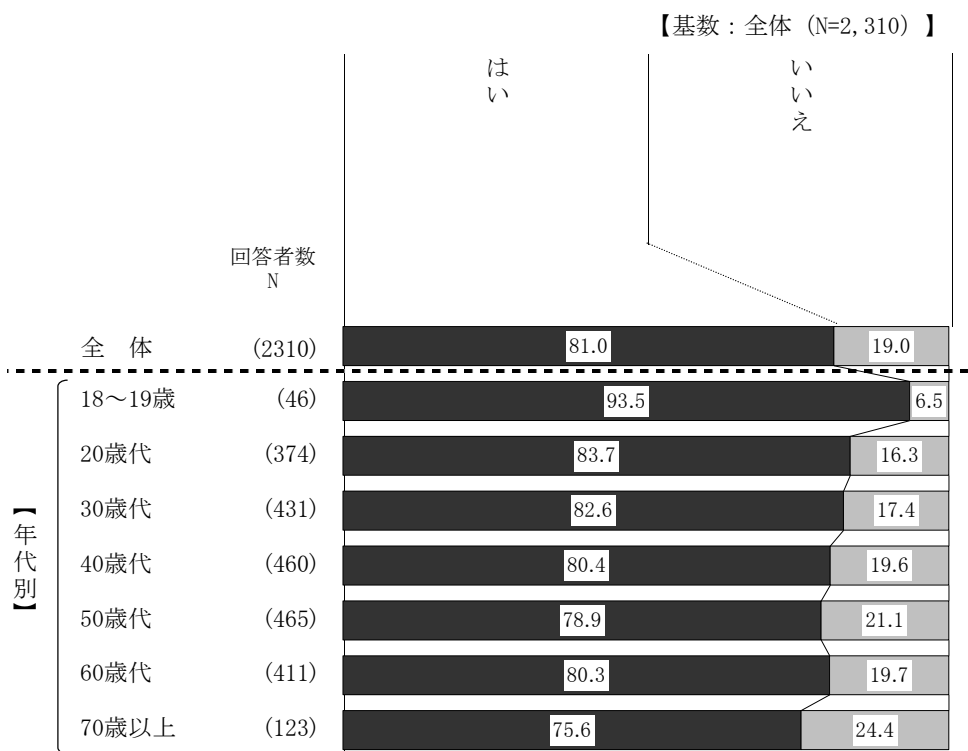
23 (2) お酒を飲み過ぎること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「はい」の割合が81.0%と多く、約8割の人が「お酒を飲み過ぎる」と「がん」にかかる危険性を高めると答えている。

【年代別】

- ・18～19歳では、「はい」の割合は93.5%と多く、全体と比べると12.5ポイント多くなっている。



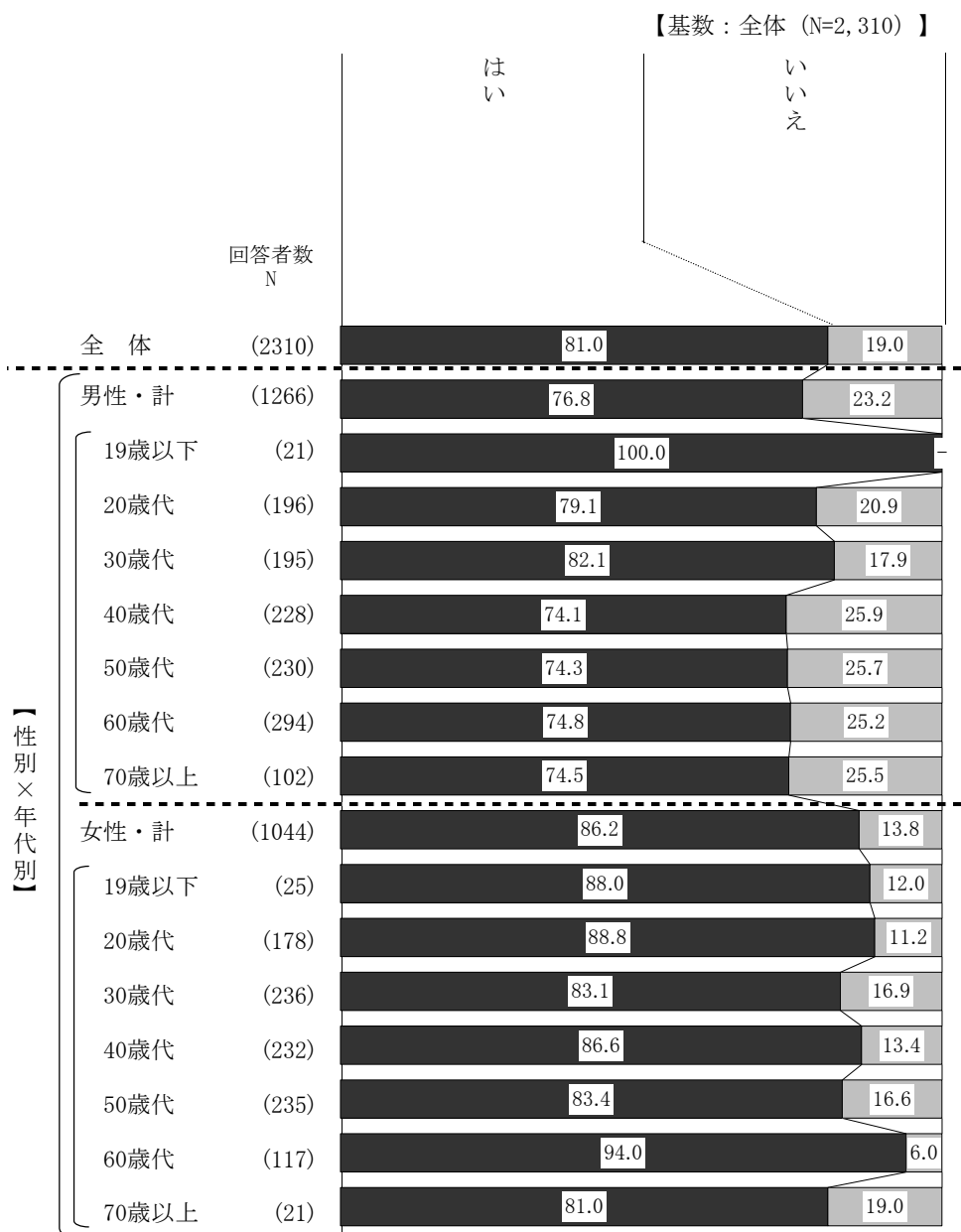
3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

(2) お酒を飲み過ぎること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・ 男性19歳以下では、「はい」の割合が100%と全体よりも19ポイント多い。
- ・ 男性40～60歳代では、「はい」の割合がそれぞれ74.1～74.8%と少なく、女性20歳代/40歳代/60歳代では、それぞれ88.8%/86.6%/94.0%と多い。



3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

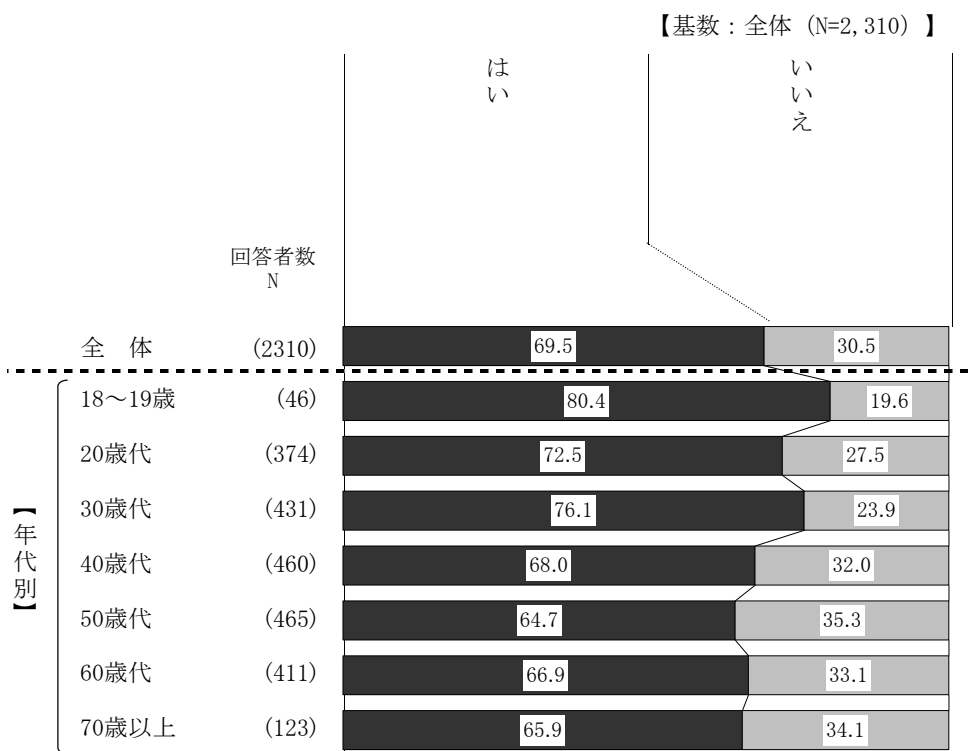
(3) 塩分を摂り過ぎること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いませんか。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「はい」の割合が69.5%と多く、3分の2以上の人が「塩分と摂り過ぎる」と「がん」にかかる危険性を高めると答えている。

【年代別】

・30歳代では、「はい」の割合は76.1%と多く、50歳代では64.7%と少なくなっている。



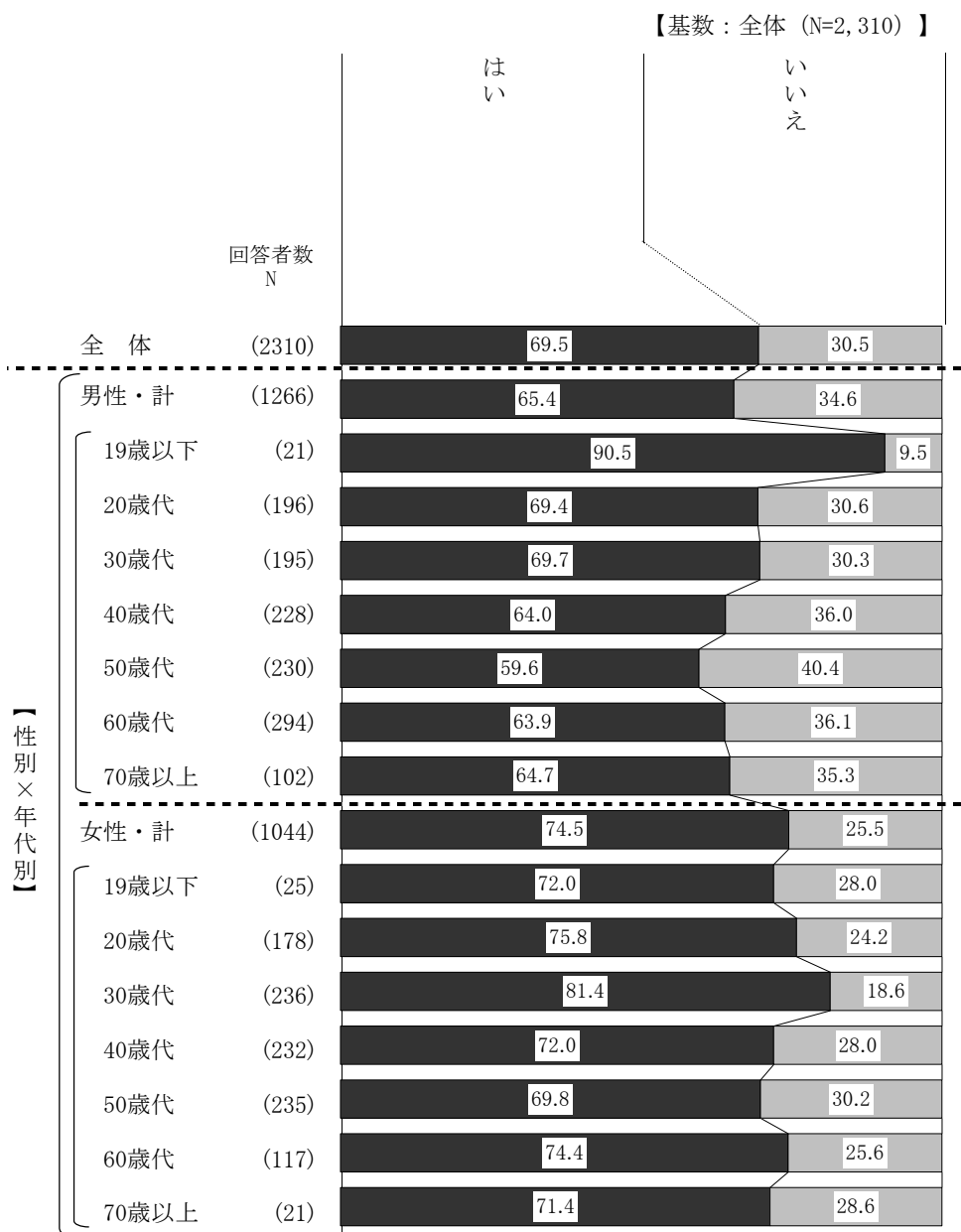
3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

(3) 塩分を摂り過ぎること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・ 男性19歳以下、女性30歳代では、「はい」の割合がそれぞれ90.5%、81.4%と多くなっている。
- ・ 男性50～60歳代では、「はい」の割合がそれぞれ59.6～63.9%と少ない。



3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

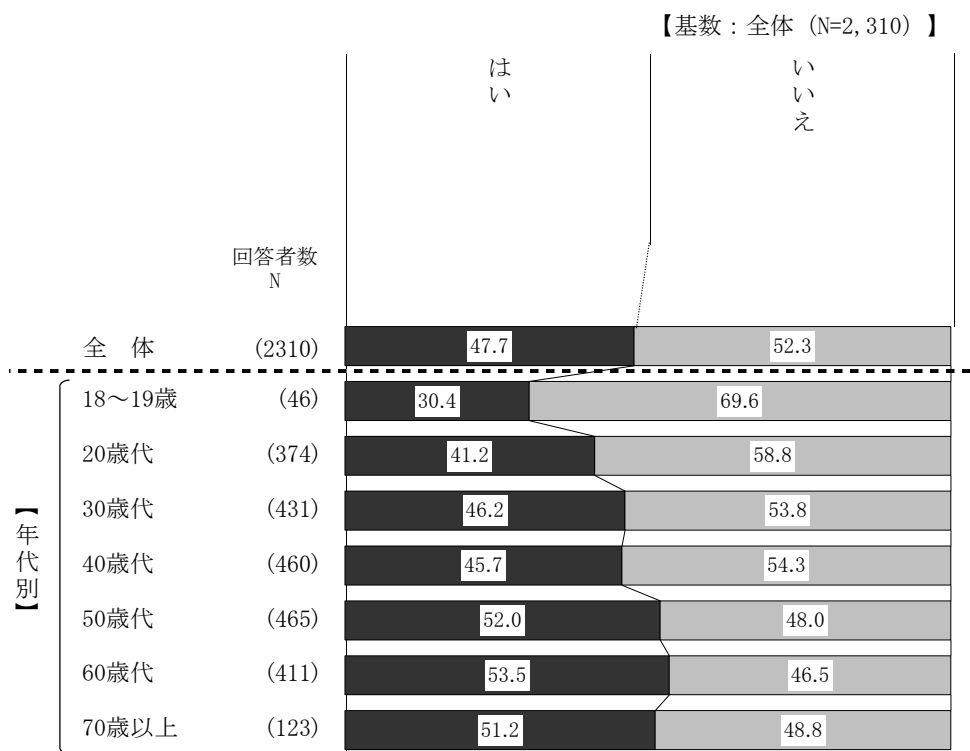
(4) 飲食物を熱い状態で摂ること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いませんか。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「はい」(47.7%)、「いいえ」(52.3%)となっており、約半数の人が「飲食物を熱い状態で摂る」と「がん」にかかる危険性を高めると答えている。

【年代別】

- ・18～19歳、20歳代では、「はい」の割合はそれぞれ30.4%、41.2%と少ない。
- ・60歳代では、「はい」の割合は53.5%と多くなっている。



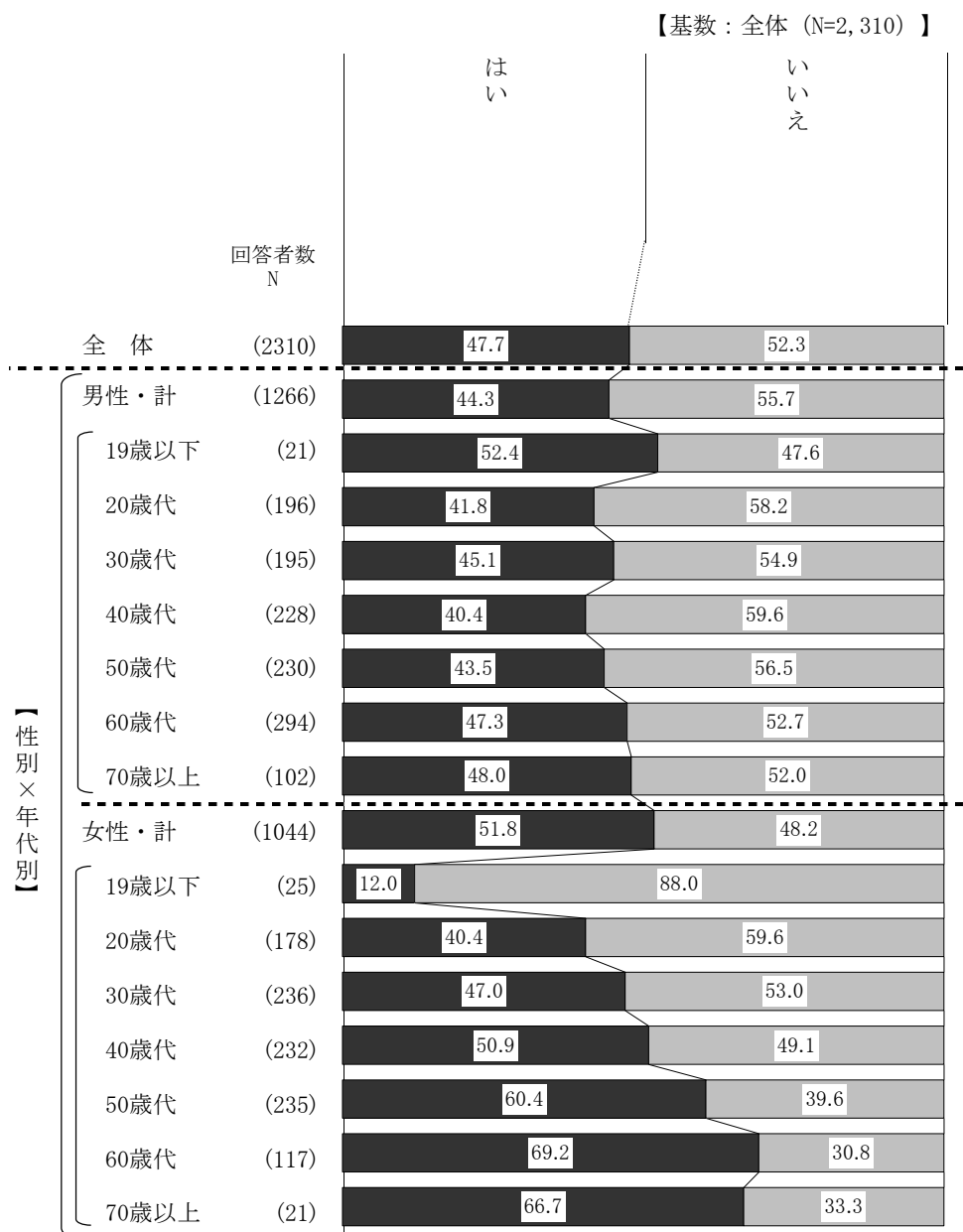
3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

(4) 飲食物を熱い状態で摂ること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・ 男性40歳代、女性19歳以下では、「はい」の割合がそれぞれ40.4%、12.0%と少ない。
- ・ 女性50～60歳代では、それぞれ60.4～69.2%と多くなっている。



3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

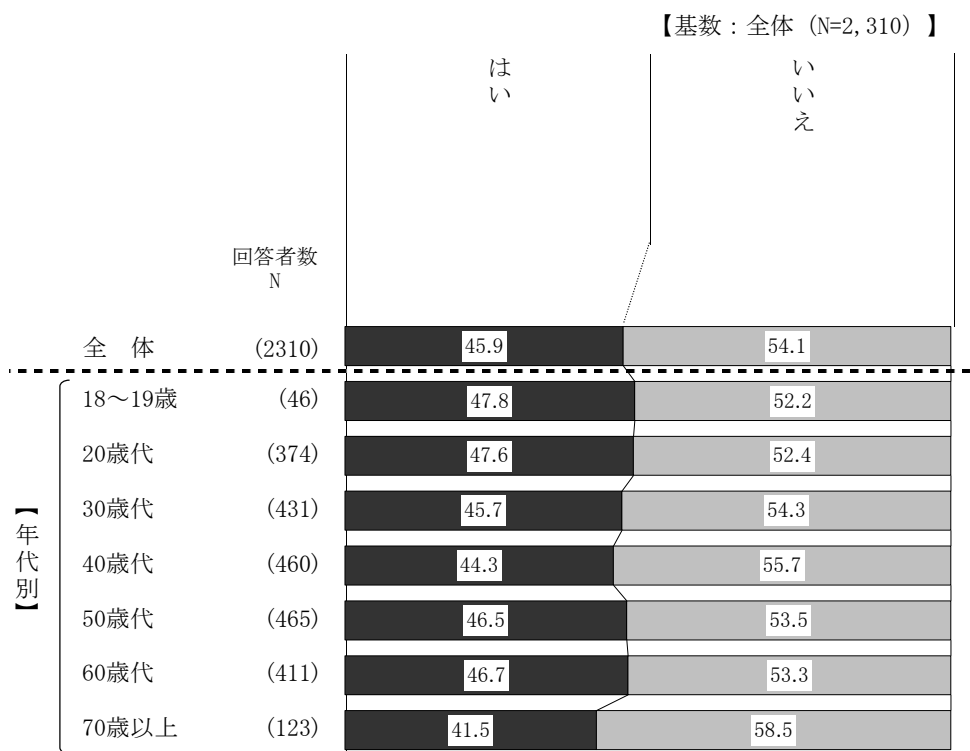
(5) 赤肉（牛・豚の肉）や保存・加工肉を摂り過ぎること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
 (お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「はい」(45.9%)、「いいえ」(54.1%)となっており、約半数弱の人が「赤肉（牛・豚の肉）や保存・加工肉」を摂ると「がん」にかかる危険性を高めると答えている。

【年代別】

- ・年代別では、統計的な有意差は認められない。



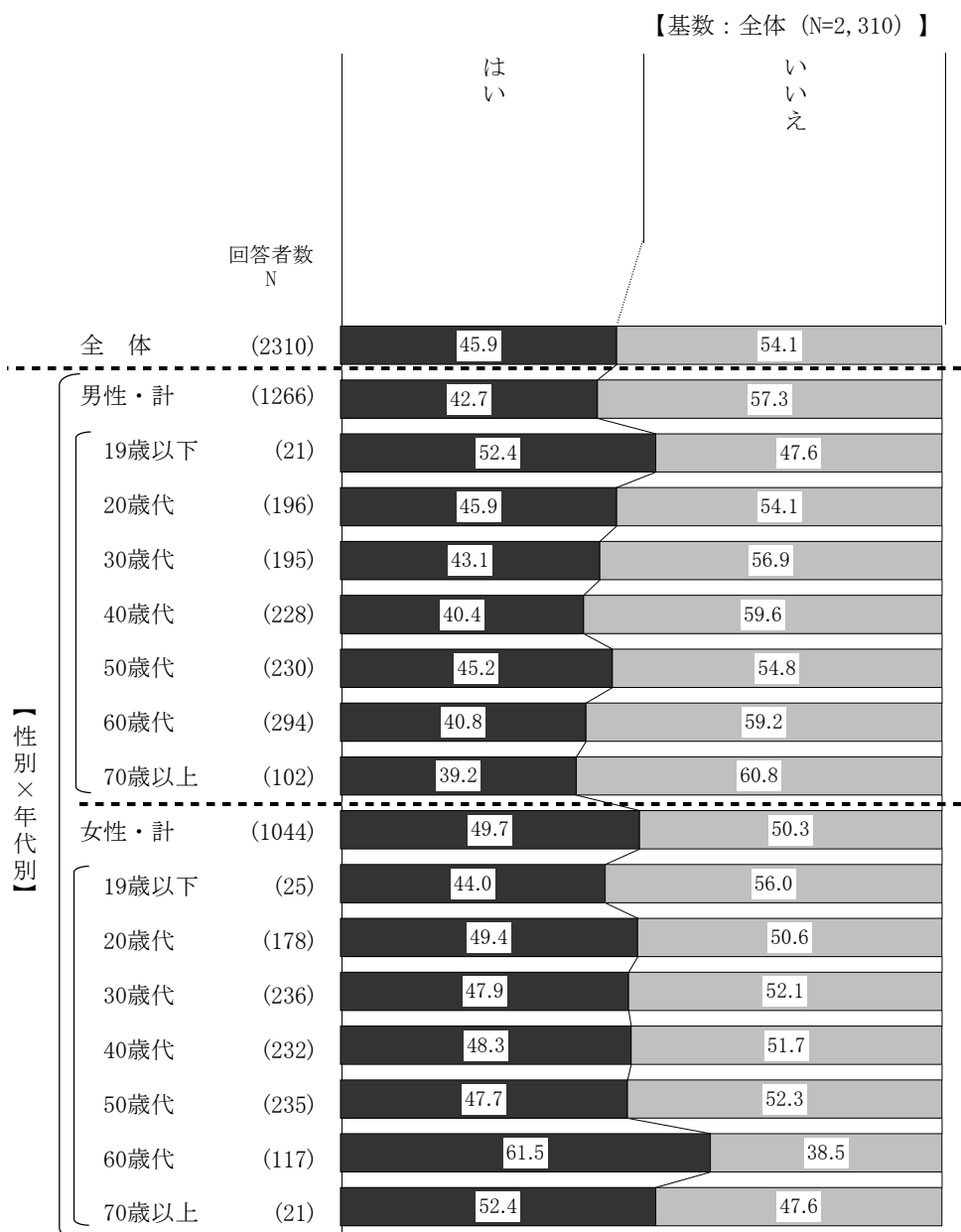
3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

(5) 赤肉（牛・豚の肉）や保存・加工肉を摂り過ぎること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
 (お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・女性60歳代では、「はい」の割合は61.5%と多く、全体と比べると15.6ポイント多くなっている。



3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

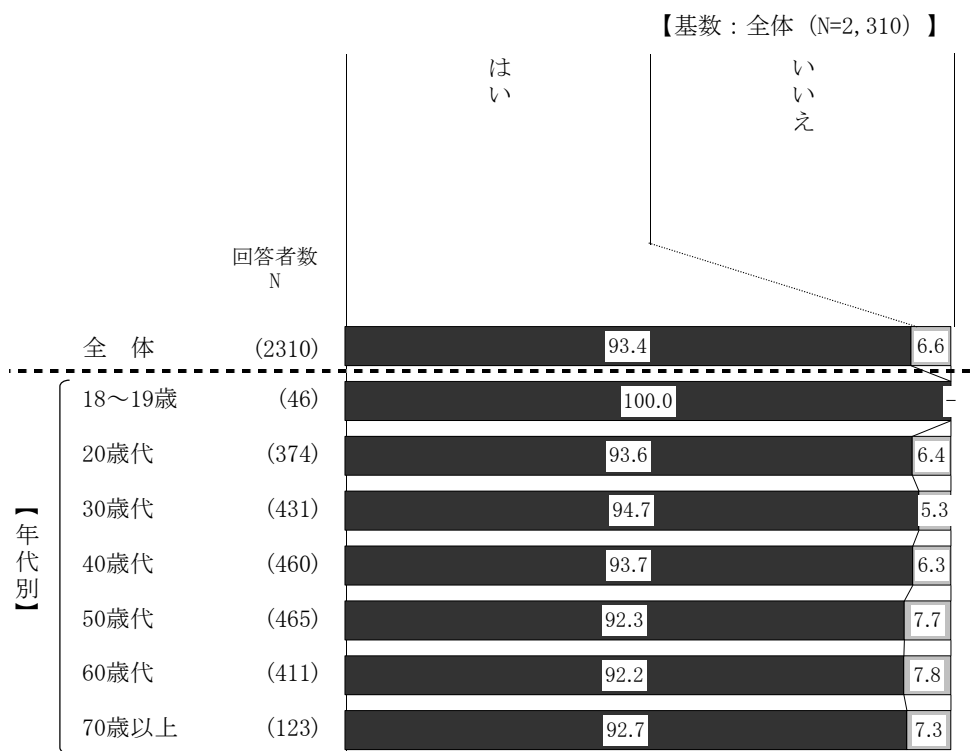
(6) たばこを吸う習慣があること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「はい」(93.4%)、「いいえ」(6.6%)となっており、大多数の人が「たばこを吸う習慣がある」と「がん」にかかる危険性を高めると答えている。

【年代別】

- ・年代別では、統計的な有意差は認められない。



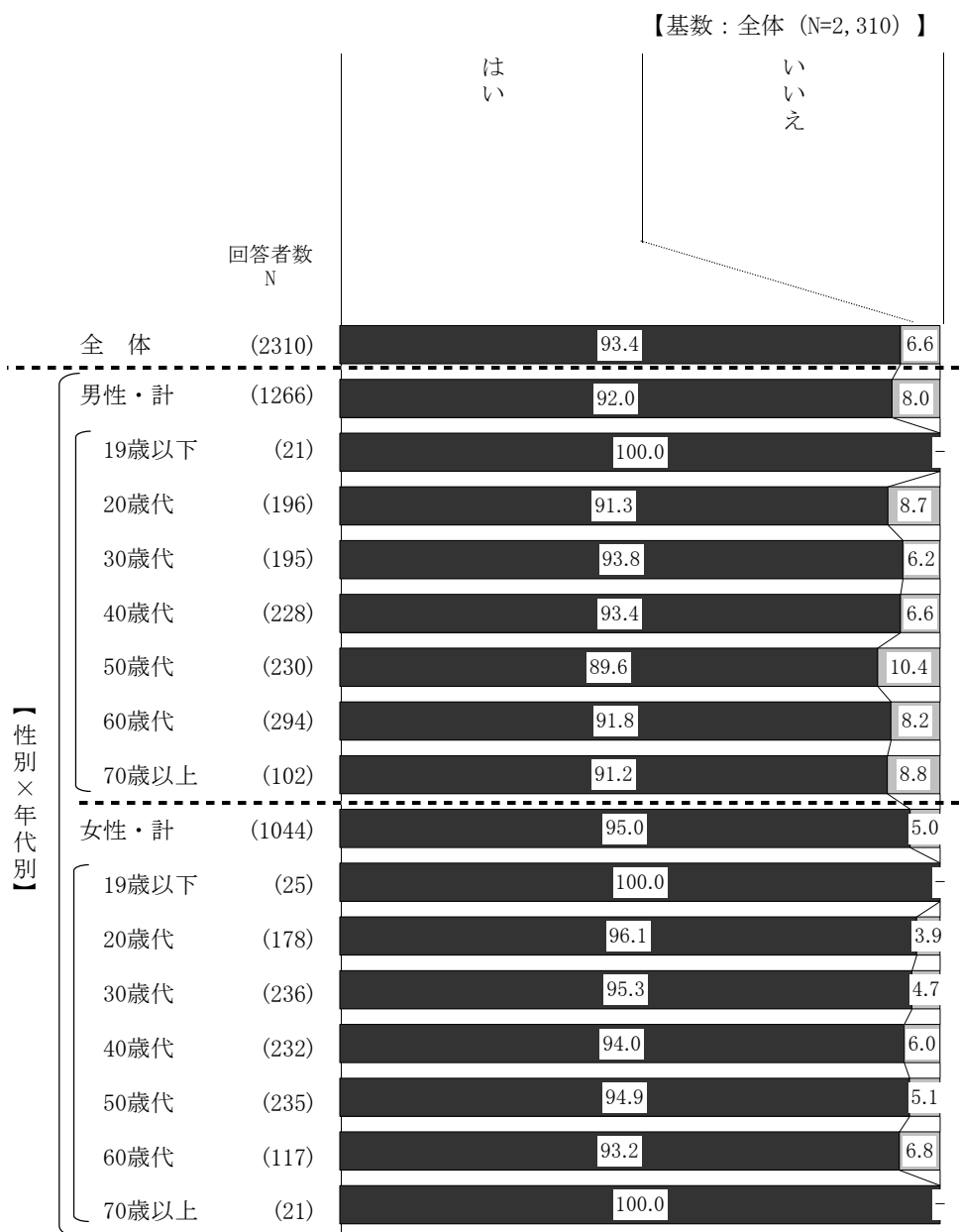
3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

(6) たばこを吸う習慣があること

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・ 男性50歳代では、「はい」の割合は89.6%と多く、全体と比べると3.8ポイント少なくなっている。



3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

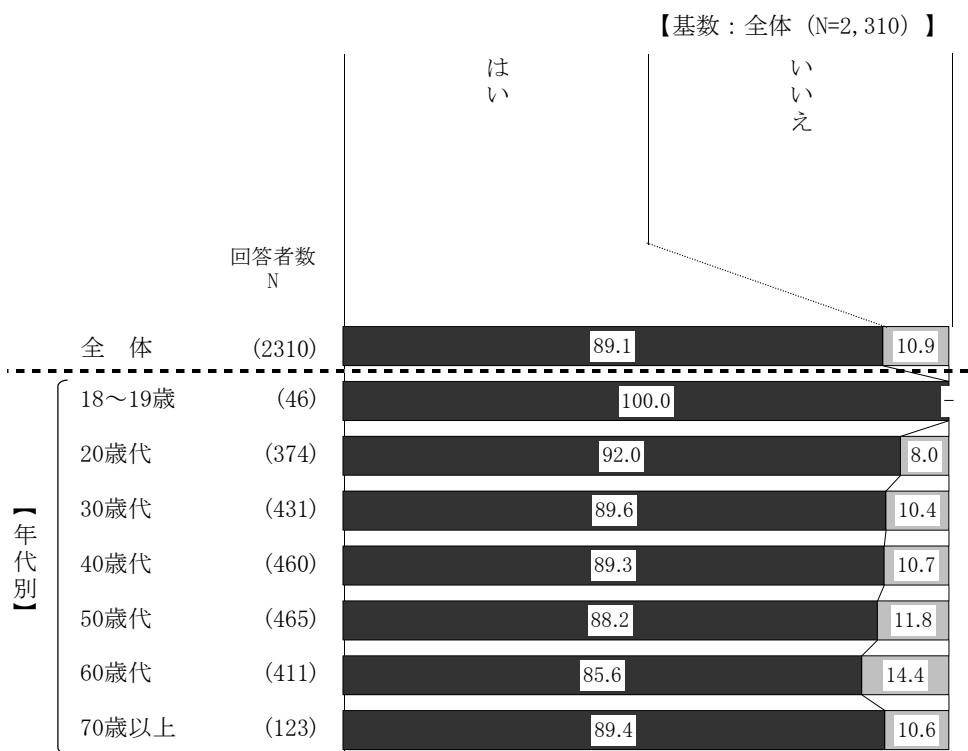
(7) 他人のたばこの煙を吸うこと

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「はい」(89.1%)、「いいえ」(10.9%)となっており、約9割の人が「他人のたばこの煙を吸う」と「がん」にかかる危険性を高めると答えている。

【年代別】

- ・18～19歳では、「はい」の割合が100.0%で多く、60歳代では、85.6%と少なくなっている。



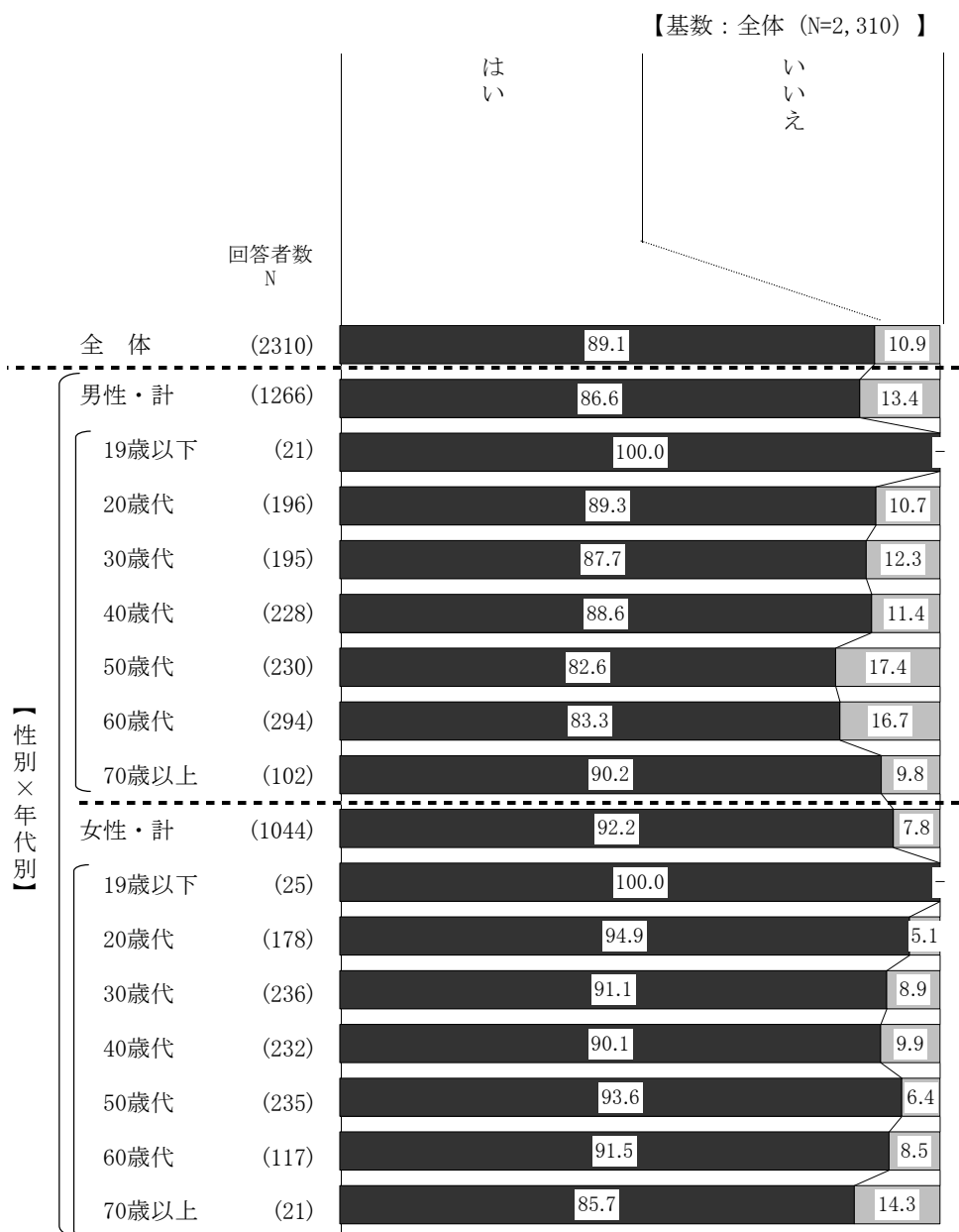
3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

(7) 他人のたばこの煙を吸うこと

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・男性50～60歳代では、「はい」の割合がそれぞれ82.6～83.3%と少なく、女性20歳代、女性50歳代では、それぞれ94.9%、93.6%と多くなっている。



3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

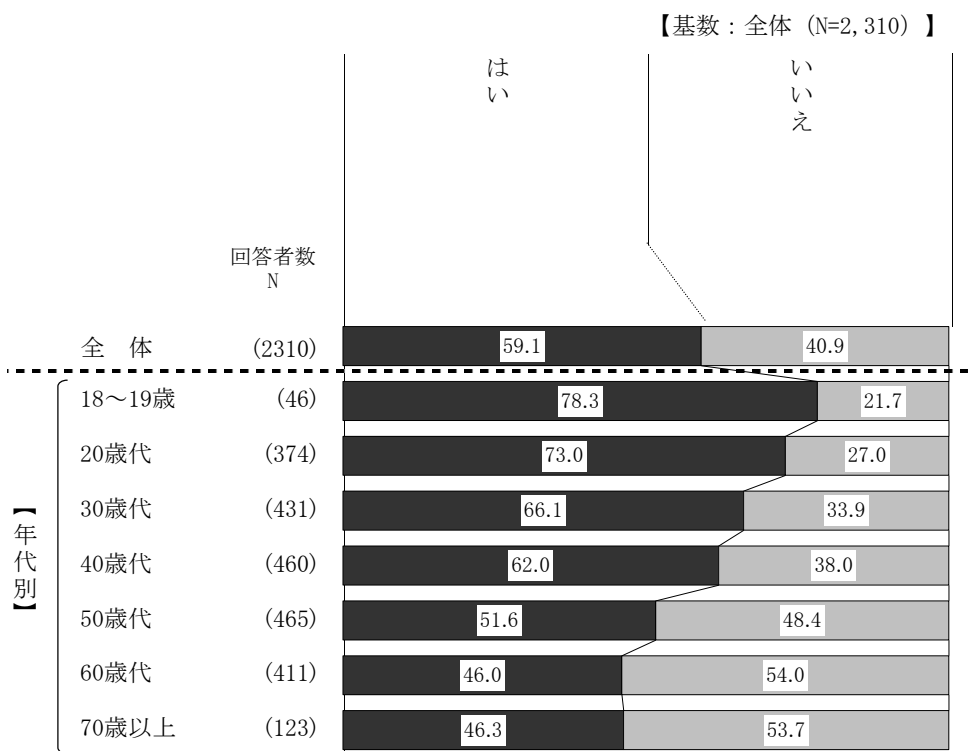
(8) 運動不足

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いませんか。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「はい」(59.1%)、「いいえ」(40.9%)となっており、約半数以上の人が「運動不足」は「がん」にかかる危険性を高めると答えている。

【年代別】

- ・18～30歳代では、「はい」の割合がそれぞれ66.1～78.3%と多く、50歳代以上ではそれぞれ46.0～51.6%と少なくなっている。



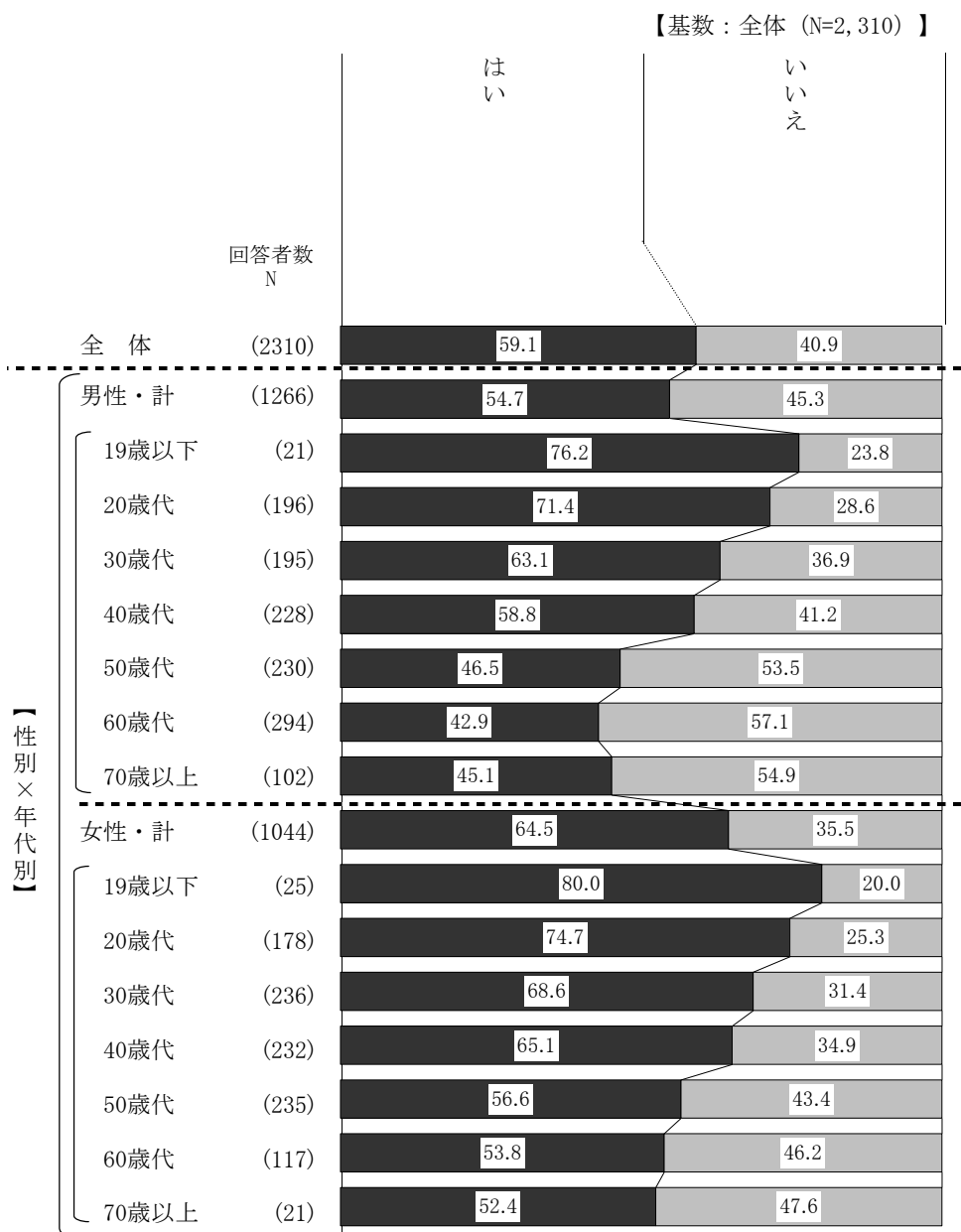
3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

(8) 運動不足

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・ 男性20歳代、女性19歳以下、女性20～30歳代では、「はい」の割合がそれぞれ68.6～80.0%と多くなっており、男性50歳以上では、それぞれ42.9～46.5%と少なくなっている。



3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

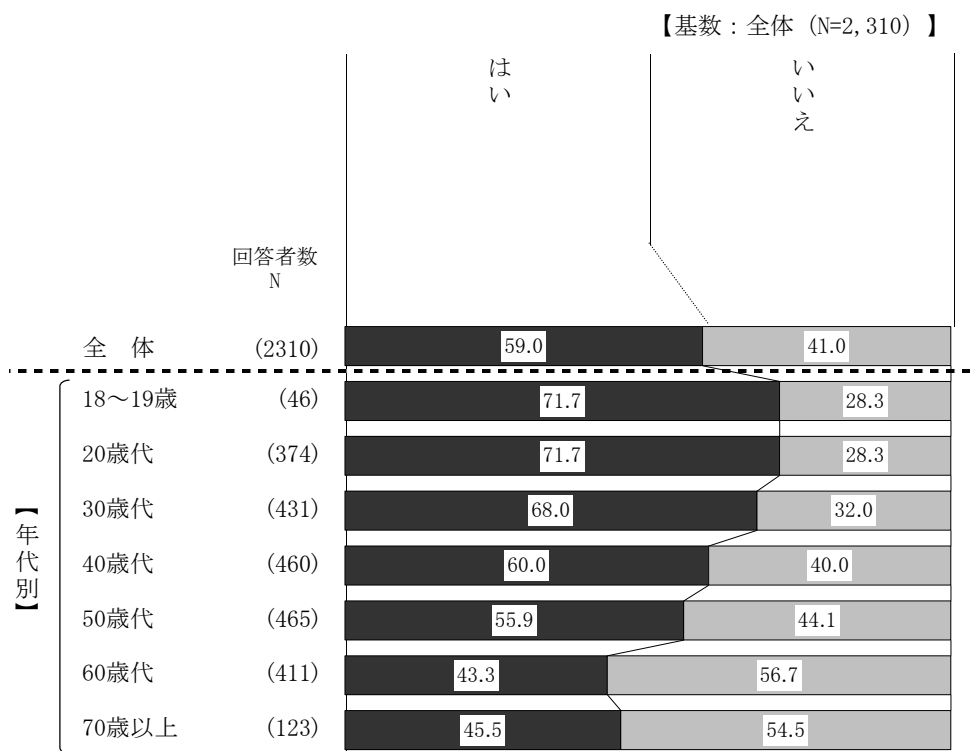
(9) 太りすぎや痩せすぎ

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「はい」(59.0%)、「いいえ」(41.0%)となっており、約半数以上の人が「太りすぎ痩せすぎ」は「がん」にかかる危険性を高めると答えている。

【年代別】

- ・20～30歳代では、「はい」の割合がそれぞれ68.0～71.7%と多く、60歳以上ではそれぞれ43.3～45.5%と少なくなっている。



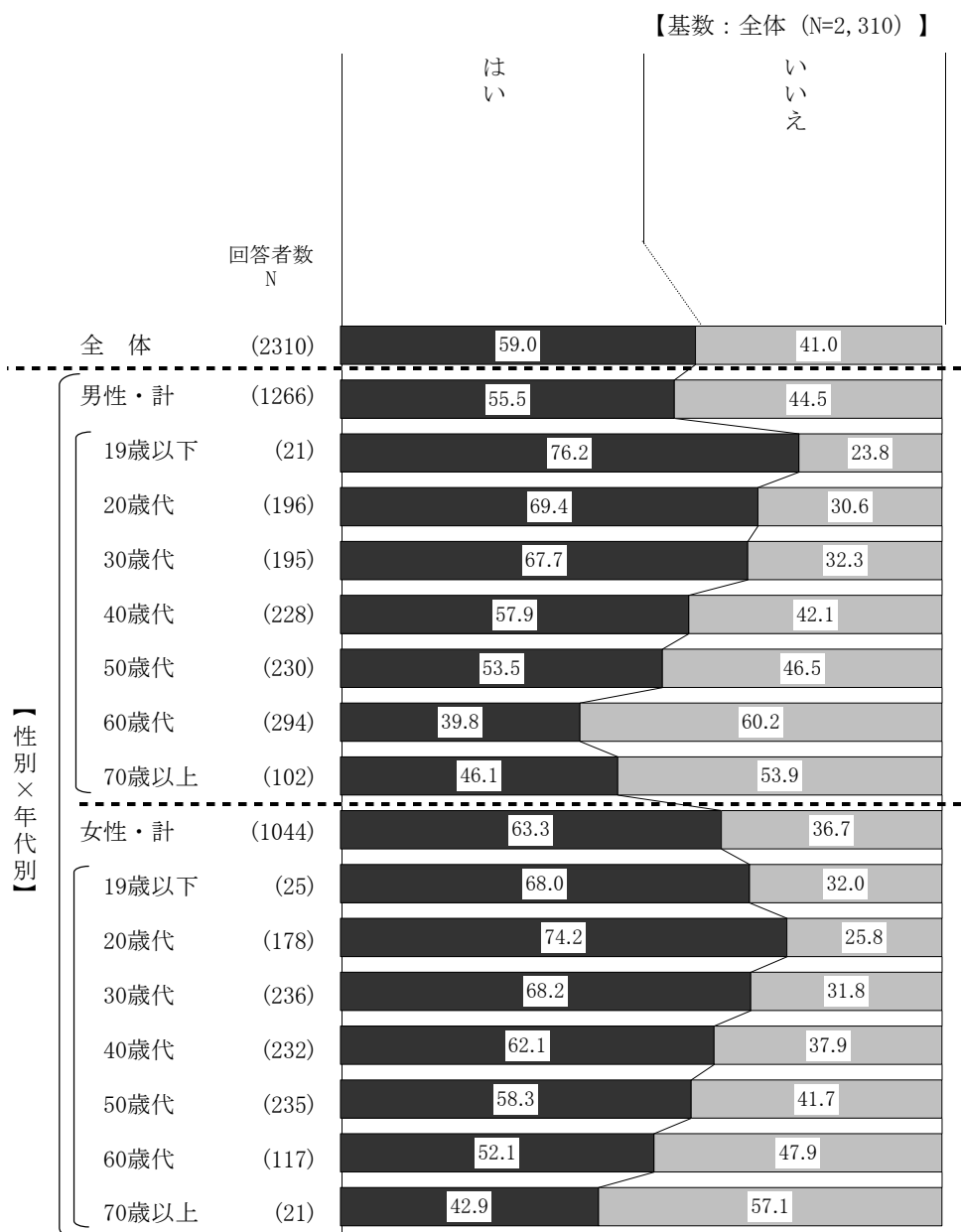
3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

(9) 太りすぎや痩せすぎ

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・ 20～30歳代男性／女性では、「はい」の割合はそれぞれ67.7～69.4％／68.2～74.2％と多く、男性60～70歳代ではそれぞれ39.8～46.1％と少なくなっている。



3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

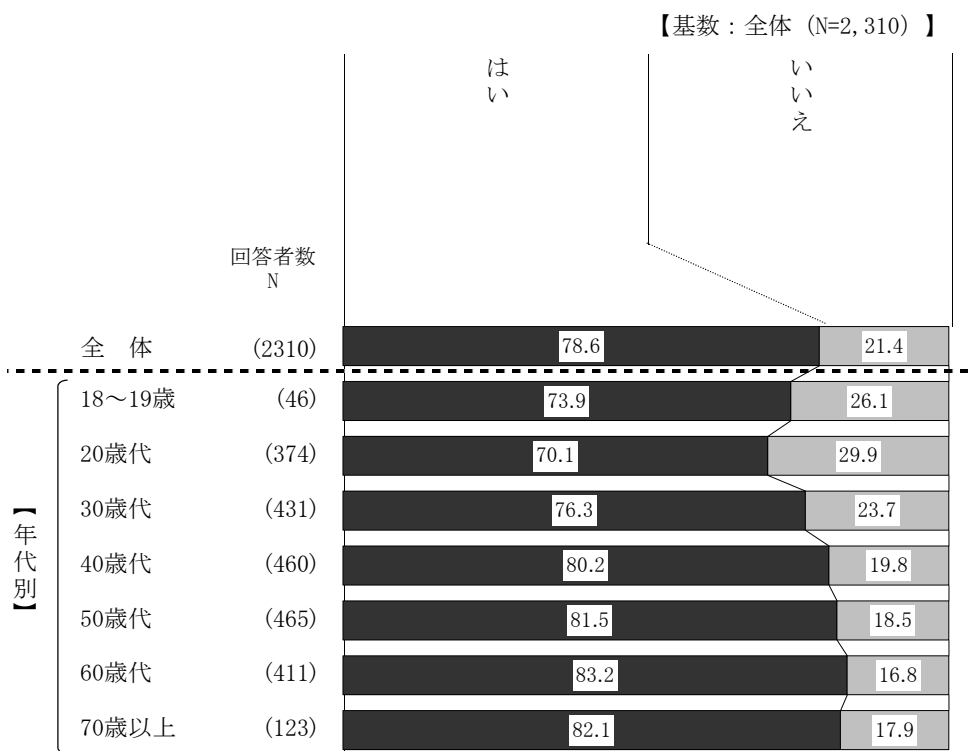
(10) 肝炎ウイルスやヒトパピローマウイルス、ヘリコバクターピロリ菌による感染

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いませんか。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「はい」(78.6%)、「いいえ」(21.4%)となっており、約8割の人が「肝炎ウイルスやヒトパピローマウイルス、ヘリコバクターピロリ菌による感染」は「がん」にかかる危険性を高めると答えている。

【年代別】

- ・20歳代では、「はい」の割合が70.1%と少なく、60歳代では83.2%と多くなっている。



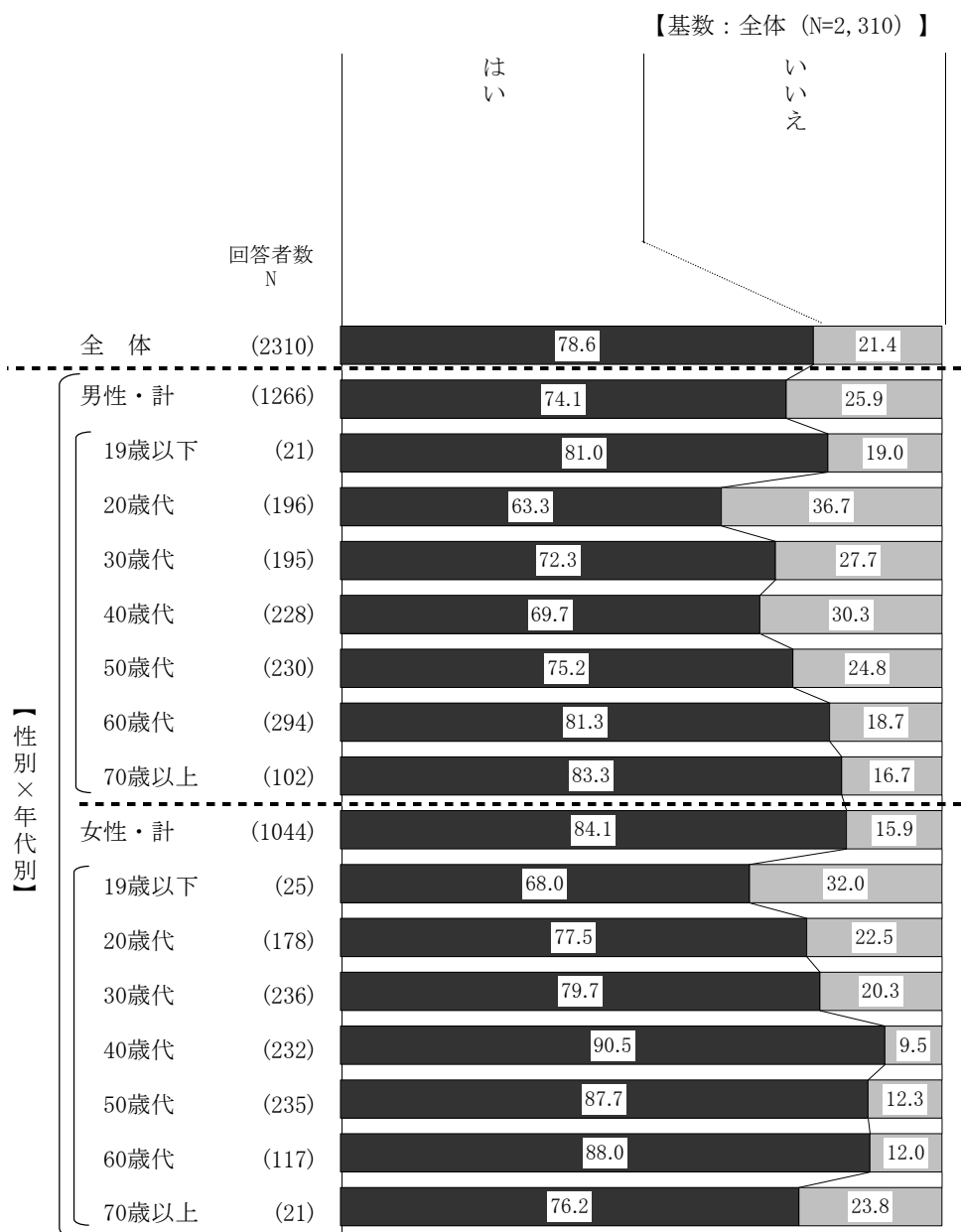
3 「がん」にかかる危険性を高めると思うか

(10) 肝炎ウイルスやヒトパピローマウイルス、ヘリコバクターピロリ菌による感染

問6. 以下にあげている項目は、「がん」にかかる危険性を高めると思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・男性20～40歳代、「はい」の割合はそれぞれ63.3～72.3%と少なくなっており、女性40～60歳代ではそれぞれ87.7～90.5%と多くなっている。



4 がん検診の理想の受診開始年齢

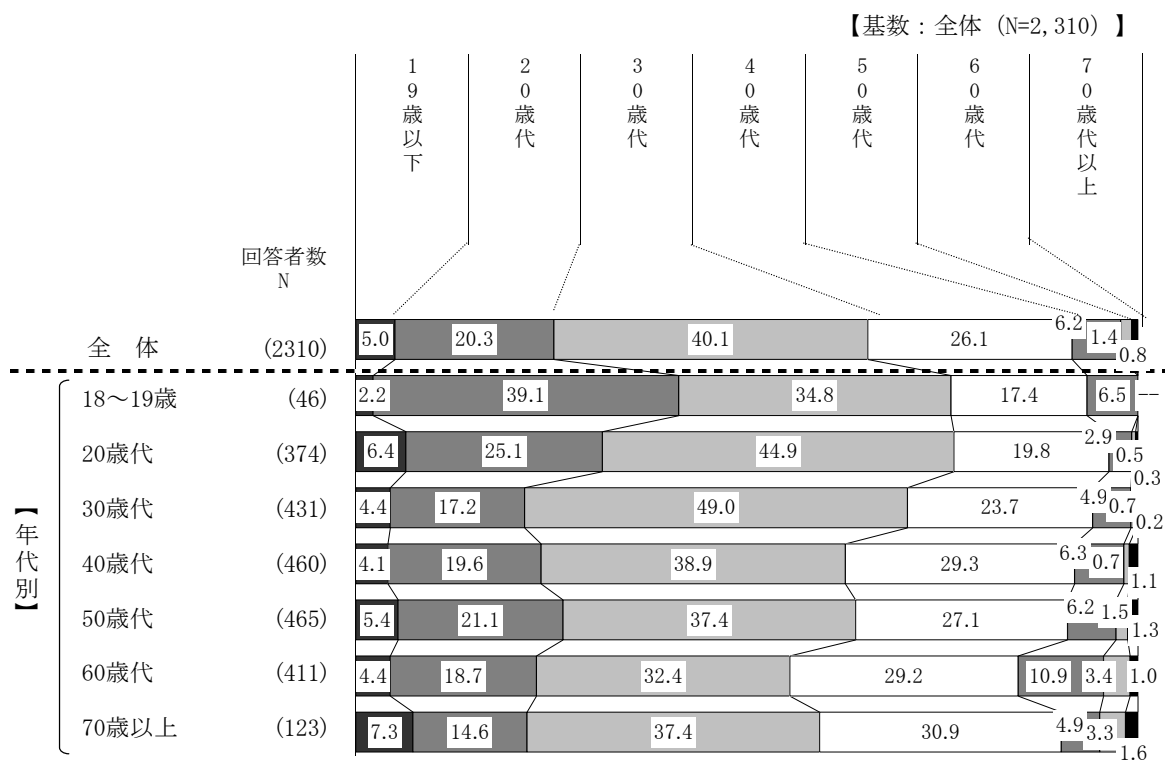
(1) 胃がん

問7-1. がん検診について、お聞きします。がん検診は、何歳から受ければ良いと思いますか。それぞれのがんについて、あてはまる年代をお選びください。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「30歳代」(40.1%)、「40歳代」(26.1%)、「20歳代」(20.3%)となっており、「胃がん検診の理想受診開始年齢」は「20~40歳代」(86.5%)となっている。

【年代別】

- ・18~19歳では、「20歳代」の割合が39.1%と全体よりも18.8ポイント多くなっている。
- ・20歳代では、「20歳代」の割合が25.1%と多く、「40歳代」(19.8%)、「50歳代」(2.9%)と少なくなっている。
- ・30歳代では、「30歳代」の割合が49.0%と全体よりも8.9ポイント多くなっている。
- ・60歳代では、「30歳代」の割合が32.4%と少なく、「50歳代」(10.9%)、「60歳代」(3.4%)と多くなっている。



4 がん検診の理想の受診開始年齢

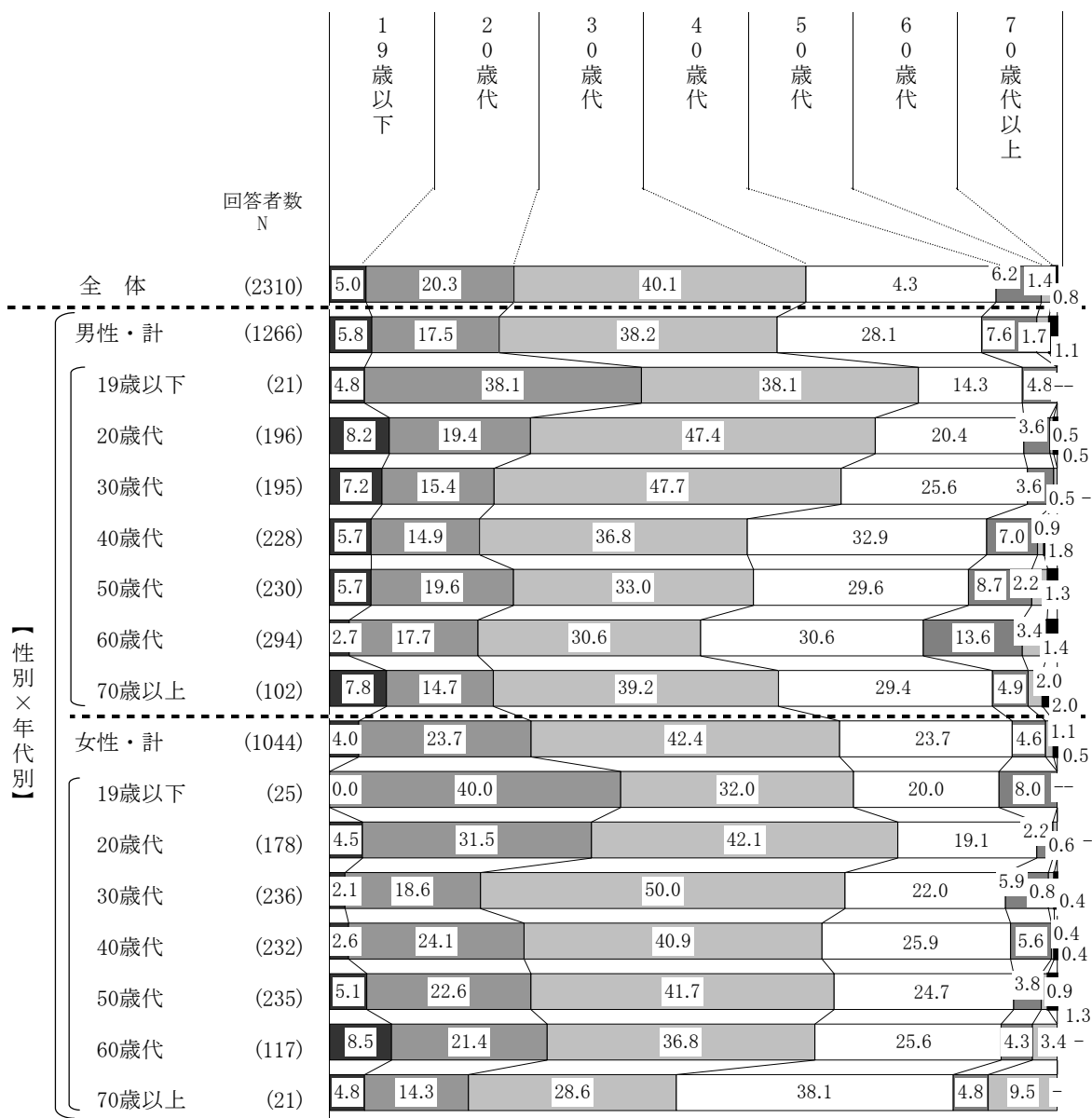
(1) 胃がん

問7-1. がん検診について、お聞きします。がん検診は、何歳から受ければよいと思いますか。それぞれのがんについて、あてはまる年代をお選びください。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・19歳以下の男性/女性では、「20歳代」の割合がそれぞれ38.1%/40.0%と多い。
- ・男性20歳代では、「19歳以下」(8.2%)、「30歳代」(47.4%)と多い。
- ・女性19歳以下では、「20歳代」の割合が40.0%と多くなっている。
- ・女性20歳代では、「20歳代」の割合が31.5%と多く、「40歳代」(19.1%)、「50歳代」(2.2%)と少なくなっている。
- ・30歳代男性/女性では、「30歳代」の割合がそれぞれ47.7%/50.0%と多い。
- ・男性40歳代では、「20歳代」の割合が14.9%と少なく、「40歳代」が32.9%と多い。
- ・男性50~60歳代では、「30歳代」の割合が少なく、「50歳代」、「60歳代」の割合が多くなっている。
- ・女性70歳代以上では、「60歳代」の割合が9.5%と多くなっている。

【基数：全体 (N=2,310)】



4 がん検診の理想の受診開始年齢

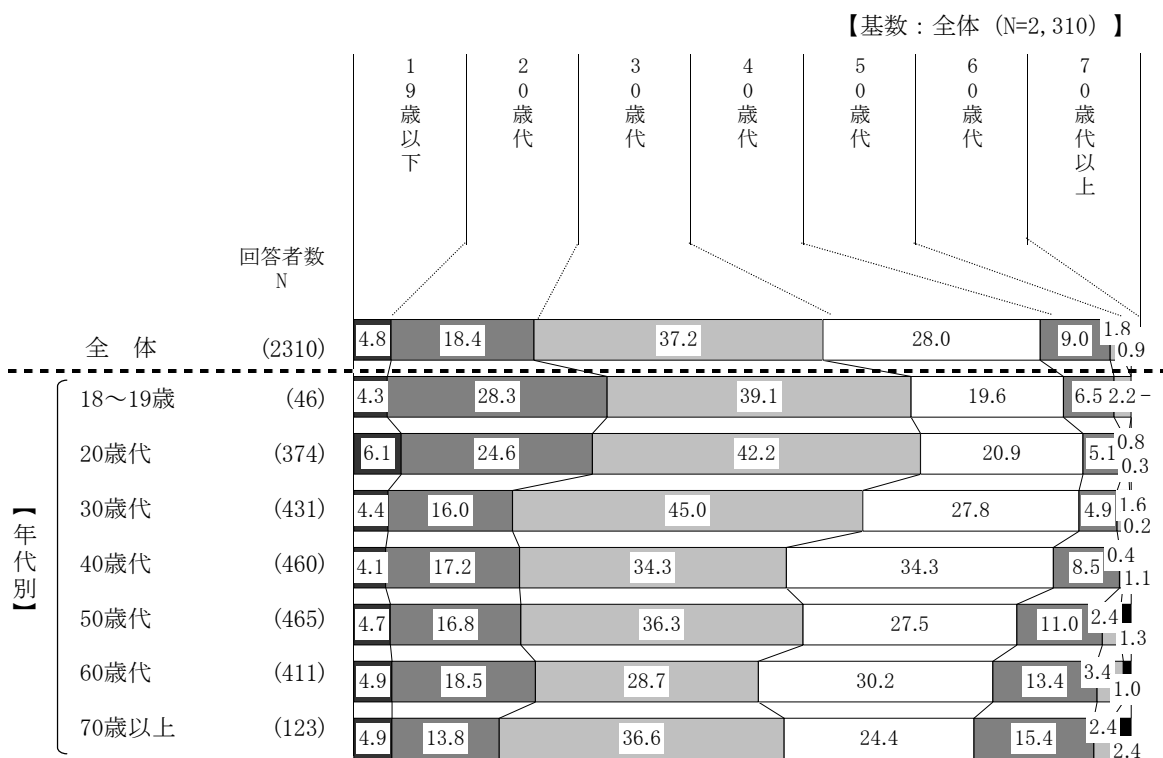
(2) 肺がん

問7-1. がん検診について、お聞きします。がん検診は、何歳から受ければ良いと思いますか。それぞれのがんについて、あてはまる年代をお選びください。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「30歳代」(37.2%)、「40歳代」(28.0%)、「20歳代」(18.4%)となっており、「肺がん検診の理想受診開始年齢」は「20~40歳代」(83.6%)となっている。

【年代別】

- ・ 20歳代では、「20歳代」(24.6%)、「30歳代」(42.2%)と多く、「40歳代」(20.9%)、「50歳代」(5.1%)と少なくなっている。
- ・ 30歳代では、「30歳代」の割合が45.0%と多く、「50歳代」が4.9%と少ない。
- ・ 40歳代では、「40歳代」の割合が34.3%と多く、「60歳代」が0.4%と少ない。
- ・ 60歳代では、「30歳代」の割合が28.7%と少なく、「50歳代」(13.4%)、「60歳代」(3.4%)と多い。
- ・ 70歳代以上では、「50歳代」の割合が15.4%と多くなっている。



4 がん検診の理想の受診開始年齢

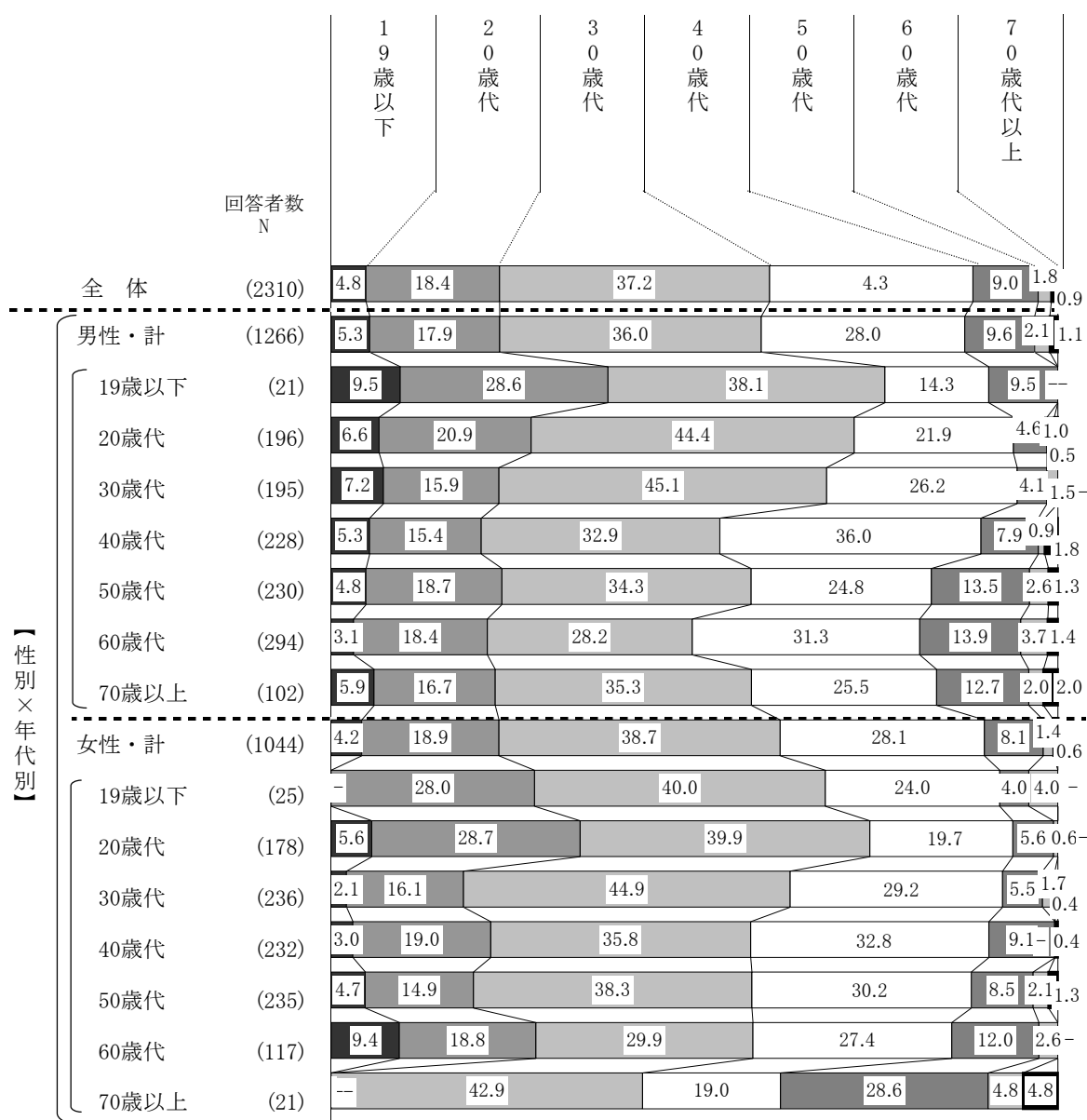
(2) 肺がん

問7-1. がん検診について、お聞きします。がん検診は、何歳から受ければ良いと思いますか。それぞれのがんについて、あてはまる年代をお選びください。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・ 男性20～30歳代、女性30歳代では、「30歳代」の割合がそれぞれ44.4～45.1%と多く、男性60歳代では、28.2%と少なくなっている。
- ・ 男性20～30歳代では、「50歳代」の割合がそれぞれ4.1～4.6%と少なく、男性50～60歳代、女性70歳以上では、それぞれ13.5～28.6%と多くなっている。
- ・ 女性20歳代では、「20歳代」の割合が28.7%と多く、「40歳代」が19.7%と少ない。
- ・ 男性40歳代では、「40歳代」の割合が36.0%と多い。
- ・ 女性40歳代では、「60歳代」の割合が皆無と少ない。
- ・ 男性60歳代では、「60歳代」の割合が3.7%と多い。
- ・ 女性60歳代では、「19歳以下」の割合が9.4%と多い。

【基数：全体 (N=2,310)】



4 がん検診の理想の受診開始年齢

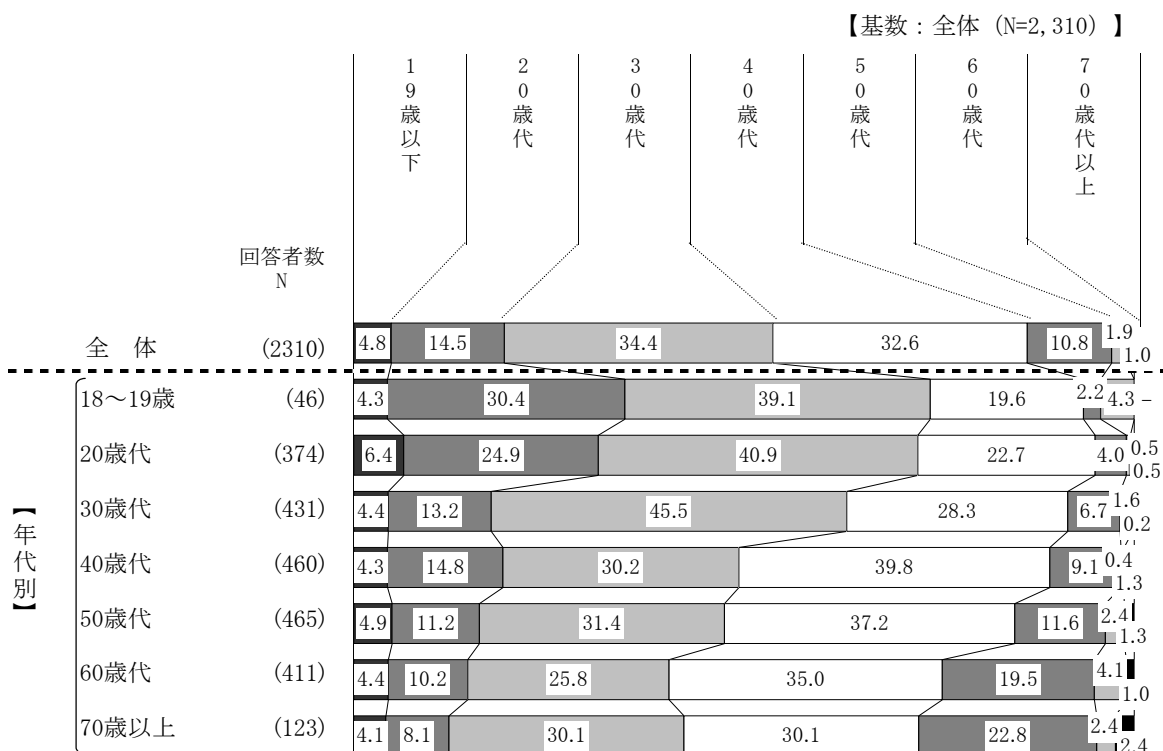
(3) 大腸がん

問7-1. がん検診について、お聞きします。がん検診は、何歳から受ければよいと思いますか。それぞれのがんについて、あてはまる年代をお選びください。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「30歳代」(34.4%)、「40歳代」(32.6%)、となっており、「大腸がん検診理想の受診開始年齢」は「30~40歳代」(67.0%)となっている。

【年代別】

- ・18~19歳では、「20歳代」の割合が30.4%と多くなっている。
- ・20歳代では、「20歳代」(24.9%)、「30歳代」(40.9%)と多く、「40歳代」(22.7%)「50歳代」(4.0%)と少なくなっている。
- ・30歳代では、「30歳代」の割合が45.5%と多く、「50歳代」の割合が6.7%と少なくなっている。
- ・40歳代では、「40歳代」の割合が39.8%と多く、「60歳代」の割合が0.4%と少ない。
- ・40歳以上では、「50歳代」の割合が全体よりも多く、「20歳代」が少ない。



4 がん検診の理想の受診開始年齢

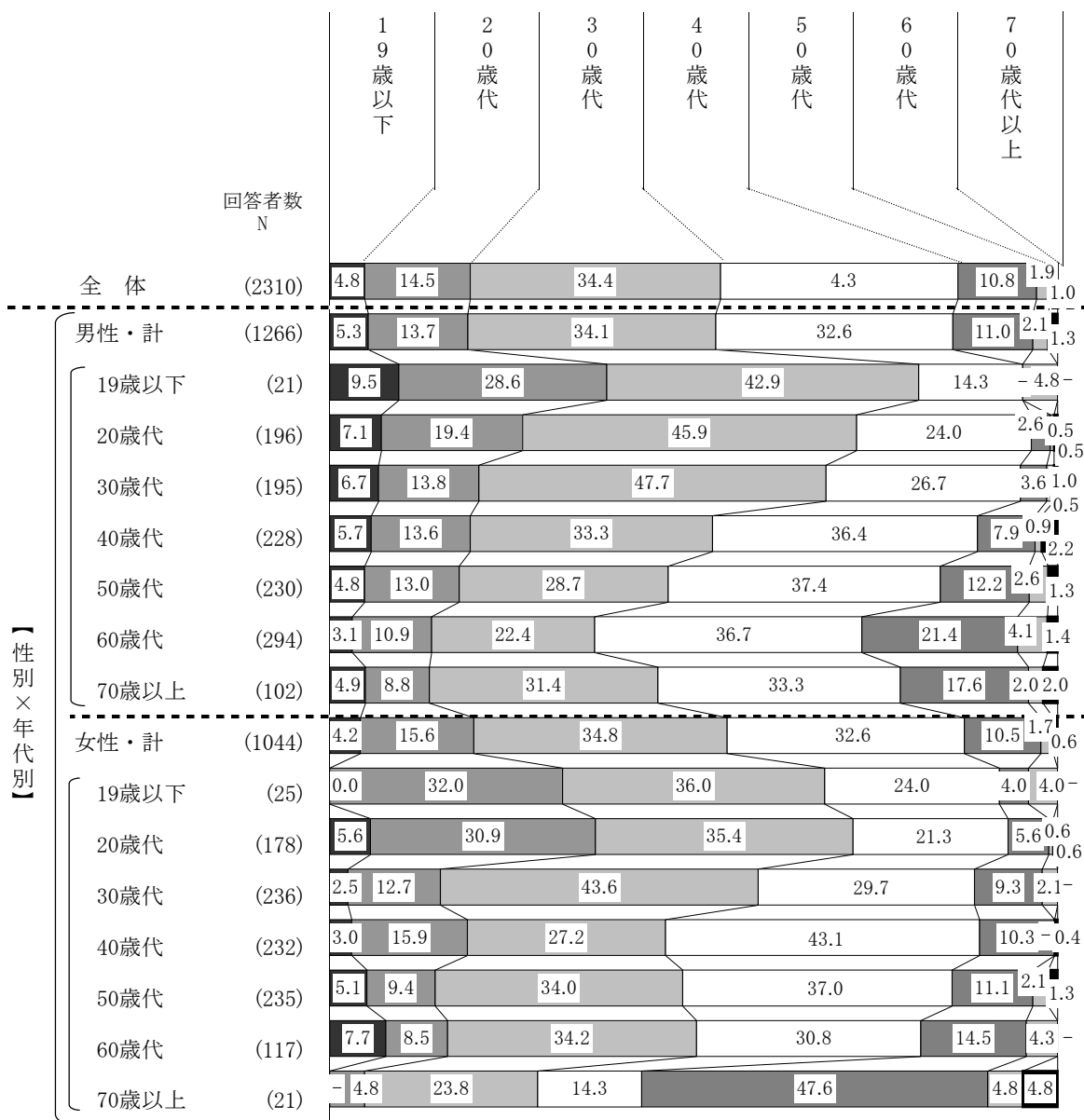
(3) 大腸がん

問7-1. がん検診について、お聞きします。がん検診は、何歳から受ければよいと思いますか。
 それぞれのがんについて、あてはまる年代をお選びください。
 (お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・女性19歳以下、女性20歳代では、「20歳代」の割合がそれぞれ32.0%、30.9%と多く、「40歳代」、「50歳代」は少なくなっている。
- ・男性20～30歳代では、「30歳代」の割合がそれぞれ45.9～47.7%と多く、「50歳代」の割合はそれぞれ2.6～3.6%と少なくなっている。
- ・20歳代男性/女性では、「40歳代」、「50歳代」の割合が少ない。
- ・男性60歳代では、「50歳代」(21.4%)、「50歳代」(4.1%)と多く、「30歳代」(22.4%)と少なくなっている。
- ・女性30歳代では、「30歳代」の割合が43.6%と多い。
- ・女性40歳代では、「40歳代」の割合が43.1%と多く、「30歳代」(27.2%)、「60歳代」(皆無)と少なくなっている。
- ・女性70歳以上は「50歳代」の割合が47.6%と多い。

【基数：全体 (N=2,310)】



4 がん検診の理想の受診開始年齢

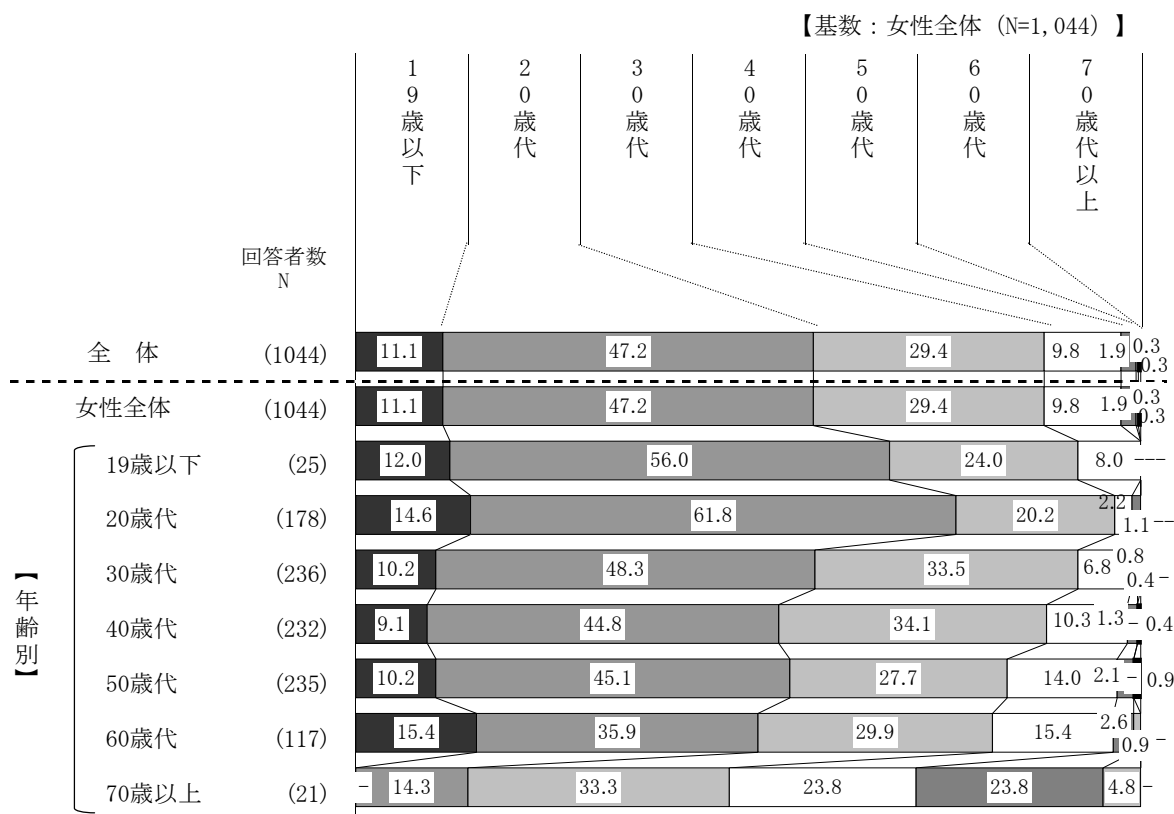
(4) 子宮がん

問7-1. がん検診について、お聞きします。がん検診は、何歳から受ければ良いと思いますか。それぞれのがんについて、あてはまる年代をお選びください。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「20歳代」(47.2%)、「30歳代」(29.4%)、となっており、「子宮がん検診の理想受診開始年齢」は「20~30歳代」(76.6%)となっている。

【年代別】

- ・20歳代では、「20歳代」の割合が61.8%と多く、「30歳代」(20.2%)、「40歳代」(2.2%)と少なくなっている。
- ・50歳代では、「40歳代」の割合が14.0%と多い。
- ・60歳代では、「40歳代」の割合が15.4%と多く、「20歳代」の割合が35.9%と少なくなっている。
- ・70歳以上では、「40歳代」(23.8%)、「50歳代」(23.8%)、「60歳代」(4.8%)と多く、「20歳代」では、14.3%と少ない。



4 がん検診の理想の受診開始年齢

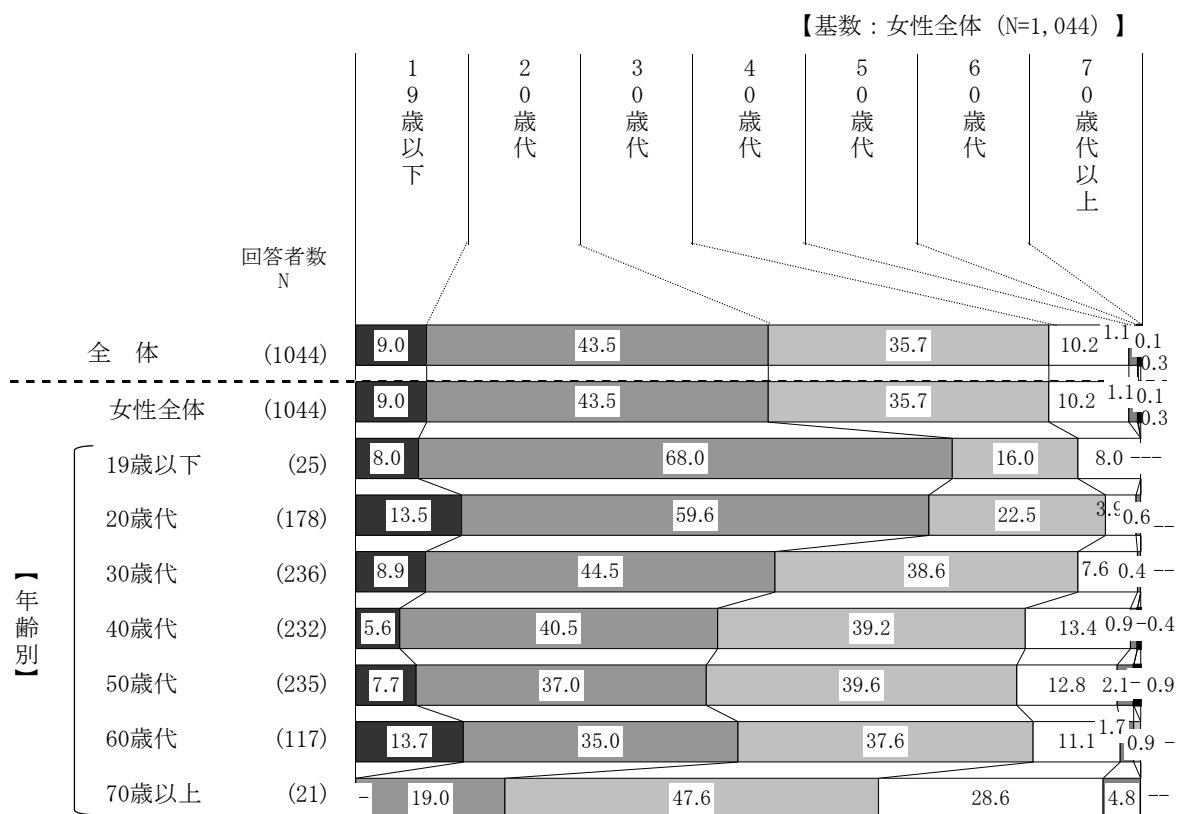
(5) 乳がん

問7-1. がん検診について、お聞きします。がん検診は、何歳から受ければいいと思いますか。それぞれのがんについて、あてはまる年代をお選びください。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「20歳代」(43.5%)、「30歳代」(35.7%)、となっており、「乳がん検診の理想受診開始年齢」は「20~30歳代」(79.2%)となっている。

【年代別】

- ・女性19歳以下では、「20歳代」の割合が68.0%と多く、「30歳代」の割合が16.0%と少なくなっている。
- ・女性20歳代では、「19歳以下」(13.5%)、「20歳代」(59.6%)と多く、「30歳代」(22.5%)、「40歳代」(3.9%)と少ない。
- ・女性50歳代では、「20歳代」の割合が37.0%と少なくなっている。
- ・女性60歳代では、「60歳代」の割合が0.9%と多くなっている。
- ・女性70歳以上では、「40歳代」の割合が28.6%と多く、「20歳代」の割合が19.0%と少ない。



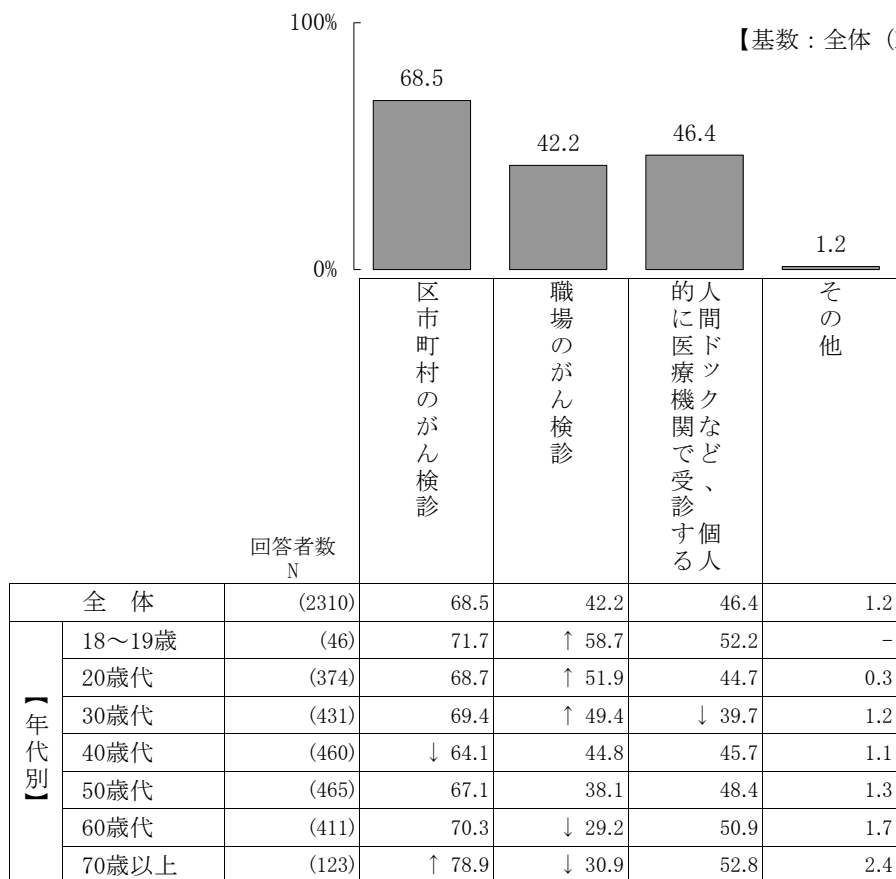
5 がん検診の希望受診機会

問7-2. がん検診を受診する際、どのような機会を受診したいですか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。
 (お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「区市町村のがん検診」(68.5%)、「人間ドックなど、個人的に医療機関で受診する」(46.4%)、「職場のがん検診」(42.2%)の順となっている。

【年代別】

- ・18～30歳代では、「職場のがん検診」の割合がそれぞれ49.4～58.7%と多くなっている。
- ・30歳代では、「人間ドックなど、個人的に医療機関で受診する」の割合が39.7%と少なくなっている。
- ・40歳代では、「区市町村のがん検診」の割合が64.1%と少なくなっている。
- ・60歳以上では「区市町村のがん検診」の割合が多く、「職場のがん検診」が少ない。



↑は5%水準で高位に有意差あり
 ↓は5%水準で低位に有意差あり

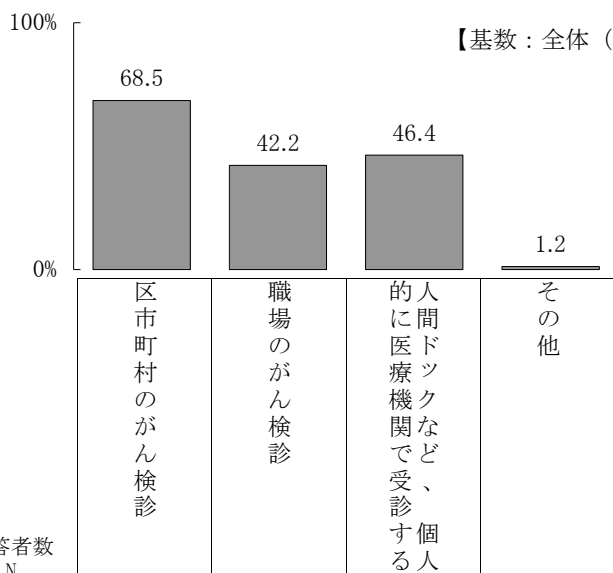
5 がん検診の希望受診機会

問7-2. がん検診を受診する際、どのような機会を受診したいですか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。
 (お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・男性19歳以下では、「職場のがん検診」の割合が66.7%と多くなっている。
- ・男性20～40歳代では、「職場のがん検診」の割合はそれぞれ51.8～57.4%と多く、「区市町村のがん検診」の割合はそれぞれ56.6～60.2%と少ない。
- ・男性70歳代以上、女性20～30歳代、女性50～60歳代では、「区市町村のがん検診」の割合がそれぞれ76.2～79.4%と多くなっている。
- ・男性50～60歳代では、「人間ドックなど、個人的に医療機関で受診する」の割合がそれぞれ52.4～53.9%と多くなっている。
- ・男性60歳代、女性50歳以上では、「職場のがん検診」の割合がそれぞれ19.0～32.8%と少なくなっている。

【基数：全体 (N=2,310)】



回答者数 N		区市町村のがん検診	職場のがん検診	的に人間ドックなど、個人的に医療機関で受診する個人	その他
全体	(2310)	68.5	42.2	46.4	1.2
【性別×年代別】	男性・計	(1266) ↓ 62.1	↑ 45.6	↑ 49.3	1.4
	19歳以下	(21) 66.7	↑ 66.7	47.6	-
	20歳代	(196) ↓ 60.2	↑ 57.1	48.5	0.5
	30歳代	(195) ↓ 57.4	↑ 57.4	41.0	1.0
	40歳代	(228) ↓ 56.6	↑ 51.8	46.5	0.4
	50歳代	(230) ↓ 57.8	43.5	↑ 53.9	1.7
	60歳代	(294) 67.7	↓ 29.6	↑ 52.4	2.4
	70歳以上	(102) ↑ 79.4	33.3	53.9	2.9
	女性・計	(1044) ↑ 76.2	↓ 38.1	↓ 42.8	0.9
	19歳以下	(25) 76.0	52.0	56.0	-
	20歳代	(178) ↑ 78.1	46.1	40.4	-
	30歳代	(236) ↑ 79.2	42.8	↓ 38.6	1.3
	40歳代	(232) 71.6	37.9	44.8	1.7
	50歳代	(235) ↑ 76.2	↓ 32.8	43.0	0.9
	60歳代	(117) ↑ 76.9	↓ 28.2	47.0	-
	70歳以上	(21) 76.2	↓ 19.0	47.6	-

↑は5%水準で高位に有意差あり
 ↓は5%水準で低位に有意差あり

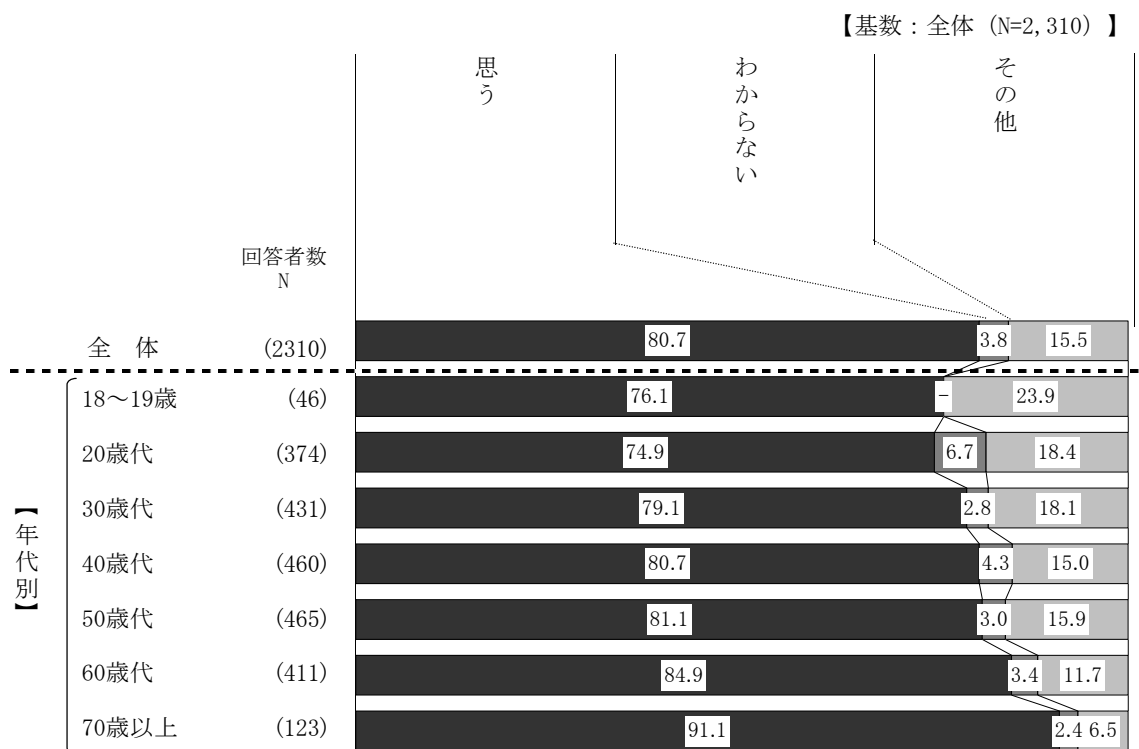
6 「精度管理」の充実の必要性

問7-3. あなたは、この『精度管理』の取組みを充実することは必要だと思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「思う」(80.7%)、「思わない」(3.8%)、「わからない」(15.5%)と約8割の人が「精度管理」の取組みを充実することは必要だと答えている。

【年代別】

- ・20歳代では「思う」の割合が74.9%と少なく、「思わない」の割合が6.7%と多い。
- ・60歳以上では、「思う」の割合がそれぞれ84.9~91.1%と多く、「わからない」の割合がそれぞれ6.5~11.7%と少なくなっている。

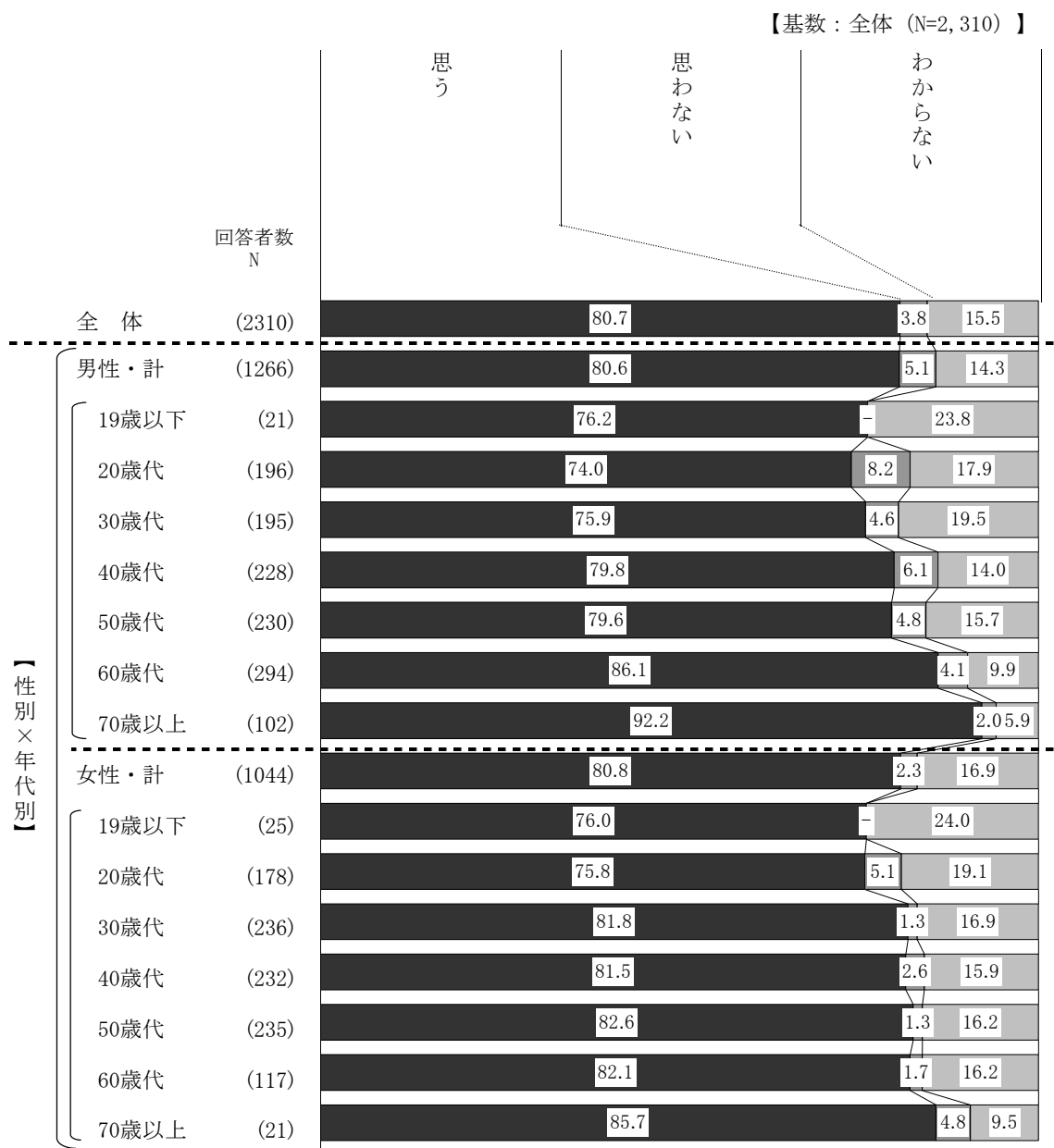


6 「精度管理」の充実の必要性

問7-3. あなたは、この『精度管理』の取組みを充実することは必要だと思いますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・20歳代男性では、「思う」の割合が74.0%で少なく、「思わない」の割合が8.2%と多くなっている。
- ・60歳以上の男性では、「思う」の割合がそれぞれ86.1～92.2%と多く、「分からない」の割合がそれぞれ5.9～9.9%と少ない。
- ・30歳代女性、50歳代女性では、「思わない」の割合がそれぞれ1.3%と少なくなっている。



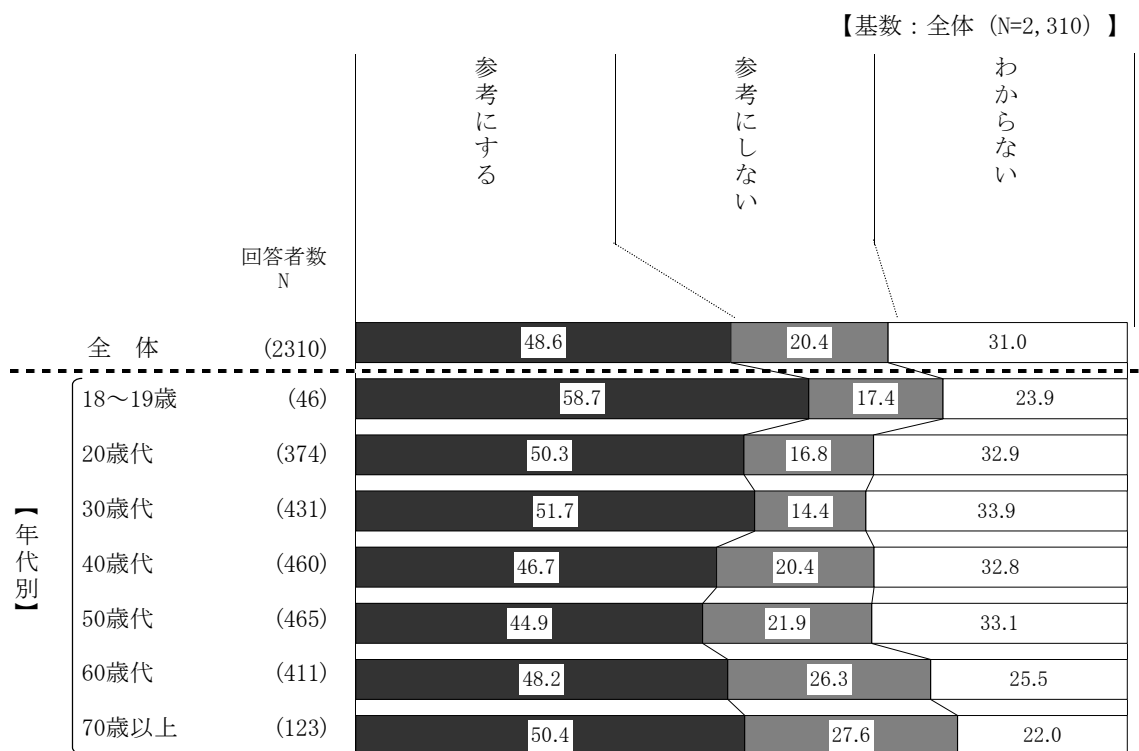
7 がん検診の受診時「受けよう！がん検診」を参考にするか

問7-4. あなたががん検診を受けるときに、これらのデータを参考にしますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

全体では、「参考にする」(48.6%)、「参考にしない」(20.4%)、「わからない」(31.0)となっており、約半数の人が「データ」を参考にすると答えている。

【年代別】

- ・男性30歳代では、「参考にしない」の割合が14.4%と少なくなっている。
- ・男性60歳以上では、「参考にしない」の割合がそれぞれ26.3~27.6%と多く、「わからない」の割合がそれぞれ22.0~25.5%と少ない。

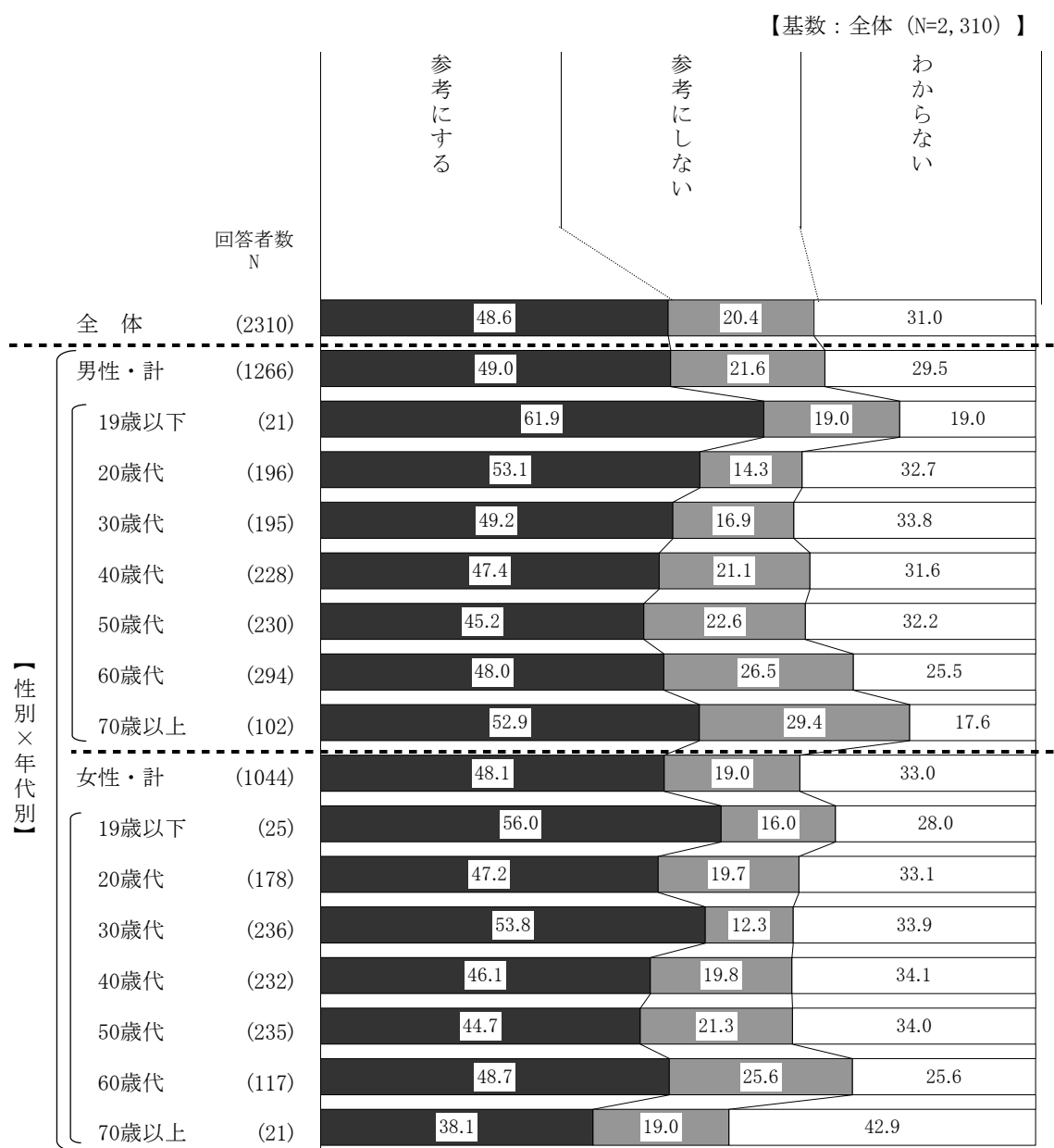


7 がん検診の受診時「受けよう！がん検診」を参考にするか

問7-4. あなたががん検診を受けるときに、これらのデータを参考にしますか。
(お答えはそれぞれひとつ)

【性別×年代別】

- ・男性20歳代では、「参考にしない」の割合が14.3%と少なくなっている。
- ・男性60歳以上では、「参考にしない」の割合がそれぞれ26.5～29.4%と多く、「わからない」の割合がそれぞれ17.6～25.5%と少ない。
- ・女性30歳代では、「参考にしない」の割合が12.3%と少なくなっている。



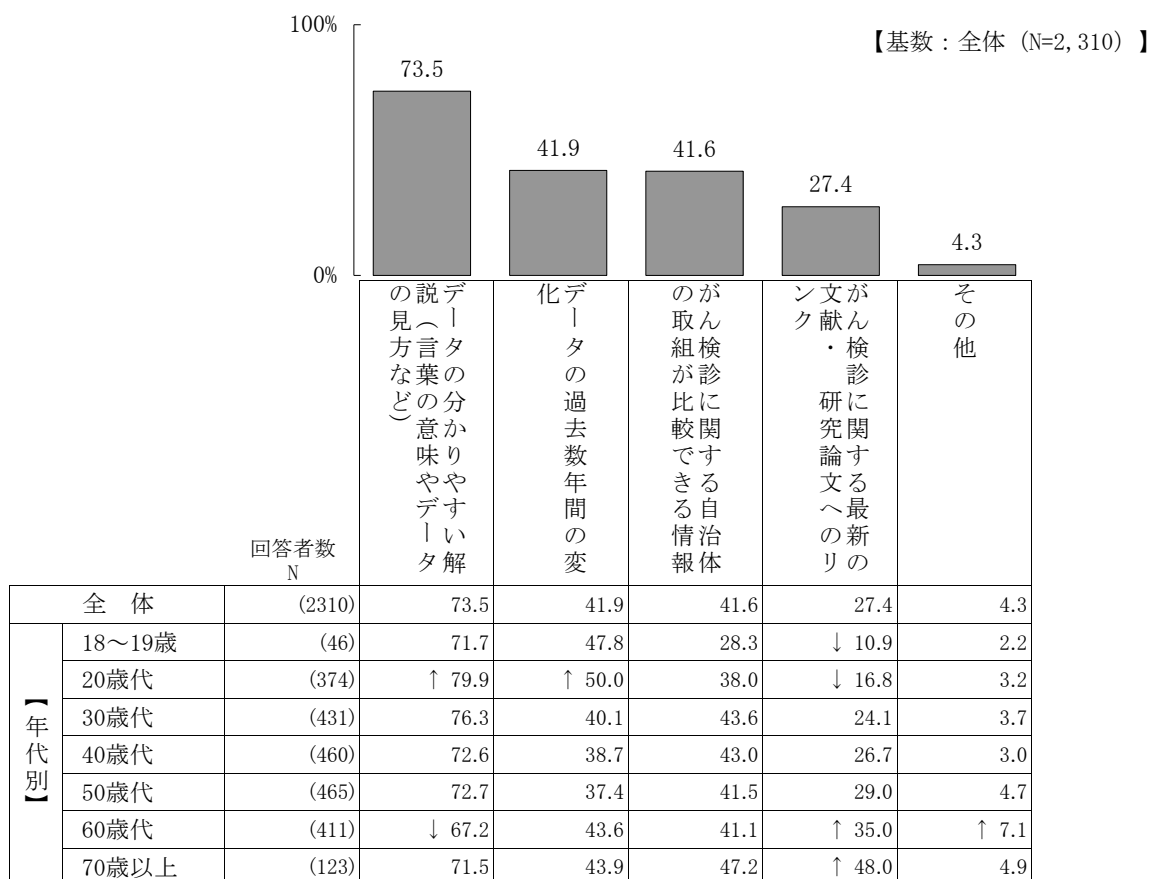
8 「受けよう！がん検診」をより一層活用するための情報の掲載内容

問7-5. がん検診を受ける際に、上記サイトをより一層活用していただくには、どのような情報が掲載されていればよいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（お答えはいくつでも）

全体では、「データの分かりやすい解説（言葉の意味やデータの見方など）」（73.5%）、「データの過去数年間の変化」（41.9%）、「がん検診に関する自治体の取組が比較できる情報」（41.6%）、「がん検診に関する最新の文献・研究論文へのリンク」（27.4%）の順になっている。

【年代別】

- ・ 20歳代では、「データの分かりやすい解説」（79.9%）、「データの過去数年間の変化」（50.0%）が多く、「がん検診に関する最新の文献・研究論文へのリンク」の割合が16.8%と少ない。
- ・ 60歳代では、「データの分かりやすい解説」の割合が67.2%と少なく、「がん検診に関する最新の文献・研究論文へのリンク」の割合が35.0%と多い。



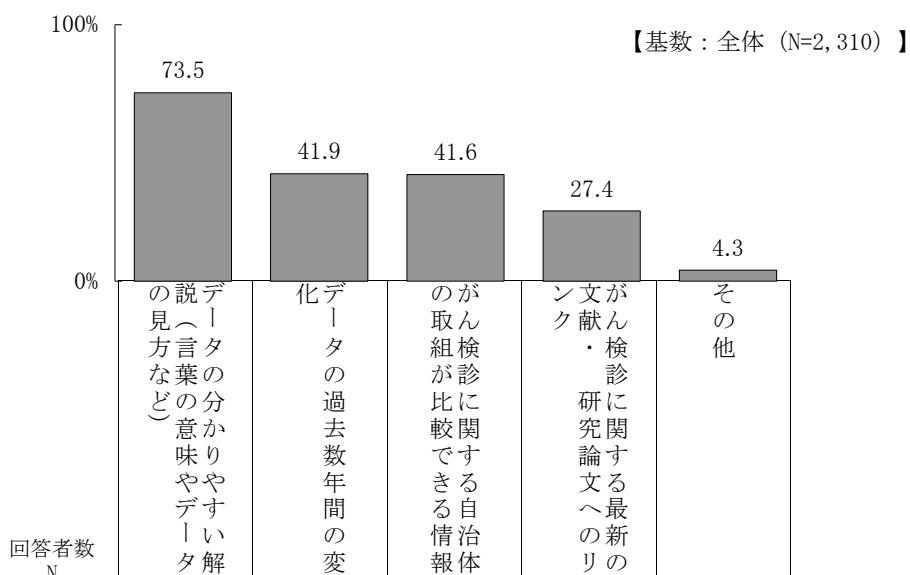
↑は5%水準で高位に有意差あり
↓は5%水準で低位に有意差あり

8 「受けよう！がん検診」をより一層活用するための情報の掲載内容

問7-5. がん検診を受ける際に、上記サイトをより一層活用していただくには、どのような情報が掲載されていればよいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（お答えはいくつでも）

【性別×年代別】

- ・ 男性20歳代では、「データの分かりやすい解説」（80.6%）、「データの過去数年間の変化」（51.5%）と割合が多い。
- ・ 男性60歳代以上では、「がん検診に関する最新の文献・研究論文へのリンク」の割合がそれぞれ33.0～50.0%と多い。
- ・ 女性20～30歳代では、「がん検診に関する自治体の取組が比較できる情報」の割合がそれぞれ49.4～49.6%と多い。
- ・ 女性60歳代では、「がん検診に関する最新の文献・研究論文へのリンク」の割合が40.2%と多い。



回答者数 N		データの分かりやすい解説（例：言葉の意味やデータの見方など）	データの過去数年間の変化	がん検診に比較できる自治体の取組	がん検診に関する最新の文献・研究論文へのリンク	その他	
全体	(2310)	73.5	41.9	41.6	27.4	4.3	
【性別×年代別】	男性・計	(1266)	72.7	42.7	↓ 37.8	26.0	4.7
	19歳以下	(21)	61.9	38.1	↓ 19.0	9.5	4.8
	20歳代	(196)	↑ 80.6	↑ 51.5	↓ 27.6	↓ 13.8	4.1
	30歳代	(195)	73.3	42.1	36.4	↓ 20.5	2.6
	40歳代	(228)	73.7	39.5	39.5	22.8	3.5
	50歳代	(230)	71.3	36.1	40.4	26.1	5.2
	60歳代	(294)	↓ 68.4	43.9	39.5	↑ 33.0	↑ 7.1
	70歳以上	(102)	72.5	46.1	50.0	↑ 50.0	4.9
	女性・計	(1044)	74.3	40.9	↑ 46.2	29.1	3.8
	19歳以下	(25)	80.0	56.0	36.0	12.0	-
	20歳代	(178)	79.2	48.3	↑ 49.4	↓ 20.2	2.2
	30歳代	(236)	78.8	38.6	↑ 49.6	27.1	4.7
	40歳代	(232)	71.6	37.9	46.6	30.6	2.6
	50歳代	(235)	74.0	38.7	42.6	31.9	4.3
60歳代	(117)	↓ 64.1	42.7	45.3	↑ 40.2	6.8	
70歳以上	(21)	66.7	33.3	33.3	38.1	4.8	

↑は5%水準で高位に有意差あり

↓は5%水準で低位に有意差あり

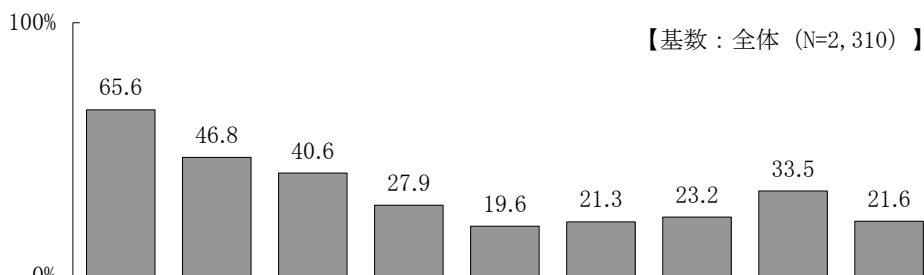
9 がんにかかった場合、整っていることが望ましい環境

問8. 御自身または御家族ががんにかかった場合、こういった環境が整っていることが望ましいですか。該当する項目を3つお選びください。（お答えは3つ）
※この中に当てはまるものが3つ無い方も、強いて言えばでお答えください。

全体では、「患者の症状にあわせた、高い水準の医療が適切に受けられる体制が整っていること」（65.6%）が最も多く、次いで「自分の症状について、他の病院の医師に自由に意見を求められる体制」（46.8%）、「がん患者や家族が、治療法や不安等様々なことを気軽に相談できる窓口が充実していること」（40.6%）の順になっている。

【性別×年代別】

- ・男性20～30歳代では、「がん医療に関する情報を容易に収集できる窓口・手段が整っていること」の割合がそれぞれ25.5～25.6%と多くなっている。
- ・男性40～50歳代、男性70歳以上では、「患者の症状にあわせた、高い水準の医療が適切に受けられる体制が整っていること」の割合がそれぞれ72.2～75.5%と多い。
- ・男女共に60歳代では、「高度ながん医療を提供できる病院、地域の病院、かかりつけ医など、必要に応じて各医療機関が連携し、切れ目のない医療の提供がなされる環境が整えられていること」の割合が多い。



回答者数 N		1. 体制が整っていること	2. 自分の症状について、他の病院の医師に自由に意見を求められる体制	3. がん患者や家族が、治療法や不安等様々なことを気軽に相談できる窓口が充実していること	4. 治療の初期から身体的苦痛や精神的不安が取り除かれること	5. がん医療に関する情報が容易に収集できる窓口・手段が整っていること	6. 住み慣れた家庭や地域で療養ができるような在宅医療体制が整っていること	7. 自分の望む療養環境が、自由に選択できること	8. 地域的ながん医療を提供できる病院、かかりつけ医など、必要に応じて各医療機関が連携し、切れ目のない医療の提供がなされる環境が整えられていること	9. がん医療について専門的な知識が有している医師や看護師などが養成されていること	
全体	(2310)	65.6	46.8	40.6	27.9	19.6	21.3	23.2	33.5	21.6	
【性別×年代別】	男性・計	(1266)	↑ 69.0	44.7	40.5	26.9	21.2	20.5	22.0	32.0	23.1
	19歳以下	(21)	76.2	42.9	52.4	28.6	14.3	19.0	28.6	23.8	14.3
	20歳代	(196)	71.4	42.3	39.3	26.5	↑ 25.5	20.9	26.0	↓ 21.4	26.5
	30歳代	(195)	62.1	44.6	43.1	24.1	↑ 25.6	20.5	24.1	27.2	↑ 28.7
	40歳代	(228)	↑ 72.8	41.2	↑ 47.4	25.9	21.9	19.3	20.6	↓ 25.4	25.4
	50歳代	(230)	↑ 72.2	43.5	37.0	27.4	17.8	23.9	21.3	34.3	22.6
	60歳代	(294)	63.9	48.0	39.1	31.0	19.0	18.7	20.4	↑ 42.9	17.0
	70歳以上	(102)	↑ 75.5	51.0	32.4	21.6	18.6	20.6	17.6	41.2	21.6
	女性・計	(1044)	↓ 61.4	49.3	40.7	29.2	17.5	22.2	24.6	35.2	19.7
	19歳以下	(25)	68.0	32.0	52.0	44.0	20.0	24.0	36.0	20.0	↓ 4.0
	20歳代	(178)	69.1	43.8	39.9	29.8	24.2	21.3	21.3	30.3	20.2
	30歳代	(236)	63.1	48.3	41.1	28.0	19.9	23.3	22.5	31.8	22.0
	40歳代	(232)	↓ 57.8	↑ 55.2	40.9	29.7	15.1	23.7	26.7	30.2	20.7
	50歳代	(235)	60.9	51.9	37.9	25.5	↓ 14.5	21.3	27.7	39.1	21.3
60歳代	(117)	↓ 54.7	47.0	45.3	30.8	14.5	20.5	20.5	↑ 52.1	14.5	
70歳以上	(21)	52.4	47.6	33.3	↑ 47.6	9.5	19.0	28.6	52.4	9.5	

↑は5%水準で高位に有意差あり
↓は5%水準で低位に有意差あり

9. がんにかかった場合、整っていることが望ましい環境

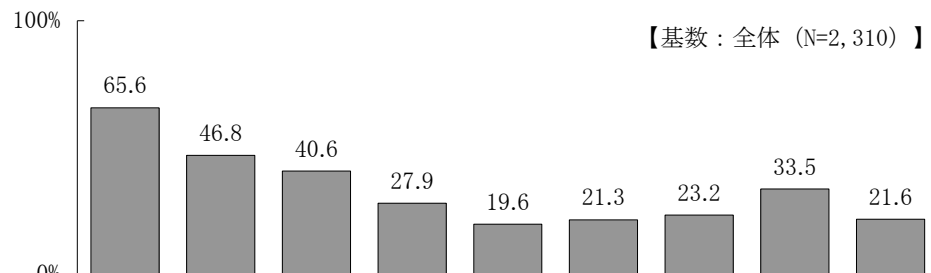
問8. 御自身または御家族ががんにかかった場合、こういった環境が整っていることが望ましいですか。該当する項目を3つお選びください。(お答えは3つ)
 ※この中に当てはまるものが3つ無い方も、強いて言えばでお答えください。

【二次保健医療圏別】

- ・区西北部では、「がん医療について専門的な知識を有する医師や看護師などが育成されていること」の割合が26.4%と多く、区西南部では16.2%と少ない。
- ・区東部では、「自分の症状について、他の病院の医師に自由に意見を求められる体制(セカンド・オピニオン)が整っていること」の割合が40.1%と少なくなっている。
- ・区西部では、「自分の望む療養環境が、自由に自分の意思で選択できること」の割合が17.5%と少ない。

【自分または家族の緩和ケア経験】

- ・自分が受けた(または受けている)人では、「がん患者や家族が、治療法や不安等様々なことを気軽に相談できる窓口が充実していること」の割合が60.0%と多い。
- ・わからない人では、「がん医療について専門的な知識を有する医師や看護師などが育成されていること」の割合が31.5%と多い。



		回答者数 N	がん医療について専門的な知識を有する医師や看護師などが育成されていること	がん患者や家族が、治療法や不安等様々なことを気軽に相談できる窓口が充実していること	自分の望む療養環境が、自由に自分の意思で選択できること	自分の症状について、他の病院の医師に自由に意見を求められる体制(セカンド・オピニオン)が整っていること	がん医療について専門的な知識を有する医師や看護師などが育成されていること	がん患者や家族が、治療法や不安等様々なことを気軽に相談できる窓口が充実していること	自分の望む療養環境が、自由に自分の意思で選択できること	自分の症状について、他の病院の医師に自由に意見を求められる体制(セカンド・オピニオン)が整っていること	がん医療について専門的な知識を有する医師や看護師などが育成されていること
全体		(2310)	21.6	23.2	23.2	21.3	19.6	27.9	40.6	46.8	65.6
【二次保健医療圏】	区中央部	(141)	19.9	24.1	23.4	20.6	27.7	37.6	48.2	68.1	
	区南部	(177)	19.8	23.2	19.8	16.9	34.5	42.4	44.6	68.4	
	区西南部	(247)	↓ 16.2	28.3	23.1	19.4	28.3	38.1	49.4	64.4	
	区西部	(246)	22.4	↓ 17.5	20.7	19.5	28.5	41.1	47.6	65.9	
	区西北部	(352)	↑ 26.4	23.0	19.9	18.5	27.3	↓ 35.2	48.0	69.6	
	区東北部	(193)	21.2	25.9	21.2	23.8	22.8	39.4	48.7	60.6	
	区東部	(252)	23.8	23.8	23.4	22.2	27.8	38.5	↓ 40.1	66.3	
	西多摩	(38)	10.5	18.4	21.1	10.5	34.2	47.4	50.0	63.2	
	南多摩	(282)	23.4	20.9	20.2	20.6	23.0	45.4	46.5	61.3	
	北多摩西部	(81)	14.8	24.7	27.2	13.6	33.3	43.2	44.4	64.2	
	北多摩南部	(167)	18.0	23.4	18.6	21.6	32.3	46.1	47.9	64.7	
北多摩北部	(132)	25.8	23.5	21.2	15.9	27.3	44.7	48.5	67.4		
【自分または家族の緩和ケア経験】	自分が受けた(または受けている)	45	20.0	17.8	20.0	17.8	26.7	↑ 60.0	57.8	64.4	
	家族・親族が受けた(または受けている)	228	↓ 16.2	20.6	21.5	23.7	29.8	38.6	48.7	66.2	
	自分もしくは家族・親族では受けたことはない	656	20.6	↓ 18.1	22.7	19.5	26.7	43.4	48.6	62.8	
	自分はがん患者ではなく、また家族にもがんにかかった者はいない	1079	20.3	23.7	22.4	17.8	28.4	39.5	47.2	68.0	
	わからない	314	↑ 31.5	24.8	23.2	23.2	28.3	38.2	↓ 39.5	62.7	

↑は5%水準で高位に有意差あり； ↓は5%水準で低位に有意差あり

10 緩和ケアについてのイメージ

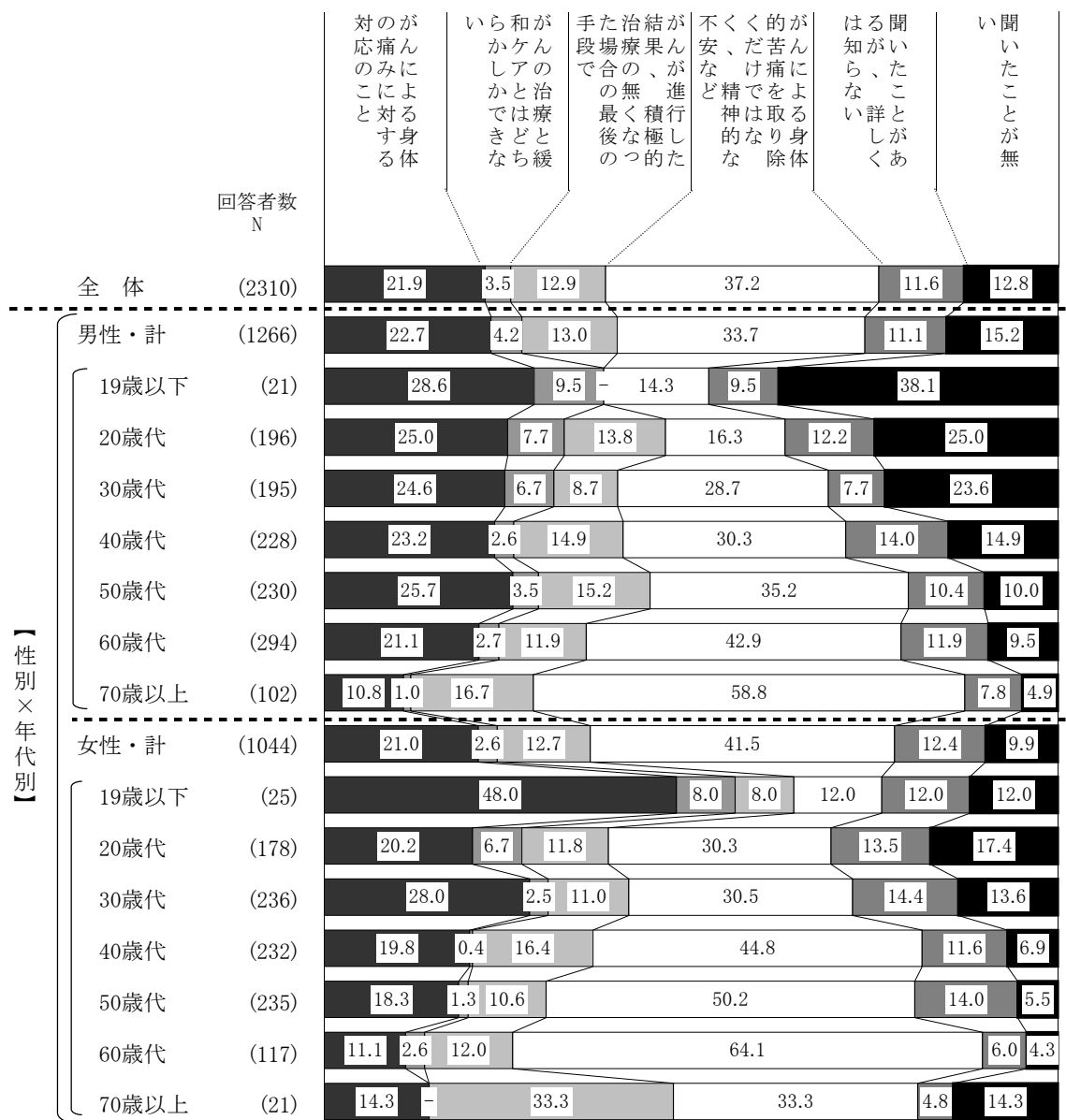
問9-1. がんの治療においては、緩和ケアも重要な治療とされております。
 緩和ケアについてお持ちのイメージについて教えてください。（お答えは1つ）

全体では、「がんによる身体的苦痛を取り除くだけではなく、精神的な不安などの軽減も図るものである」（37.2%）が最も多く、次いで「がんによる身体の痛みに対する対応のこと」（21.9%）の順になっている。

【性別×年代別】

- ・男性19歳以下、男性20～30歳代では、「聞いたことがない」の割合がそれぞれ23.6～38.1%と多くなっている。
- ・女性19歳以下、女性30歳代では、「がんによる身体の痛みに対する対応のこと」の割合がそれぞれ48.0%、28.0%と多くなっている。
- ・男性60歳以上、女性40～60歳代では、「がんによる身体的苦痛を取り除くだけではなく、精神的な不安などの軽減も図るものである」の割合がそれぞれ42.9～64.1%と多い。
- ・男性20～30歳代、女性20歳代では、「がんの治療と緩和ケアとはどちらかしかできない」の割合がそれぞれ6.7～7.7%と多い。

【基数：全体（N=2,310）】



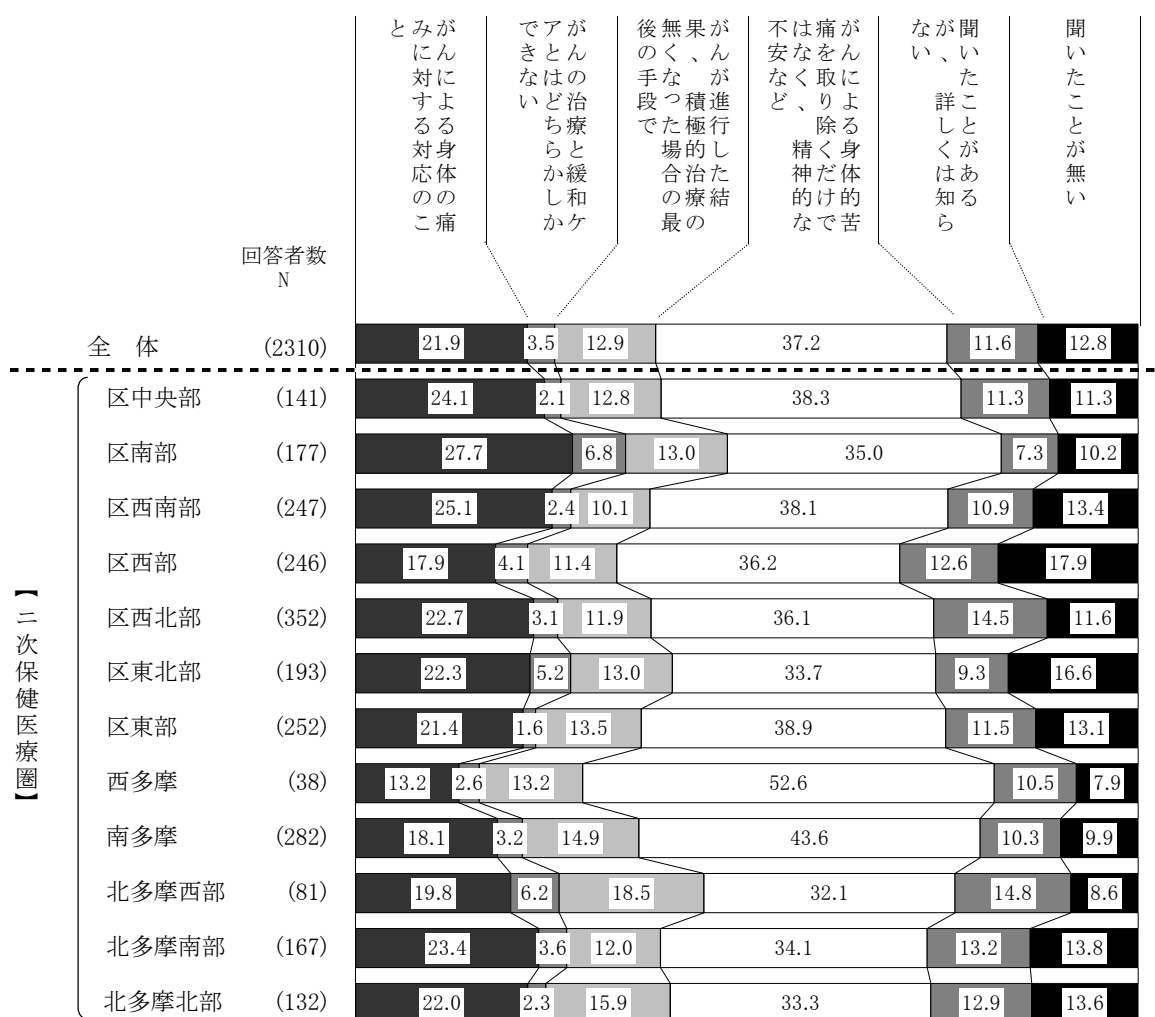
10 緩和ケアについてのイメージ

問9-1. がんの治療においては、緩和ケアも重要な治療とされております。
 緩和ケアについてお持ちのイメージについて教えてください。（お答えは1つ）

【二次保健医療圏別】

- ・区南部では、「がんの治療と緩和ケアとはどちらかしかできない」の割合が6.8%と多くなっている。
- ・区西部では、「聞いたことがない」の割合が17.9%と多くなっている。
- ・西多摩、南多摩では、「がんによる身体的苦痛を取り除くだけではなく、精神的な不安などの軽減も図るものである」の割合がそれぞれ52.6%、43.6%と多い。

【基数：全体 (N=2,310)】



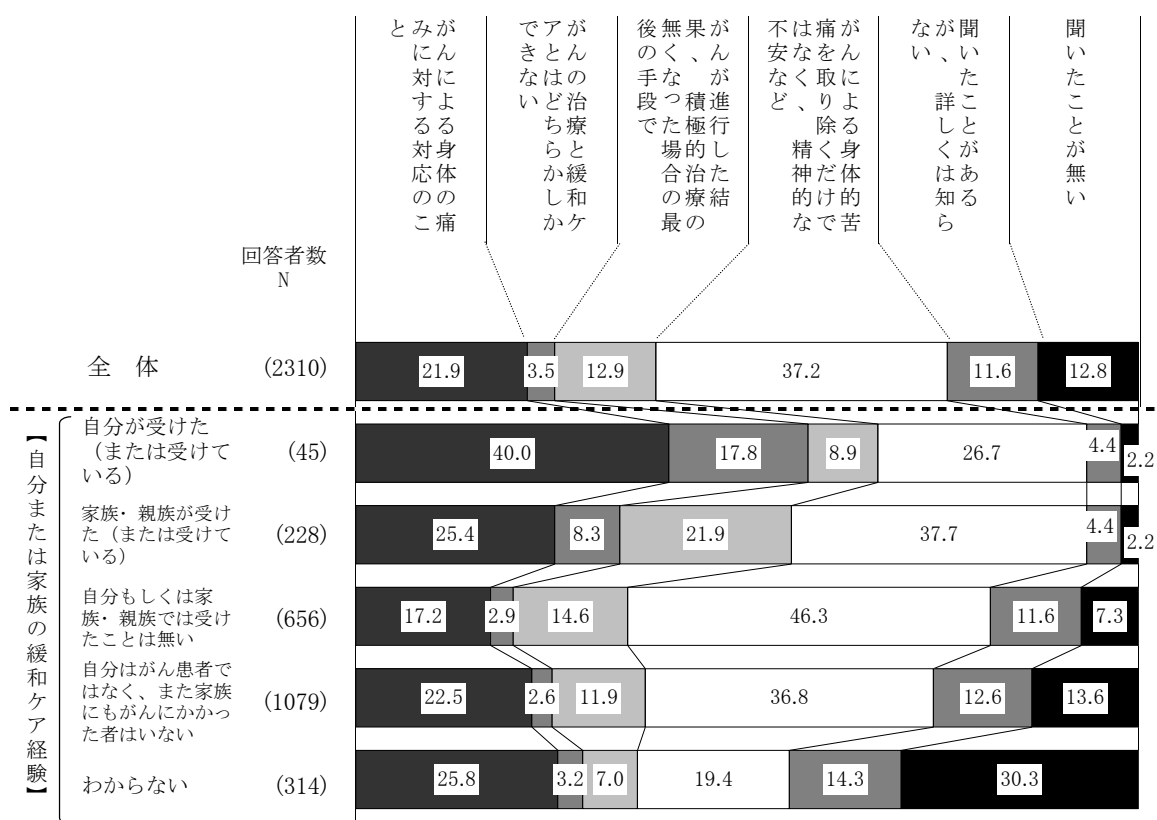
10 緩和ケアについてのイメージ

問9-1. がんの治療においては、緩和ケアも重要な治療とされております。
 緩和ケアについてお持ちのイメージについて教えてください。（お答えは1つ）

【自分または家族の緩和ケア経験別】

- ・自分が受けた人では、「がんによる身体の痛みに対する対応のこと」（40.0%）、「がんの治療と緩和ケアとはどちらかしかできない」（17.8%）と多い。
- ・家族・親族が受けた人では、「がんの治療と緩和ケアとはどちらかしかできない」（8.3%）、「がんが進行した結果、積極的治療の無くなった場合の最後の手段である」（21.9%）と多くなっている。
- ・自分もしくは家族・親族では、受けたことは無い人では、「がんによる身体的苦痛を取り除くだけではなく、精神的な不安などの軽減も図るものである」の割合が46.3%と多くなっている。
- ・わからない人では、「聞いたことが無い」の割合が30.3%と多くなっている。

【基数：全体 (N=2,310)】



11 自分ががんになった場合、治療開始時からの緩和ケアを望むか

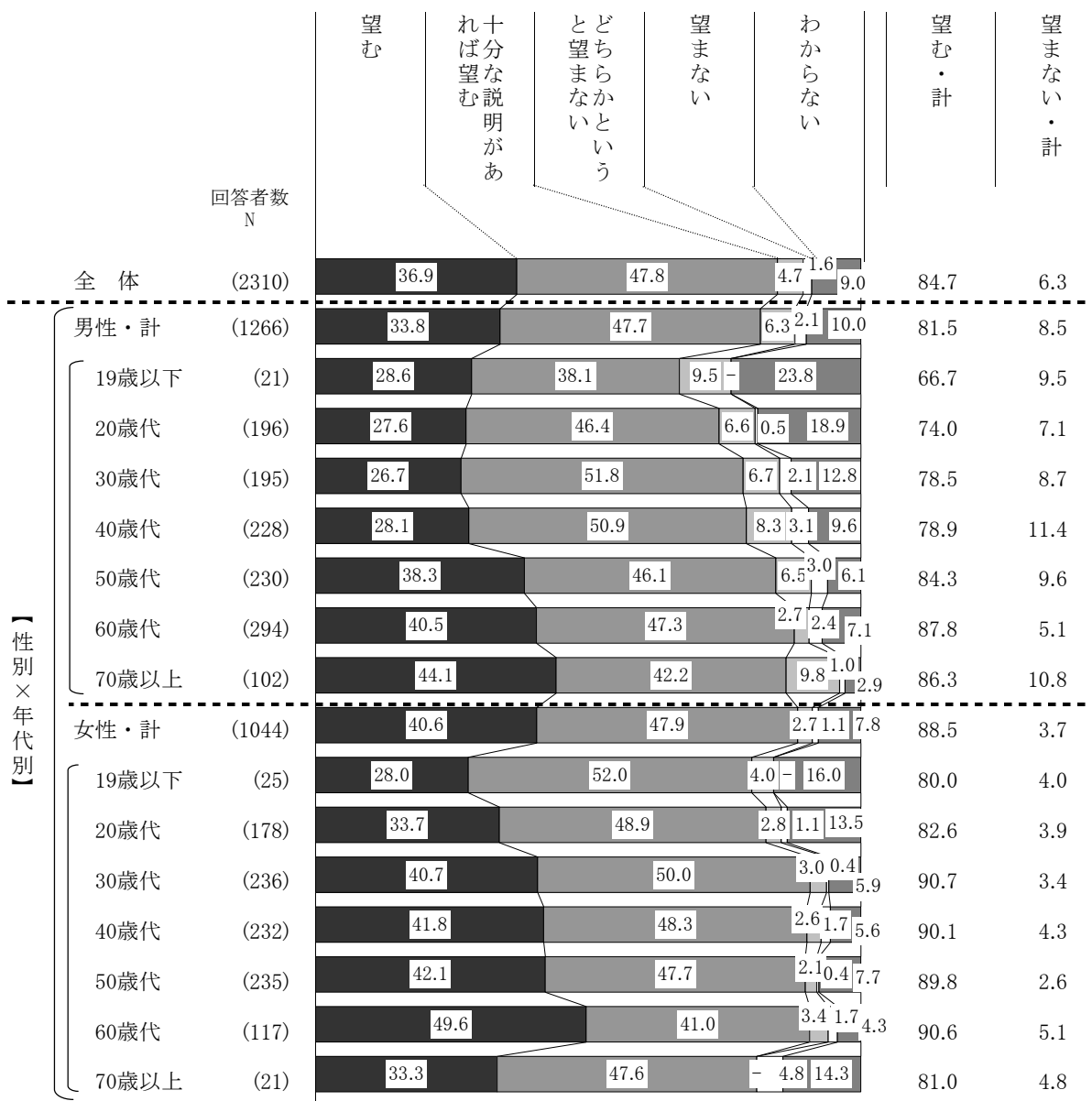
問9-2. がんの治療においては、早期からの緩和ケアの導入が目標とされております。御自身ががんにかかったとして、治療開始時からの緩和ケアを望みますか。（お答えは1つ）
 （治療開始時の緩和ケアの一例：経口鎮痛剤等による肉体的苦痛の除去、相談や説明による不安の除去、相談・支援等）

全体では、「望む」（36.9%）、「十分な説明があれば望む」（47.8%）、「どちらかという望まない」（4.7%）、「望まない」（1.6%）、「わからない」（9.0%）となっており、「望む・計」は84.7%となっている。

【性別×年代別】

- ・男性19歳以下、20歳代男性／女性では、「わからない」の割合がそれぞれ13.5～23.8%と多くなっている。
- ・男性40歳代、男性70歳代以上では「どちらかという望まない」の割合がそれぞれ8.3%、9.8%と多くなっている。
- ・女性30～50歳代では、「望む・計」の割合がそれぞれ89.8～90.7%と多くなっている。
- ・女性60歳代では、「望む」の割合が49.6%と多い。
- ・男性20～40歳代では、「望む」の割合がそれぞれ26.7～28.1%と少ない。

【基数：全体 (N=2,310)】



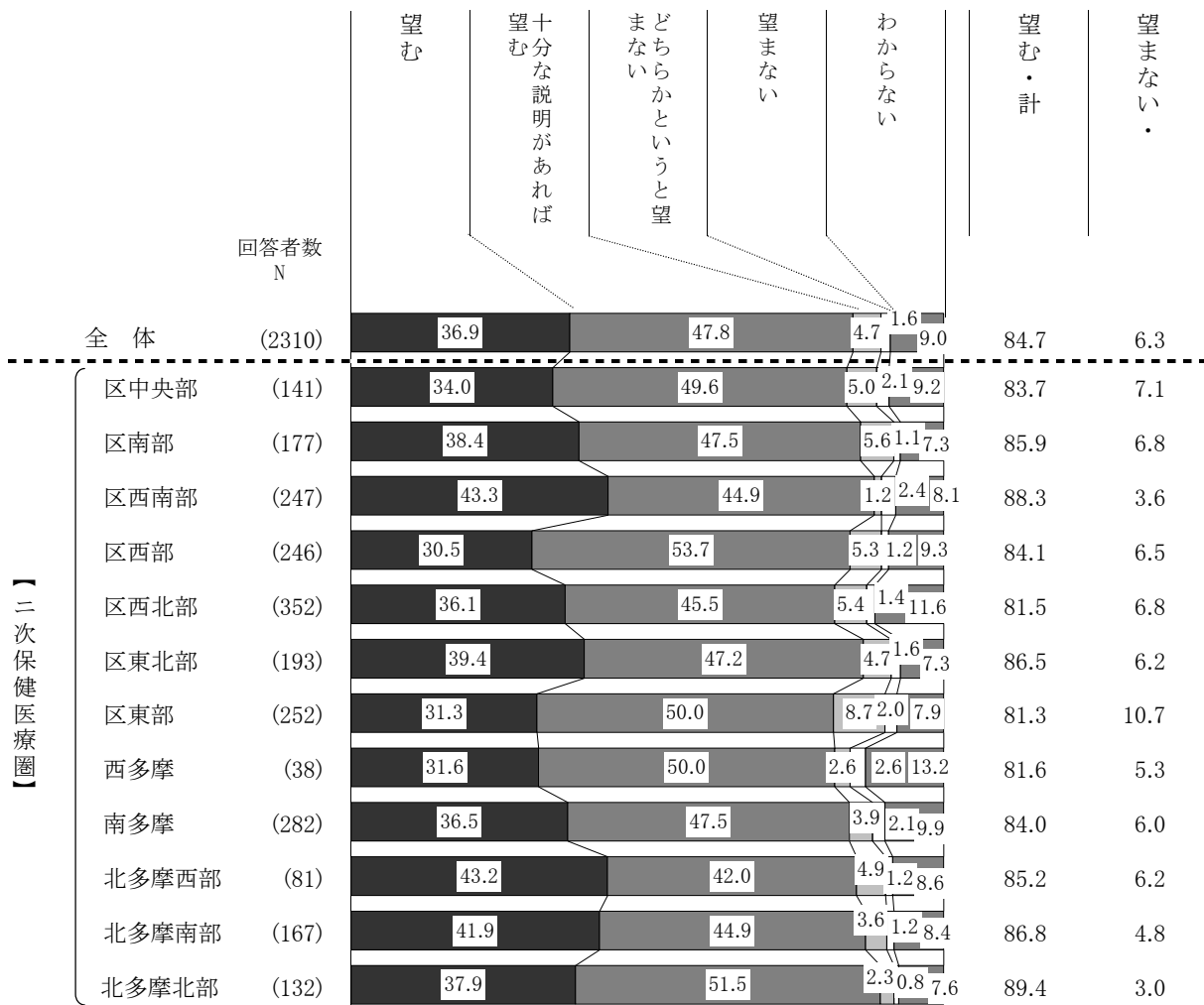
11 自分ががんになった場合、治療開始時からの緩和ケアを望むか

問9-2. がんの治療においては、早期からの緩和ケアの導入が目標とされております。御自身ががんにかかったとして、治療開始時からの緩和ケアを望みますか。（お答えは1つ）
 （治療開始時の緩和ケアの一例：経口鎮痛剤等による肉体的苦痛の除去、相談や説明による不安の除去、相談・支援等）

【二次保健医療圏別】

- ・区西南部では、「望む」の割合が43.3%と多く、「どちらかという望まない」の割合が1.2%と少ない。
- ・区西部では、「望む」の割合が30.5%と少なくなっている。
- ・区東部では、「どちらかという望まない」（8.7%）、「望まない・計」（10.7%）と多くなっている。

【基数：全体（N=2,310）】

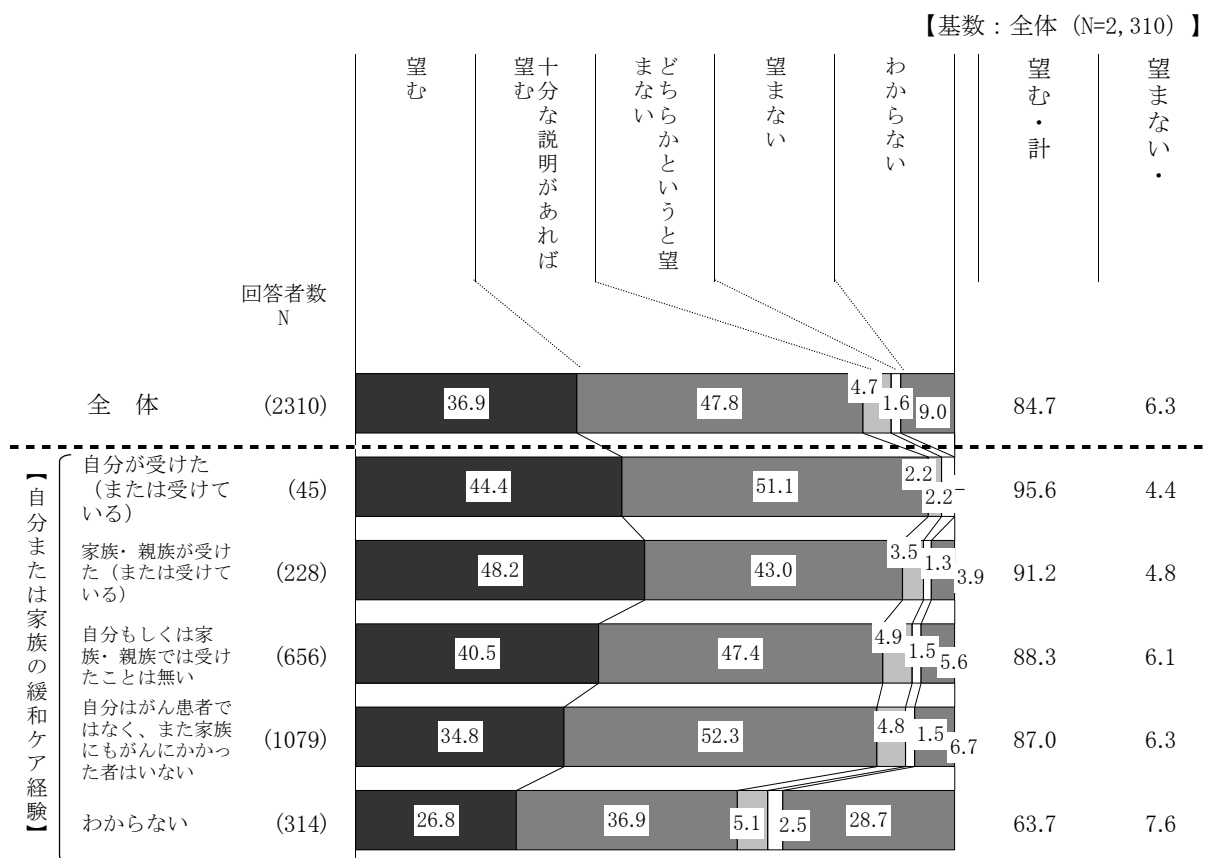


11 自分ががんになった場合、治療開始時からの緩和ケアを望むか

問9-2. がんの治療においては、早期からの緩和ケアの導入が目標とされております。御自身ががんにかかったとして、治療開始時からの緩和ケアを望みますか。（お答えは1つ）
 （治療開始時の緩和ケアの一例：経口鎮痛剤等による肉体的苦痛の除去、相談や説明による不安の除去、相談・支援等）

【自分または家族の緩和ケア経験別】

- ・ 家族・親族が受けた人では、「望む」の割合が48.2%と多くなっている。
- ・ 自分のがん患者ではなく、また家族にもがんにかかった者はいない人では、「十分な説明があれば望む」の割合が52.3%と多くなっている。
- ・ わからない人では、「望む」（26.8%）、「十分な説明があれば望む」（36.9%）と少なくなっている。
- ・ 分からない以外の人では、「望む・計」の割合がそれぞれ87.0~95.6%と多い。



12 緩和ケアを望まない理由

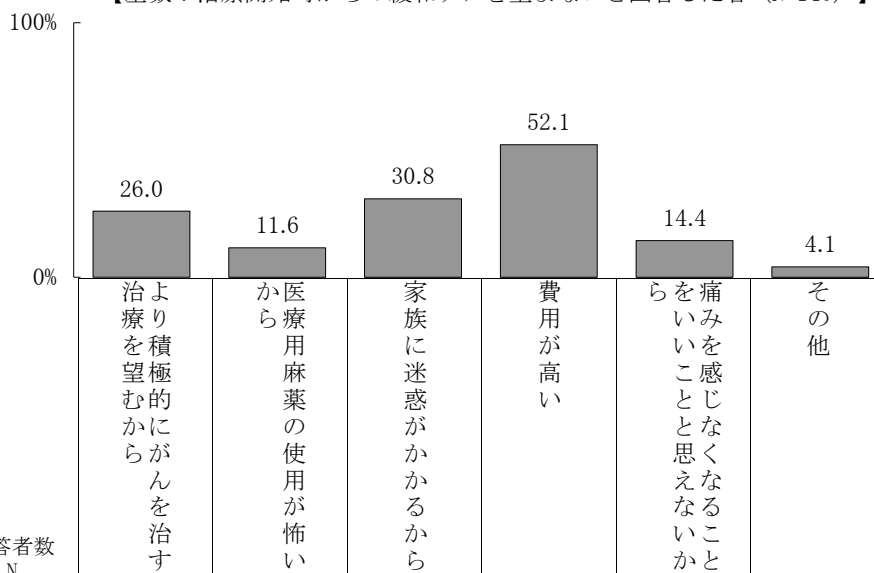
問9-2SQ. 前問で、「御自身ががんにかかったとして、治療開始時からの緩和ケア」を「どちらかという望まない」「望まない」とお答えになった方にお伺いします。望まない理由はこういった点ですか。（お答えはいくつでも）

全体では、「費用が高い」（52.1%）が最も多く、次いで「家族に迷惑がかかるから」（30.8%）、「より積極的にがんを治す治療を望むから」（26.0%）の順になっている。

【性別×年代別】

・男性50歳代では、「その他」の割合が13.6%と多くなっている。

【基数：治療開始時からの緩和ケアを望まないと回答した者（N=146）】



		回答者数 N	治より治療を積極的にがんを治す	か医療から療用麻薬の使用が怖い	家族に迷惑がかかるから	費用が高い	らを痛みを感じなくなることを思えないこと	その他
全体		(146)	26.0	11.6	30.8	52.1	14.4	4.1
【性別×年代別】	男性・計	(107)	28.0	8.4	30.8	52.3	15.0	3.7
	19歳以下	(2)	50.0	-	-	50.0	-	-
	20歳代	(14)	35.7	-	28.6	64.3	14.3	-
	30歳代	(17)	41.2	11.8	11.8	52.9	17.6	5.9
	40歳代	(26)	19.2	15.4	42.3	53.8	15.4	-
	50歳代	(22)	13.6	4.5	22.7	68.2	18.2	↑ 13.6
	60歳代	(15)	26.7	6.7	33.3	46.7	13.3	-
	70歳以上	(11)	45.5	9.1	54.5	↓ 9.1	9.1	-
	女性・計	(39)	20.5	20.5	30.8	51.3	12.8	5.1
	19歳以下	(1)	-	-	-	100.0	-	-
	20歳代	(7)	-	-	42.9	57.1	28.6	-
	30歳代	(8)	25.0	25.0	12.5	50.0	25.0	-
	40歳代	(10)	40.0	30.0	30.0	40.0	-	10.0
	50歳代	(6)	33.3	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7
60歳代	(6)	-	33.3	50.0	50.0	-	-	
70歳以上	(1)	-	-	-	100.0	-	-	

↑は5%水準で高位に有意差あり
↓は5%水準で低位に有意差あり

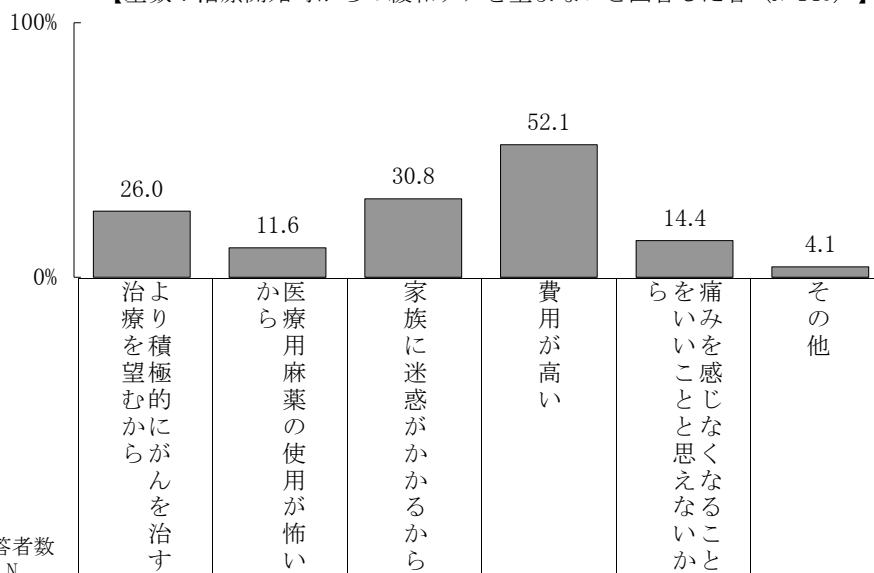
12 緩和ケアを望まない理由

問9-2SQ. 前問で、「御自身ががんにかかったとして、治療開始時からの緩和ケア」を「どちらかという望まない」「望まない」とお答えになった方にお伺いします。望まない理由はどのような点ですか。（お答えはいくつでも）

【二次保健医療圏別】

- ・区西北部では、「費用が高い」の割合が75.0%と多くなっている。

【基数：治療開始時からの緩和ケアを望まないと回答した者（N=146）】



		回答者数 N	治より治療を積極的からがんを治す	か医療から療用麻薬の使用が怖い	家族に迷惑がかかるから	費用が高い	らを痛みを感じなく思えないこと	その他
全体		(146)	26.0	11.6	30.8	52.1	14.4	4.1
【二次保健医療圏】	区中央部	(10)	30.0	-	10.0	50.0	20.0	-
	区南部	(12)	33.3	-	25.0	41.7	16.7	-
	区西南部	(9)	22.2	11.1	11.1	44.4	11.1	11.1
	区西部	(16)	25.0	18.8	25.0	50.0	12.5	12.5
	区西北部	(24)	25.0	12.5	33.3	↑ 75.0	16.7	-
	区東北部	(12)	16.7	16.7	41.7	66.7	8.3	-
	区東部	(27)	29.6	7.4	33.3	51.9	7.4	3.7
	西多摩	(2)	50.0	50.0	↑ 100.0	-	-	-
	南多摩	(17)	17.6	17.6	35.3	52.9	23.5	-
	北多摩西部	(5)	40.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0
	北多摩南部	(8)	25.0	-	25.0	37.5	25.0	-
北多摩北部	(4)	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	↑ 25.0	

↑は5%水準で高位に有意差あり

↓は5%水準で低位に有意差あり

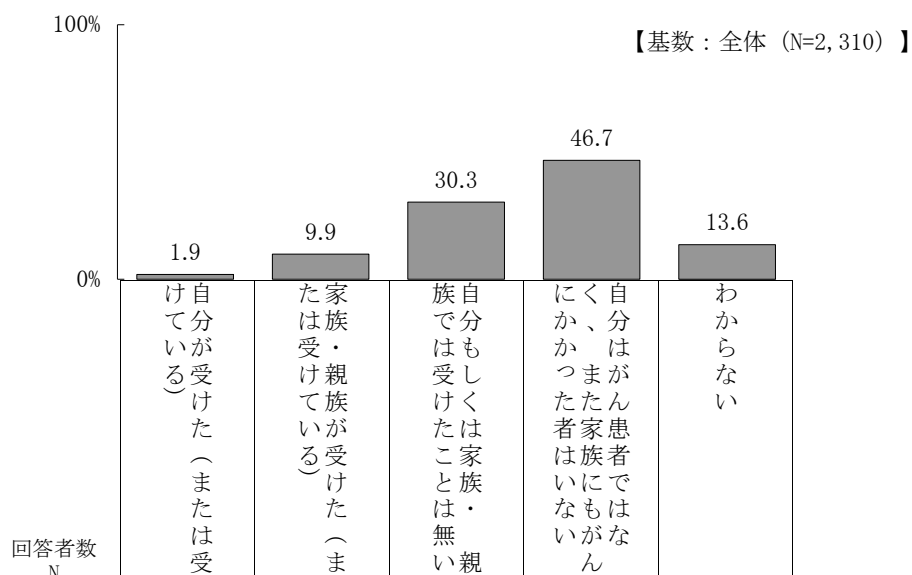
13 自分または家族の緩和ケア経験有無

問9-3. 御自身または御家族の方で緩和ケアを受けたことがある、または現在受けている方はいらっしゃるでしょうか。（お答えはいくつでも）

全体では、「自分はがん患者ではなく、また家族にもがんにかかった者はいない」（46.7%）が最も多く、次いで「自分もしくは家族・親族では受けたことは無い」（30.3%）とあわせて77%となっている。

【性別×年代別】

- ・男性20～30歳代では、「自分もしくは家族・親族では受けたことは無い」の割合はそれぞれ15.3～17.9%と少なくなっている。
- ・男性60歳代、女性50歳代では、「自分もしくは家族・親族では受けたことは無い」の割合がそれぞれ40.1%、37.4%と多くなっている。
- ・19歳以下の男性／女性、20歳代男性／女性では、「わからない」の割合がそれぞれ23.0～47.6と多くなっている。
- ・男性70歳以上では、「自分が受けた（または受けている）」の割合は4.9%と多い。



性別×年代別		回答者数 N	自分が受けた（または受けている）	家族・親族が受けた（または受けている）	自分もしくは家族・親族では受けたことは無い	自分もしくは家族・親族はがん患者ではないが、自分もしくは家族はがん患者ではない	わからない
全体		(2310)	1.9	9.9	30.3	46.7	13.6
性別×年代別	男性・計	(1266)	2.3	10.5	30.3	46.5	13.5
	19歳以下	(21)	-	4.8	↓ 9.5	38.1	↑ 47.6
	20歳代	(196)	3.1	12.8	↓ 16.3	44.4	↑ 25.0
	30歳代	(195)	1.5	13.3	↓ 20.0	52.8	15.4
	40歳代	(228)	0.9	11.4	28.9	48.2	14.0
	50歳代	(230)	3.5	9.6	35.7	47.0	↓ 9.1
	60歳代	(294)	1.7	7.5	↑ 42.2	42.9	↓ 7.8
	70歳以上	(102)	↑ 4.9	10.8	38.2	46.1	↓ 5.9
	女性・計	(1044)	1.5	9.1	30.4	46.9	13.7
	19歳以下	(25)	-	-	↓ 8.0	56.0	↑ 40.0
	20歳代	(178)	1.7	10.1	↓ 18.5	48.3	↑ 23.0
	30歳代	(236)	1.7	9.3	27.1	47.0	15.7
	40歳代	(232)	1.7	9.1	34.1	46.1	10.8
	50歳代	(235)	2.1	7.2	↑ 39.6	43.8	9.4
	60歳代	(117)	-	12.0	32.5	53.0	↓ 4.3
	70歳以上	(21)	-	14.3	38.1	33.3	14.3

↑は5%水準で高位に有意差あり

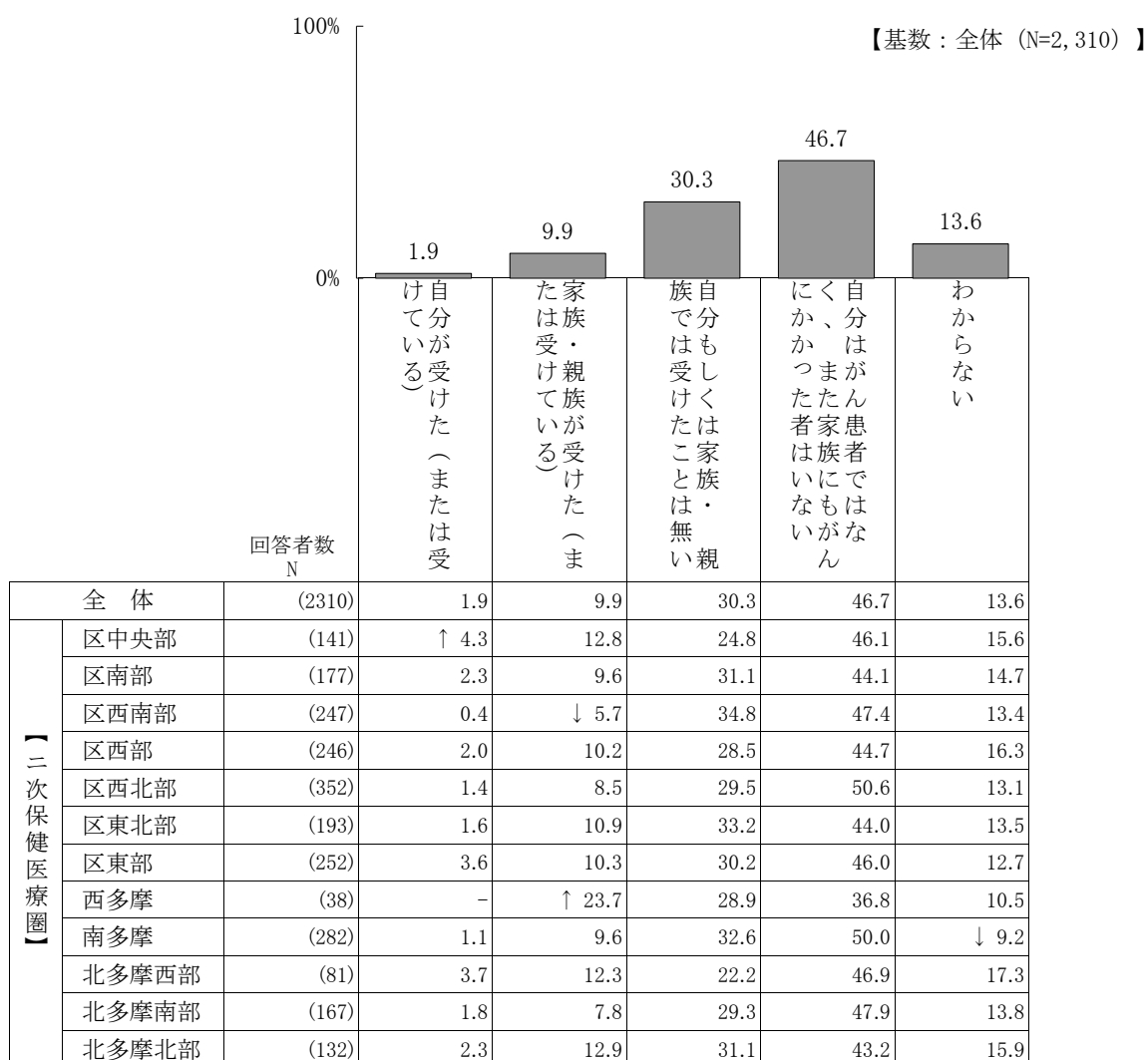
↓は5%水準で低位に有意差あり

13 自分または家族の緩和ケア経験有無

問9-3. 御自身または御家族の方で緩和ケアを受けたことがある、または現在受けている方はいらっしゃいますか。（お答えはいくつでも）

【二次保健医療圏別】

- ・区中央部では、「自分が受けた（または受けている）」の割合が4.3%と多い。
- ・西多摩では、「家族・親族が受けた（または受けている）」の割合が23.7%と多く、区西南部では、5.7%と少ない。
- ・南多摩では、「わからない」の割合が9.2%と少なくなっている。



↑は5%水準で高位に有意差あり

↓は5%水準で低位に有意差あり

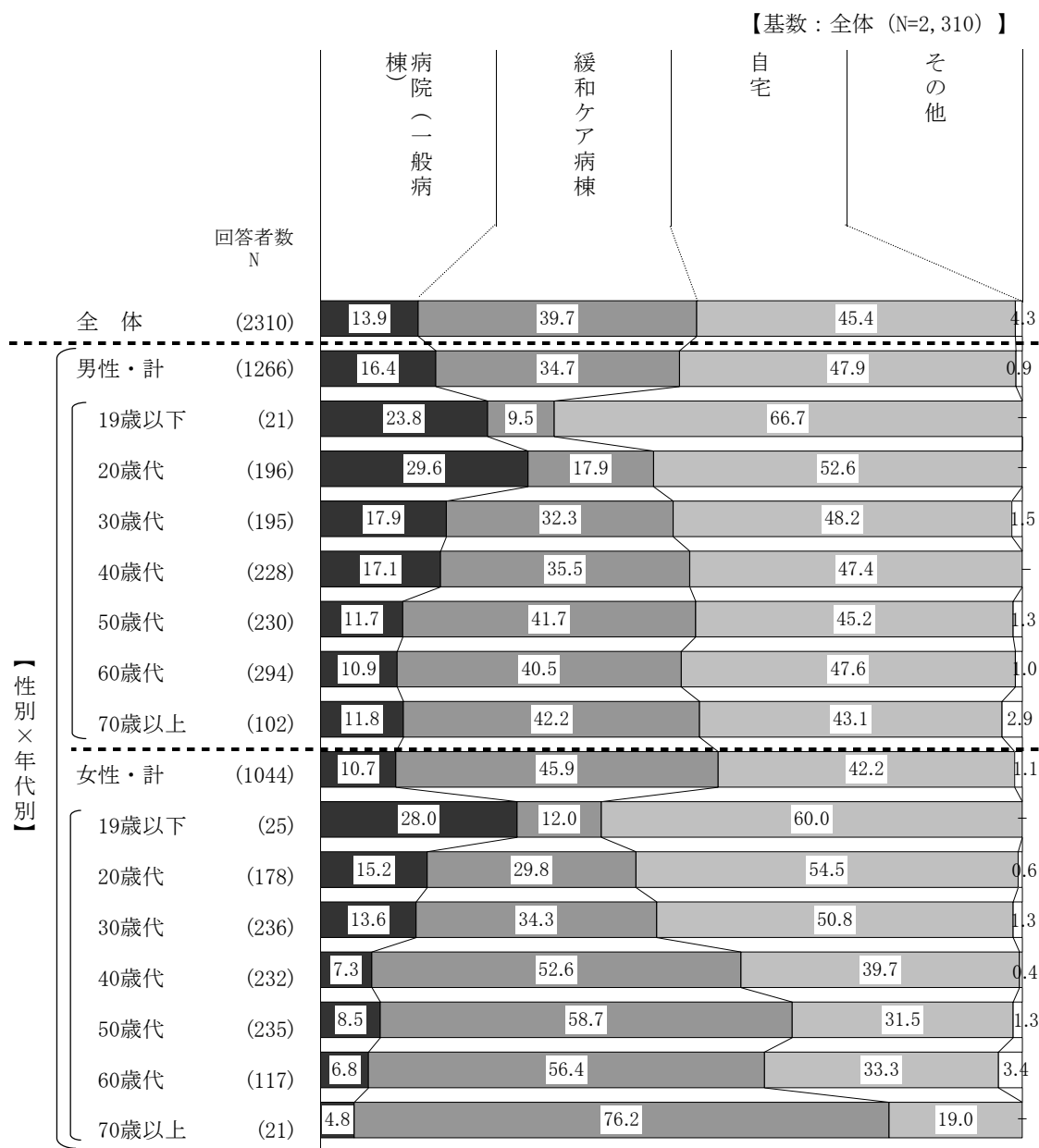
14 終末期の希望療養場所

問9-4. 御自身ががんにかかった場合、終末期の療養場所としてはどちらを希望されますか。
(お答えは1つ)

全体では、「自宅」(45.4%)、「緩和ケア病棟」(39.7%)、「病院(一般病棟)」(13.9%)の順になっている。

【性別×年代別】

- ・ 男性19歳以下、20歳代男性/女性では、「自宅」の割合がそれぞれ52.6～66.7%と多くなっている。
- ・ 男性20歳代、女性19歳以下では、「病院(一般病棟)」の割合がそれぞれ28.0%と多く、40～60歳代の割合がそれぞれ6.8～8.5%と少ない。
- ・ 女性40歳以上では、「緩和ケア病棟」の割合がそれぞれ52.6～76.2%と多い。
- ・ 19歳以下の男性/女性、20歳代男性/女性、男性30歳代では、「緩和ケア病棟」の割合がそれぞれ9.5～32.3%少なくなっている。

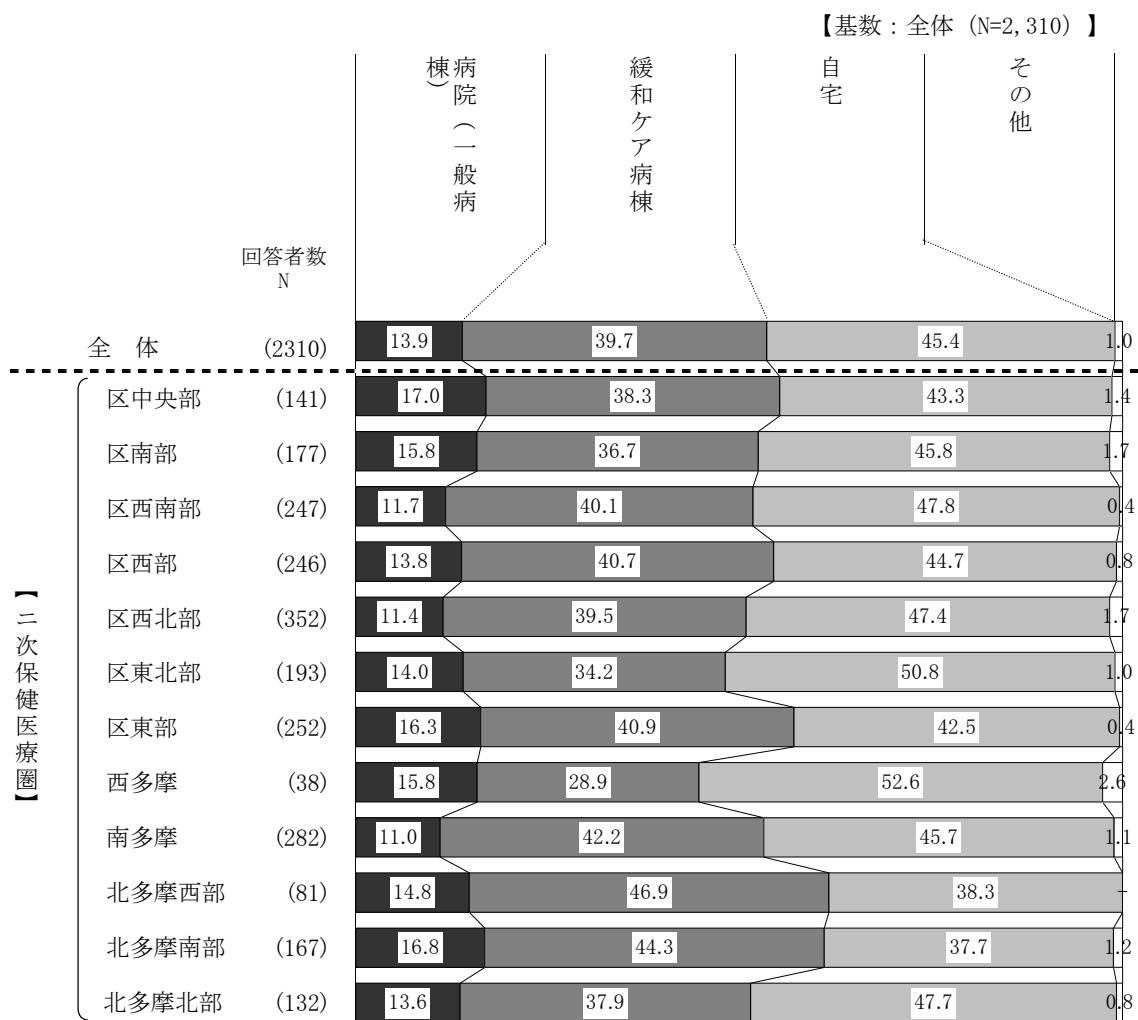


14 終末期の希望療養場所

問9-4. 御自身ががんにかかった場合、終末期の療養場所としてはどちらを希望されますか。
(お答えは1つ)

【二次保健医療圏別】

- ・北多摩南部では、「自宅」の割合が37.7%と少なくなっている。



14 終末期の希望療養場所

問9-4. 御自身ががんにかかった場合、終末期の療養場所としてはどちらを希望されますか。
(お答えは1つ)

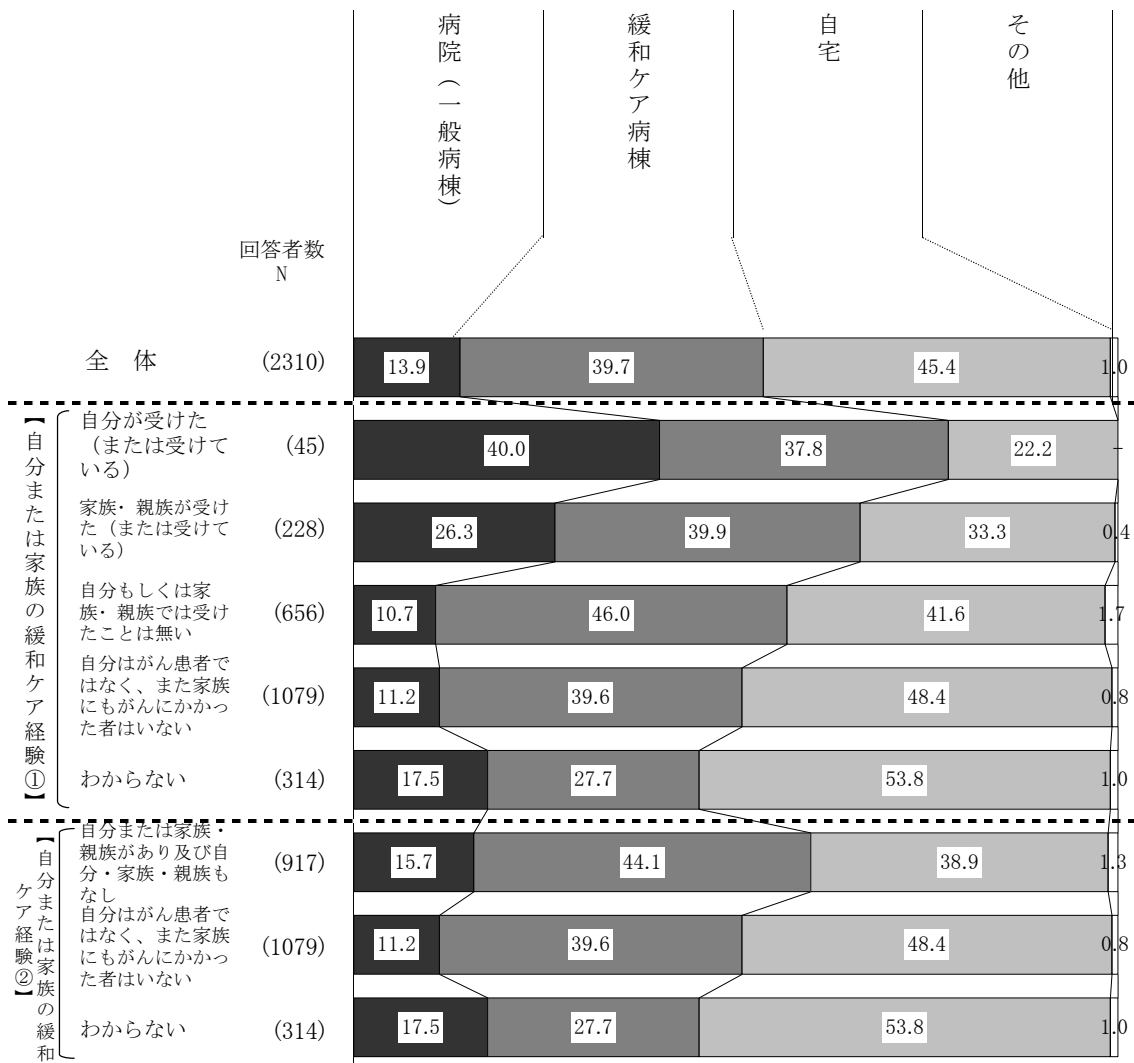
【自分または家族の緩和ケア経験①別】

- ・自分が受けた人、家族・親族が受けた人では、「病院（一般病棟）」の割合がそれぞれ40.0%、26.3%と多く、「自宅」がそれぞれ22.2%、33.3%と少ない。
- ・自分もしくは家族・親族では受けたことは無い人では、「緩和ケア病棟」の割合が46.0%と多く、「病院（一般病棟）」が10.7%と少ない。
- ・自分はがん患者ではなく、また家族にもがんにかかった者はいない人では、「自宅」の割合が48.4%と多く、「病院（一般病棟）」の割合が11.2%と少ない。

【自分または家族の緩和ケア経験②別】

- ・自分または家族・親族があり及び自分・家族・親族もなしの人では、「緩和ケア病棟」の割合が44.1%と多くなっている。
- ・自分も家族にもがんにかかった者はいない人では、「自宅」の割合が48.4%と多くなっている。

【基数：全体 (N=2,310)】



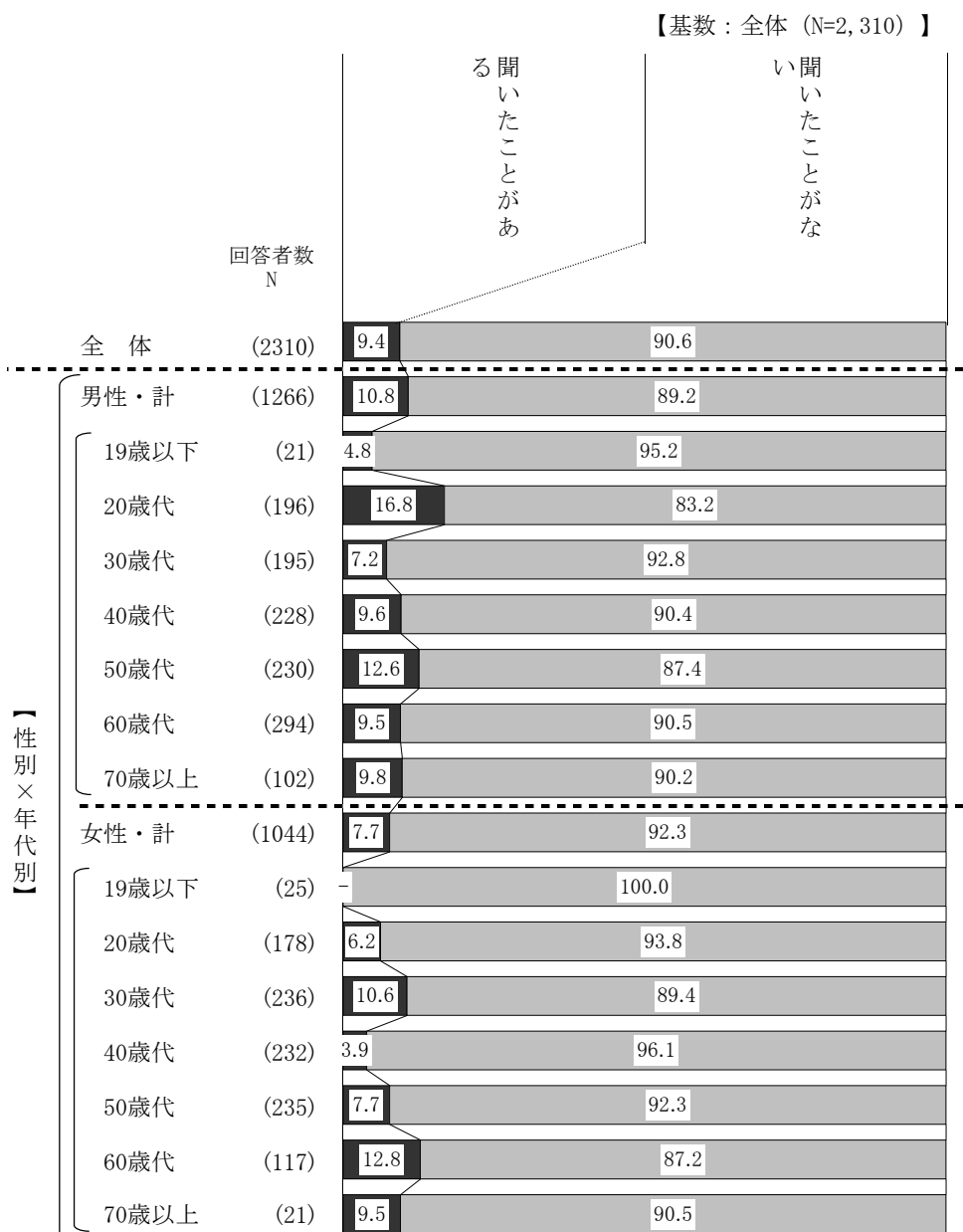
15 「地域がん登録」の認知状況

問10-1. あなたは、都道府県ごとにがんに関する情報を集める『地域がん登録』という制度について、ご存知ですか。（お答えは1つ）

全体では、「聞いたことがある」（9.4%）、「聞いたことがない」（90.6%）と大部分の人に認知されていないという結果になった。

【性別×年代別】

- ・男性20歳代では、「聞いたことがある」の割合が16.8%と全体と比べると7.4ポイント多くなっている。
- ・女性40歳代では、「聞いたことがある」の割合が3.9%と全体と比べると5.5ポイント少なくなっている。



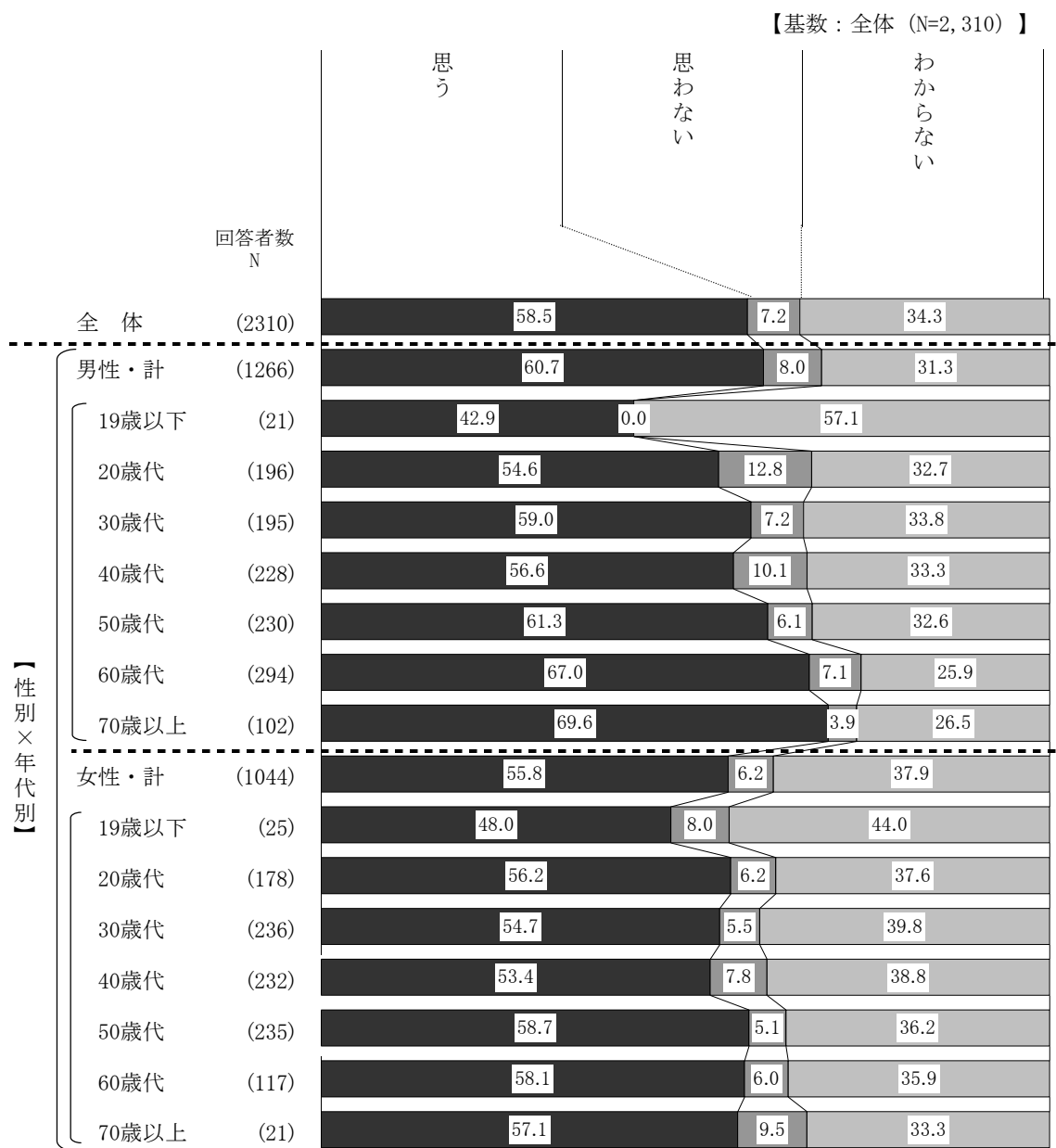
16 「地域がん登録情報」の有益度

問10-2. 東京都では平成24年度から地域がん登録を開始する予定ですが、あなたは、地域がん登録のこうした情報は有益だと思いますか。（お答えは1つ）

全体としては、「思う」（58.5%）、「思わない」（7.2%）、「わからない」（34.3%）の順になっている。

【性別×年代別】

- ・男性19歳以下では、「わからない」の割合が57.1%と多くなっている。
- ・男性20歳代では、「思わない」の割合が12.8%と多くなっている。
- ・男性60歳以上では、「思う」の割合がそれぞれ67.0～69.6%と多くなっている。
- ・男性60歳代では、「わからない」の割合が25.9%と少ない。



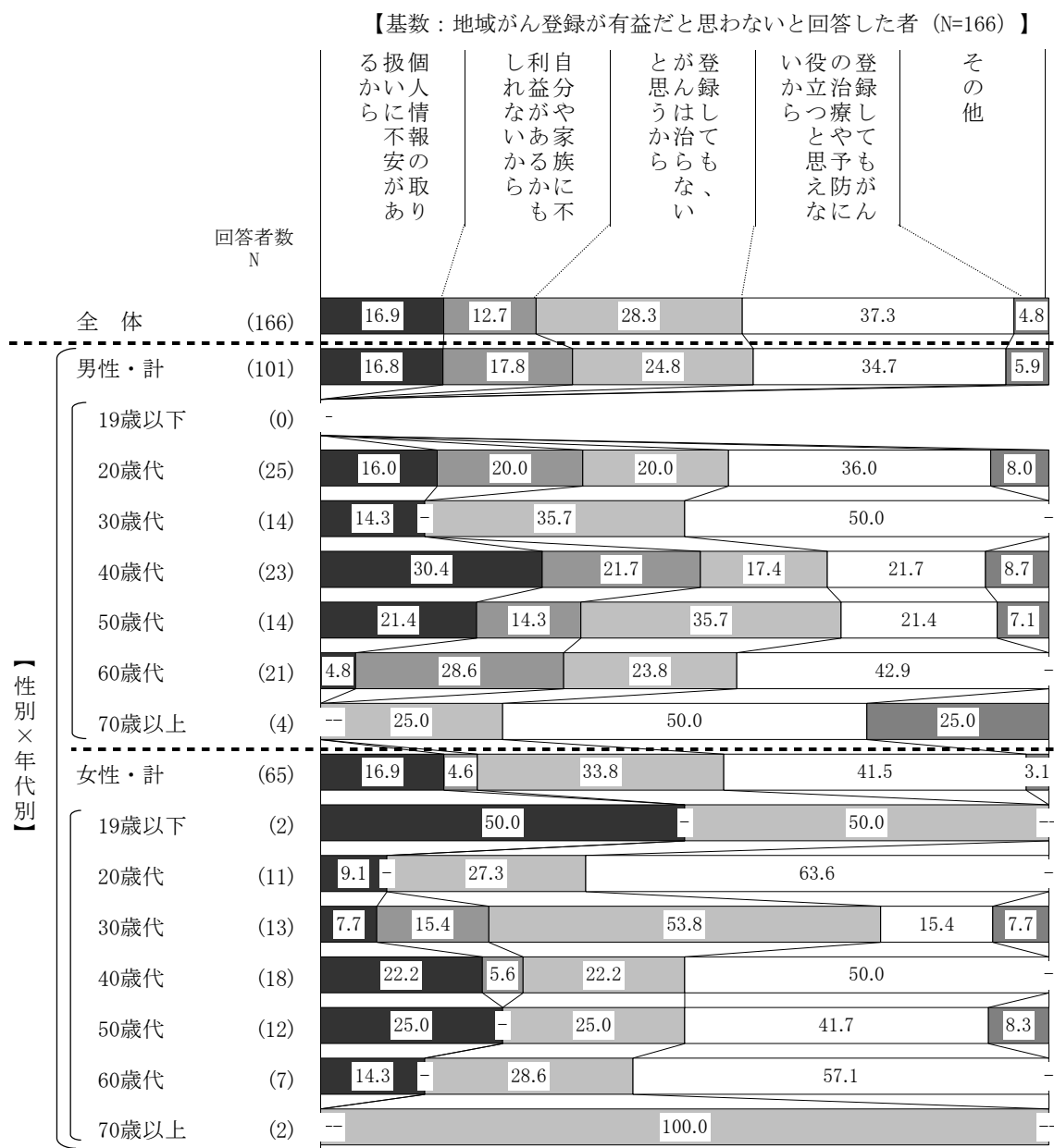
17 「地域がん登録」が有益と思わない理由

問10-2SQ. 地域がん登録が有益だと思わない理由は何ですか。
(お答えは1つ)

全体としては、「登録してもがんの治療や予防に役立つと思えないから」(37.3%)、「登録しても、がんは治らないと思うから」(28.3%)、「個人情報取り扱いに不安があるから」(16.9%)、「自分や家族に不利益があるかもしれないから」(12.7%)の順になっている。

【性別×年代別】

- ・男性60歳代では、「自分や家族に不利益があるかもしれないから」の割合が28.6%と多くなっている。
- ・女性30歳代では、「登録しても、がんは治らないと思うから」の割合が53.8%と多くなっている。



あなたご自身に関するアンケート



<このアンケートについて>

東京都では、東京都がん対策推進計画に基づき、様々ながん対策に取り組んでまいりました。現計画が平成25年3月に満期を迎えるにあたり、今後対策をさらに充実していくために、みなさまの声を伺うことで、現在不足しているもの、重点的に取り組むべきものを明確にしたいと考えております。

今回の調査に基づき、都民の皆様のご意見を反映したがん対策推進計画の改定を行ってまいりたいと思います。

どうぞ、御協力よろしくお願いします。

なお、本調査の結果は統計的な処理を行ない、個人名を特定することはありませんのでご安心ください。

調査担当者：東京都福祉保健局医療政策部医療政策課がん対策係

【SC1】

上記の通り本アンケートは、がんに対する意識について、お伺いする内容となっております。そうした内容に対して、ご不快に感じる方は何卒調査にご参加されないようお願いいたします。

- 協力できる
- 協力できない

回答内容をよくご確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。

次へ

前へ戻る

あなたご自身に関するアンケート

■アンケートにご回答いただく方へのお願い

モニター規約でもお願いしていますが、本アンケートの内容や情報に関しては第三者に口外しないようお願いいたします。
(インターネットの掲示板やホームページ等にアップロードすることも含みます)

アンケートにご参加いただく場合は、【アンケート開始】ボタンを押してお進みください。

閉じる

アンケート開始

あなたご自身に関するアンケート



【Q1】

あなたの年齢を教えてください。
(お答えは1つ)

回答内容をよくご確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。

次へ

前へ戻る

あなたご自身に関するアンケート



【Q2】

あなたの性別を教えてください。
(お答えは1つ)

- 男性
- 女性

回答内容をよくご確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。

次へ

前へ戻る

あなたご自身に関するアンケート



【Q3-1】

あなたのお住まいの地域を教えてください。
(お答えは1つ)

- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 埼玉県
- 千葉県
- 東京都
- 神奈川県
- 上記以外の道府県

回答内容をよくご確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。

次へ

前へ戻る

あなたご自身に関するアンケート



【Q3-2】

東京都にお住まいの方にお伺いします。お住まいの区市町村名を教えてください。
(お答えは1つ)

回答内容をよくご確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。

次へ

前へ戻る

あなたご自身に関するアンケート

27%

【Q4】

「がん」について、あなたのお考えを聞かせてください。
(お答えはそれぞれひとつ)

		強く そう 思う	多少 思う	あまり 思わ ない	思 わ な い
1. がんは治る病気である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. がんの痛みは取り除けない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 自分はがんにならない、と思っている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. がんの治療には高額な治療費がかかる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 多くのがんは早期発見により治癒が可能である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. がんにならないためには生活習慣の改善が重要である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【Q4SQ】

上記以外に思うことがありましたらお聞かせください。
(お答えは具体的に)

回答内容をよくご確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。

次へ

前へ戻る

あなたご自身に関するアンケート

31%

【Q5】

あなたが「がん」の原因と思う上位3つの項目を1位から3位まで順に選択してください。
(お答えはそれぞれひとつ)

	1 位	2 位	3 位
	↓	↓	↓
1. 添加物や農薬	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 環境ホルモン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. たばこ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 大気汚染	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 魚や肉の焼け焦げ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 細菌やウイルス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. かたよった食生活	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 運動不足	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 肥満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 職場での有害物質接触	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. 飲酒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12. ストレス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

回答内容をよくご確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。

次へ

前へ戻る